



# 第34回 東京玉翠会

2016年(平成28年)7月9日[土] 16:30~18:30

グランドプリンス新高輪〈飛天〉

つなぐ、こえる、我が母校。

TH



安定したエネルギーがある幸せ。



限りある資源を大切に。  
エネルギー資源の明日を見つめ、地球の未来を考える。

**JAPEX**  
石油資源開発株式会社

[www.japex.co.jp](http://www.japex.co.jp)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 2 ごあいさつ<br>渡辺修(東京玉翠会会長)<br>楨田實(玉翠会会長)<br>溝渕祥民(高松高等学校校長) | 7 収支計算書(案)             |
| 5 総会次第・議案書  | 8 東京玉翠会の軌跡             |
| 6 平成27年度東京玉翠会活動報告(案)                                    | 9 東京玉翠会の歴史             |
|   | 10 第34回総会テーマ           |
|   | 12 総会当日「イベント&特別展示のご案内」 |

総会  
連動

## 特集 つなぐ、こえる、我が母校。

### 14 昭和校舎最後の日

21 [コラム] 必見 これが我が母校のジオラマだ!

総会  
連動

杉原幸子さん

22 「人と人との絆は、当たり前前の行動から生まれてくるのです」

渡部志乃さん

28 「自分でもよくやるよねって思うけど、これが私の運命です」

総会  
連動

31 [コラム] 知られざる古楽器「チェンバロ」は“鳥の羽”で奏でられていた

総会  
連動

32 『歓喜の歌』は14人で始まった高高オーケストラ創世記

37 スピンオフ企画「日本一」の舞台裏 平成3年卒幹事団「実名」座談会  
「幹事をやる前と後では、紀元前と紀元後くらい違う!」

41 [特別寄稿] 私と東京玉翠会「おおきな木」のように、いつもそこに。 吉野ユリ子

42 [特別寄稿] 第1回大会に出場した10校が夢の対決!  
高高甲子園物語 丸吉幸也 林祐一

44 [対談] 高松高校応援団東京OB会インタビュー  
『ふるさと』全員斉唱に馳せる思い

総会  
連動

46 [特別寄稿] 生徒の質問が我が教師  
受け継がれる高高スピリット 大森絵美

48 高高卒業生の会社を訪問!  
カトーレック ビジネスチャンスはワクワクが生む!

総会  
連動

51 [総会当日 限定プログラム] 発足!香川県企業と高高卒業生をつなぐ会

総会  
連動

52 [連載寄稿] シンガポール便り

80 東京玉翠会事務局体制

54 東京玉翠会 同好会通信

81 東京玉翠会総会チーム

73 玉翠会からの図書館への寄付金について

平成4年卒(卒業25年目学年幹事)体制

74 各地の玉翠会だより

82 東京玉翠会役員名簿・幹事名簿

関西玉翠会 東海玉翠会

86 校歌・校友会の歌・応援歌

岡山玉翠会 徳島玉翠会

92 第34回総会平成4年卒幹事団ご紹介

78 東京玉翠会会則

94 編集後記

東京玉翠会ホームページ <http://www.gyokusui.com/>

# ごあいさつ 日本一の同窓会を祝う



東京玉翠会会長

渡辺 修

今年も待ちに待った「東京玉翠会総会」の日を迎えることができました。この日のためにご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

お陰様で昨年の総会は1,252人の参加をいただき、各分野の日本一記録を認定する「NIPPON-1.NET」から「団体としての高校同窓会参加人数日本一」に記録されました。この結果は単なる数字ではなく、一人一人の母校を慕い、故郷を思い、旧友との再会を願う心と心のつながりから生まれたものとして誠に価値あるものであり、皆で祝いたいと思います。

第34回目の今年の総会は「つなぐ、こえる、我が母校。」をテーマとしています。日本一となった今、そうした同窓会の原点を改めて大切にしていきたいという幹事団の熱い思いが伝わってきます。

今年の総会幹事の皆さんは、時代が平成に移って初めて高高に入学し、高校2年の平成3年2月に新たな校舎に移り、新旧の校舎を経験した学年でもあります。このように時代の変化をこえて母校への思いをつないできた彼らは、旧校舎ジオラマ模型の輸送・展示をはじめ数々の工夫を凝らして総会を演出してくれます。ご参会の皆様にご心ゆくまでお楽しみいただき、互いにたくさんの元気を貰う場となることを期待しています。

また、総会開催に当たっては、いつものように広告をはじめ香川県ゆかりの企業の皆様にご協力をお願いしていますが、特に本年は企業の方々にお運び頂き総会会場での交流会も企画いたしました。地方創生が叫ばれ県人口が平成11年をピークに減少する中、若い会員と故郷とをつなぐ一助になればと考えております。

最後に、本日ご参会の皆様のご健勝と本会の益々の発展を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

# 東京玉翠会総会によせて



玉翠会会長

榎田 實

「団体としての高校同窓会参加人数日本一」の「東京玉翠会総会」が今年第34回として盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

今年の総会テーマは「つなぐ、こえる、我が母校。」

平成4年ご卒業の幹事の皆様、ご苦労様です。毎年1,000名を超える出席者に、讃岐の伝統精神「お接待」、「おもてなし文化」を関東・東京の地でも継続されていますことに敬服いたします。

さて、さる3月4日に母校高松高校卒業式が挙行されました。今年度は全日制320名（入学者320名）、定時制6名、通信制41名の総数367名でした。（卒業生累計は53,186名）

卒業証書授与式での卒業生代表は、全日制「氣多希」さん、定時制「ラネス・アイビー・ジョイス」さん、通信制「真鍋広子」さんとすべて女子で、続く送辞も「大谷ベイリー咲彩」さん、最後の答辞が男子学生の「徳弘達也」さんでした。また、全日制卒業生は女子学生が20名ほど、男子学生よりも多く、安倍総理の掲げる女性重視政策方針からも頼もしく思えました。

私事ですが、昭和42年卒業生は、クラス55名18組一学年990名で、現在はクラス40名8組320名。今の全校生徒数は約960名で、我々の時の一学年総数よりも少ないですが、まさに校友会の歌「朝日輝く」の歌詞の「いそしむ健児一千余」です。また、18クラス中4クラスは男子組で、運悪く私は3年間男子組で、部活も男子バレーボール部で大切な大切な青春時代を「男の世界」で過ごしました。

さて、私は各地の玉翠会等で、高松高校校歌を歌う機会は、多々ありますが、卒業式での校歌斉唱は、なぜか胸に熱いものが込み上げ、50年前にタイムスリップした特別な気持ちにさせてくれます。

高松高校の伝統である「至誠一貫」「雪持ち笹」「独立自主」の気高い精神の下、本校卒業生の誇りと自覚を持って、羽ばたいてほしいと思いました。

最後となりましたが、渡辺会長をはじめ、会員皆様方のご健勝と、「東京玉翠会」の益々のご隆盛を祈念いたします。

# ごあいさつ



香川県立高松高等学校校長

## 溝渕祥民

夏の風が熱気を運んでくるころとなりました。東京玉翠会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年も、恒例の東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

さて私こと、平成28年4月1日付けで香川県立高松高等学校校長を命じられました。浅学非才にして弱輩未熟ですが、再度の勤務となる母校の興隆発展のため最善を尽くしたいと考えています。なにとぞ倍旧のご支援とご厚情をお願い申し上げます。

かつて私は、平成5年4月、公民科教員として本校に赴任してきました。おりしも創立百周年に当たり、その記念式典などの行事が思い出されます。昭和の校舎は既に無く、白亜の新校舎が落成したばかりでした。その後5年間の在職中、全天候型第一グラウンドや屋上にプールを備えたセミナーハウスなど現在の施設が次々と竣工したことを記憶しています。

この間、私自身、一度、この総会に出席させていただいたことがあります。今や日本一の参加人数を誇る総会は、東京プリンスホテルでの開催でした。その鳳凰の間には、当時も大勢の卒業生が<sup>こぞ</sup>挙り、旧交を温めるとともに新たな交流が深められ、<sup>みなぎ</sup>漲る意気と熱意が印象的でした。

それから18年の星霜を経て、このたびの着任早々、第34回を迎える東京玉翠会総会にご案内をいただきました。誠にありがたく、お礼申し上げます。今年のテーマは「つなぐ、こえる、我が母校。」です。現在の高松高校に集う一千名を超える生徒と教職員を代表して出席させていただくなかで、高松高校という絆で会員各位とつながり、そして、共に新たな時空へと歩みを進めて行けることを楽しみにしています。

終わりに、本総会に格段のご尽力をいただいた平成4年ご卒業の皆様<sup>に</sup>に厚くお礼を申し上げ、あわせて、ご参会の皆様方の益々のご活躍と東京玉翠会のさらなるご隆昌をお祈りし、私からのご挨拶とします。

## 第34回総会次第

### 一、開会の辞

一、チェンバロ演奏—————渡部 志乃 (平成4年卒)  
J.S.バッハ作曲 イタリア協奏曲第1～3楽章

一、会長挨拶—————東京玉翠会 渡辺 修 会長 (昭和34年卒)

### 一、議事

第1号議案：活動報告 第2号議案：会計報告

第3号議案：監査報告

### 一、来賓紹介

一、来賓挨拶—————香川県知事 浜田 恵造 様

一、図書購入資金進呈—————挨拶 高松高等学校校長 溝渕 祥民 先生 (昭和51年卒)

一、乾杯—————玉翠会会長 槇田 實 様 (昭和42年卒)

### 一、懇親会

- ・ご紹介 カトーレック株式会社 代表取締役会長兼社長 加藤 英輔 様 (昭和48年卒)
- ・第34回総会幹事挨拶 (平成4年卒)
- ・次回総会担当幹事挨拶 (平成5年卒)
- ・新入会員紹介
- ・校歌・応援歌斉唱・応援団エール (応援団・ブラスバンド・TMC)
- ・全体集合写真撮影
- ・唱歌『ふるさと』斉唱

### 一、閉会の辞

## 議案書

### 第1号議案：活動報告

平成27年度東京玉翠会活動報告(案)(6ページ参照)

### 第2号議案：会計報告

平成27年度収支計算書(案)(7ページ参照)

### 第3号議案：監査報告

平成27年度収支計算書(案)(7ページ参照)

## 平成27年度東京玉翠会活動報告(案)

### (1) 幹事会

- 2015年3月7日(土)：第33回総会準備幹事会(第1回)(於：TKPスター貸会議室表参道)
  - 2015年4月4日(土)： ” (第2回)(於：タダノ東京事務所)
  - 2015年6月6日(土)： ” (第3回)(於：タダノ東京事務所)
- 第1回幹事会にて、総会幹事より、2005年第23回総会の動員数1,130名が、日本一認定サイト「NIPPON-1.NET」にて「団体としての高校同窓会参加人数日本一」に認定されたとの報告があり、第33回総会ではさらなる記録更新、1,200名超えを目指す方針が示された。
- 第3回幹事会では、長年東京玉翠会の発展のため尽力されてきたS33年卒大西昭一郎初代事務局長が5月2日に癌のため逝去されたことが事務局より報告され、皆で黙祷を捧げた。

### (2) 総会

- 2015年7月4日(土)：第33回東京玉翠会総会開催(於：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」)
- 総会テーマ：「讚讚高高(さんさんたかこう) NIPPON-1」
- 出席者数：1,252名(男性：553 女性：313 若手社会人：74 学生：60 その他：252)
- 動員目標の1,200名を大幅に突破。動員数速報値が示されると、会場は歓喜の声に溢れた。後日、正式に、再度、日本一認定されたとの報告がなされた。
- その他、学生の就職活動を支援する「業界交流会」や地元企業の展示会・物販、総会会場での全員写真/動画撮影など、様々な企画が行われ、盛会となった。

### (3) 事務局会議

- 2015年10月3日(土)：事務局会議開催(於：貸会議室プラザ 八重洲北口)
- 事務局活動や総会運営に関する諸課題を協議しつつ、事務局内親睦を深めることを目的として、標記会合を開催。新規メンバも迎え、計17名参加。

### (4) 総会幹事引継ぎ会

- 2015年11月8日(日)：H3年卒第33回総会幹事団からH4年卒第34回総会幹事団への全体引継ぎ会実施(於：グランドプリンスホテル新高輪 3階「平安」)。
- H3年卒幹事団、H4年卒幹事団に加え、H5年・H6年卒幹事代表者、事務局メンバも一部出席し、計40名弱が参加。

### (5) 常任幹事会

- 2015年11月21日(土)：常任幹事会開催(於：学士会館)
- 幹事慰労会前に実施。全体活動報告、同好会活動・他支部との交流状況報告、会計報告等が行われた。また、総会運営収支に関する課題が報告され、今後、対策を検討していくことになった。

### (6) 幹事慰労会

- 2015年11月21日(土)：幹事慰労会実施(於：学士会館)
- H3年卒第33回総会幹事団、各学年幹事の慰労を行うとともに、H4年卒第34回総会幹事団の紹介、激励を実施。

### (7) 本部・他支部との交流

- 2015年3月6日(金)：母校卒業式にて玉翠会各支部紹介「Welcome to our 玉翠会」配布。
- 2015年4月9日(木)：玉翠会副会長形見重男様ご逝去。弔電を送付。
- 2015年9月、玉翠会本部より、母校現役生徒のミラノ国際博覧会への派遣(10月9日～12日)支援要請を受領。東京玉翠会メンバの協力を得て、現地企業への訪問・文化交流を実現した。
- 東海玉翠会、関西玉翠会、岡山玉翠会、徳島玉翠会の2015年度各総会に対し、代表者の派遣/祝電の送付実施。

### (8) 高中幹事会

- 2015年10月31日(土)：2015年度高中幹事会を開催(於：日本橋ざくろ)
- 事務局含め5名参加。我が国の歴史から将来展望、戦時中の思い出などを語り合った。

### (9) その他

- 2015年5月4日(月)、5日(火)：5月2日に逝去された大西昭一郎初代事務局長のお通夜、葬儀が執り行われ、東京玉翠会より供花・弔電を送ると共に、渡辺会長を始め、有志メンバにて参列した。
- 2015年6月2日(火)：東京玉翠会も会長名で発起人に名を連ねて「大西昭一郎先生お別れの会」を開催。改めて供花を送ると共に、多くのメンバが参加し、代表者による弔辞等、哀悼の意を表した。

## 平成27年度収支計算書(案)

自 平成27年 1月 1日  
至 平成27年12月31日

東京玉翠会  
会長 渡辺 修

【特別会計】

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
会場使用料	6,406,560	総会出席会費	5,980,000
会場運営費	258,388	男 性 553人	
総会準備費	3,057,539	女 性 313人	
図書寄付金	150,000	若手社会人 74人	
プログラム制作費	859,120	学 生 60人	
一般会計への繰入	492,164	その他 252人	
		寄付金収入	267,000
		雑収入	4,976,771
合 計	11,223,771	合 計	11,223,771

【一般会計】

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
会議費他	491,260	前期繰越金	8,918,784
通信費雑費	73,678		
		預金利子	1,331
次期繰越金	8,847,341	特別会計より繰入	492,164
合 計	9,412,279	合 計	9,412,279

[次期繰越金]

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店	
普通預金 No.125044	3,784,782円
定期預金 (通帳式定期) 満期 平28年 9月 7日	1,732,255円
定期預金 (通帳式定期) 満期 平28年 6月14日	2,144,680円
定期預金 (通帳式定期) 満期 平28年 6月14日	1,178,190円
(ロ) 手持ち現金	7,434円
	8,847,341円

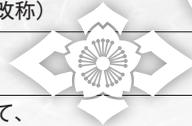
※脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について、監査の結果、適正なることを認める。

平成28年 2月22日

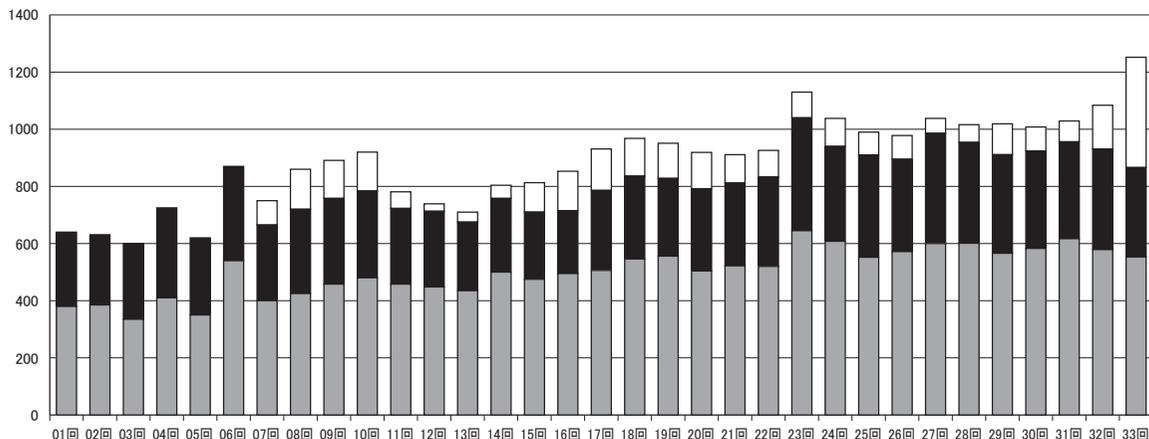
監事 岡内伸一 ㊟  
同 橋詰信子 ㊟  
同 庄村敦子 ㊟

# 東京玉翠会の軌跡

年月日	できごと	
1891年 (M24) 10月	讃岐婦人進徳会により、進徳女学校設立 (M35年に県立に移管、香川県立高松高等女学校(高女)と改称)	
1893年 (M26) 5月	香川県尋常中学校設立 (M32年に香川県立高松中学校(高中)と改称)	
1948年 (S23) 4月	新学制実施、旧高中は香川県立高松高等学校と改称、 旧高女は香川県立高松女子高等学校と改称	
1949年 (S24) 4月	旧香川県立高松高等学校、香川県立高松女子高等学校を統合して、 香川県立高松高等学校を設置	
1950年 (S25) 1月	高中同窓会「玉藻会」と高女同窓会「晩翠会」合同し、「玉翠会」として発足	
3月	高松高等学校第1期生卒業	
1959年 (S34)	この頃、晩翠会東京支部総会始まる	
1968年 (S43)	この頃、東京高中会始まる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">東京 高中会 晩翠会</div>
1974年 (S49)	(S25-27卒合同同窓会(於:讃岐茶屋、参加者:100名程度)) (東京高高会開催の気運高まる) 第1回「東京高高会準備会」打合せ(於:百十四銀行東京支店)	
1975年 (S50) 5月17日	第1回東京高高会開催 [幹事年:S25、26卒中心] (於:東京プリンスホテル・サンフラワーホール) (初代会長:多田野久氏、参加者:262名)	
1976年 (S51) 6月19日	第2回東京高高会 [幹事年:S27卒] (於:マツヤサロン、この頃より、学年幹事制が確立)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">東京 高中会 晩翠会 高高会</div> 並存
1981年 (S56)	この頃より、東京高中会・高高会に相互参加し、交流を深める	
1982年 (S57) 5月15日	東京玉翠会発足三会同準備委員会	
6月26日	第8回東京高高会 [幹事年:S28、S33卒] (於:ホテルオークラ東京・曙の間)	
10月18日	第15回東京高中会 (於:霞ヶ関ビル35階) 第24回晩翠会東京支部総会 (於:東條会館)	
1983年 (S58) 3月4日	第1回東京玉翠会準備三会同委員会 (於:タダノ東京支社) (3月19日 第2回準備会、4月23日 第3回準備会)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">東京 玉翠会</div>
6月25日	東京玉翠会設立、第1回東京玉翠会総会開催 [幹事年:S29、S34卒]	
11月5日	高松高校創立90周年祝賀会 (於:高松)	
1993年 (H5) 11月27日	高松高校創立100周年記念式典・祝賀会 (於:高松)	
2013年 (H25) 9月7日	高松高校創立120周年記念式典 (於:高松)	
2015年 (H27) 7月4日	第33回総会で1,252人を動員。団体としての高校同窓会で参加人数日本一	

東京玉翠会総会参加者人数

■男性 ■女性 □学生・その他



# 東京玉翠会の歴史

回	年	日付	幹事	会場	会長	テーマ
第1回	1983	6.25(土)	S34卒	如水会館	平井 健吉 [T7卒]	—
第2回	1984	6.23(土)	S35卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	平井 健吉 [T7卒]	—
第3回	1985	6.15(土)	S36卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	平井 健吉 [T7卒]	—
第4回	1986	7.5(土)	S37卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	平井 健吉 [T7卒]	—
第5回	1987	6.20(土)	S38卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	平井 健吉 [T7卒]	—
第6回	1988	6.25(土)	S39卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	平井 健吉 [T7卒]	わたっていい友!
第7回	1989	6.17(土)	S40卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	平井 健吉 [T7卒]	母校の昭和史
第8回	1990	6.30(土)	S41卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	大島 功 [S5卒]	文化祭の青春
第9回	1991	7.13(土)	S42卒	赤坂プリンスホテル クリスタルパレス	大島 功 [S5卒]	グッバイ! 旧校舎 ハロー! 新校舎
第10回	1992	7.4(土)	S43卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	大島 功 [S5卒]	2001年のTAKAMATSU 東京の中の讃岐
第11回	1993	7.10(土)	S44卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	大島 功 [S5卒]	高松高等学校百年の歩み 随筆・母校の思い出など
第12回	1994	7.9(土)	S45卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	宮井仁之助 [S14卒]	101年 いま新たな出会い
第13回	1995	7.1(土)	S46卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	宮井仁之助 [S14卒]	リ・ユニオン 新たな結び合い
第14回	1996	7.13(土)	S47卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	宮井仁之助 [S14卒]	集えば青春… ふとくあつくながく
第15回	1997	7.12(土)	S48卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	宮井仁之助 [S14卒]	どなんしょんな? たまには来まい -The King's Sanukibenとの出会い-
第16回	1998	7.11(土)	S49卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	辻 義文 [S20卒]	いま"シンプル"に SHALL WE 高松?
第17回	1999	7.10(土)	S50卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	辻 義文 [S20卒]	平成いい(11)年の7の月、集えば元気が湧いてくる!
第18回	2000	7.11(土)	S51卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	辻 義文 [S20卒]	20世紀のフィナーレ そして21世紀へ～ 歴史と未来を語り合う夕べ
第19回	2001	7.14(土)	S52卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	辻 義文 [S20卒]	温故知新～世紀新たな陽に映えて
第20回	2002	7.13(土)	S53卒	東京プリンスホテル 鳳凰の間	辻 義文 [S20卒]	来まい、食べまい、話しまい。 20年目の玉翠祭
第21回	2003	7.12(土)	S54卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	辻 義文 [S20卒]	さめき～マイブーム ～自分の中にある讃岐をふりかえってみませんか～
第22回	2004	7.10(土)	S55卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	辻 義文 [S20卒]	東京玉翠会再発見 ～新たな四半世紀に向けて～
第23回	2005	7.9(土)	S56卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	辻 義文 [S20卒]	おいでませ 夏だ! 祭りだ! 全員集合!
第24回	2006	7.8(土)	S57卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	渡辺 修 [S34卒]	つながり 最近、なんしょんな?
第25回	2007	7.14(土)	S58卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	渡辺 修 [S34卒]	25年目の文化祭
第26回	2008	7.12(土)	S59卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	渡辺 修 [S34卒]	なんがでつきよんな? ～What are you makin'?～
第27回	2009	7.11(土)	S60卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	渡辺 修 [S34卒]	原点 ～あの日・あの時・あの場所で～
第28回	2010	7.10(土)	S61卒	ホテルバシフィック東京 萬葉の間	渡辺 修 [S34卒]	東京 ～あなたにとっての東京とは～
第29回	2011	7.9(土)	S62卒	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	渡辺 修 [S34卒]	おひさしぶり! はじめまして!
第30回	2012	7.7(土)	S63卒	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	渡辺 修 [S34卒]	玉翠 三十にしてたつ～新たな時代へ 七夕の集い～
第31回	2013	7.6(土)	H01卒	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	渡辺 修 [S34卒]	平成元氣120% ～祝創立120周年～ —高高いね!—
第32回	2014	7.5(土)	H02卒	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	渡辺 修 [S34卒]	高高から、つながる・ひろがる
第33回	2015	7.4(土)	H03卒	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	渡辺 修 [S34卒]	讃讃高高 ～NIPPON-1～
第34回	2016	7.9(土)	H04卒	グランドプリンスホテル新高輪 飛天	渡辺 修 [S34卒]	つなぐ、こえる、我が母校。



34  
つなぐ、こえる。我が母校。

# [第34回テーマ] つなぐ、

## もはや同窓会ではない「何か」

私の好きなSF漫画で、人類初の木星到達第一声を任された宇宙船の船長が、任務ではなく原稿のプレッシャーで胃潰瘍になるという話があるのですが、今その船長の気分です。代表幹事を引き受けて15年。思えば木星行き並みの長い旅路でした（ってまだ終わってませんが）。諸先輩方、そして同期の皆への感謝はありすぎて、いざ書こうとするとなかなか筆が進みません。なのであえて違う話から書こうと思います(笑)。

この15年間ずっと考え続けている事があります。「何のためにこの同窓会をやるのか」という問いへの答え、です。

いまさら「平成4年問題」と言われた初期の動員数低迷に言い訳をするつもりも無いのですが(笑)、「たかが同窓会」にここまで多くの人の貴重な時間を貰う理由、企業から多額の広告を頂く意味が、正直良くわからなかったのは事実です。

答えが見つかったかと言われると自信はありません。ただ若干上から目線な言い方をお許し頂けるならば、それは「母校と故郷への恩返し」ではないか。ベタですが最近はその事を考えています。きっかけは、初めての試みである「Uターン企画」への、香川の名だたる企業様からの予想を上回



# こえる、我が母校。

る参加でした。そんな地元香川からの高い期待値に日々触れるうちにふと思ったのです。高高卒業生が1,200人集まるイベントって、我々が思っている以上の価値があるのではないかと。

そこに集うメンバーの優秀さは、何より「幹事団」を経験した我々が一番実感していますから(笑)。

私たちの東京玉翠会は、日本一になった昨年あたりから、もはや「たかが同窓会」を超えた存在に進化したのではないのでしょうか。玉翠会を通して人と人、人と企業が結びつき、やがて故郷香川に新しい付加価値を生んでくれたら…幹事としてこれほどの喜びはありません。

この素晴らしいプラットフォームを生み育て上げた全ての先輩関係者に感謝します。今日のために頑張った同期メンバーを誇りに思います。未来にわたって維持し続けるために、特に後輩の皆様には是非うまく玉翠会を「使って」頂きたいと思います。

そして本日お集まりの全ての皆様。

「日本一の同窓会」へようこそ。至らぬ点も多々あるかと思いますが、幹事一同精一杯務めます。どうぞ素晴らしい時間を過ごされますように。

平成4年卒幹事団代表 河西寿幸

プログラムと連動企画も!

本日7月9日の

# イベント&特別展示のご案内

「つなぐ、こえる、我が母校。」をテーマに、本年の総会は、私たち平成4年卒の幹事団が高校2年生のときに建て替えとなった学び舎・昭和校舎に焦点を当てた企画満載でお届けします。もちろん、全世代のみなさまにお楽しみいただけるよう、演奏会や展示物、郷土の味の販売なども行います。プログラムの記事と連動している企画もございますので、ぜひ事前にお目通しのうえ、お楽しみください。

## 国境をこえる、日本とつなぐ <場所：飛天ステージ>

### ■チェンバロ生演奏 16:30～(開宴後すぐ)

初の試みとして、総会開始とともにチェンバロコンサートをスタートさせます。音楽の本場であるドイツやオーストリアでピアニスト兼チェンバリストとして活躍する渡部志乃さん(平成4年卒)が、二段鍵盤のチェンバロを奏でます。

▶28ページからは渡部さんの特集を掲載。また、31ページにはチェンバロという古楽器の音が鳴る仕組みや魅力について、詳しい解説がございます。



## 時空をこえる <場所：さくら>

### ■「5つの校舎」ジオラマ展

普段は高高の玄関内に展示されている県女、高中、高高昭和校舎、昭和校舎内部、平成校舎の5つのジオラマを総会会場に運びました。なかなか東京ではお目にかかれないものです。ぜひお見逃しなく!

▶21ページのコラム「必見 これが我が母校のジオラマだ!」には各校舎に関する説明が掲載されています。

輸送協力/カトーレック株式会社美術輸送支店(48ページより、同社についてのご紹介企画がございます)



### ■「昭和校舎」写真展

平成元年の入学当初から、学校行事はすべて撮影。翌年の建て替えが決まった昭和校舎の最後を「旧校舎を記録する会」の一員として遺すべく、小島道継さん(平成4年卒)がシャッターを押し続けました。大切に保管されてきた秘蔵写真をパネルにして展示しております。

▶14ページからの特集「昭和校舎最後の日」には当時の秘話が満載。併せてお読みください。



### ■「卒業アルバム」展示

本年総会幹事団(平成4年卒)の父であり、高高で教鞭をとった2人の教師、木村齊先生(生物)、本澤大弘先生(英語)らのご協力のもと、昭和35年、昭和40年～平成15年までズラリ40年分の卒業アルバムが揃い踏み。懐かしい友やあの日の自分に会えるはず!

# 故郷と東京をつなぐ <場所：さくら>

## ■さぬきの「新旧人気の味」を販売

たっぷり買い込んでも、宅配サービス(有料)がございます。お財布の紐をゆるめてお買い物を！

### 【出店店舗】

『香川・愛媛 せとうち旬彩館』  
新橋のアンテナショップが出張販売。郷土自慢の懐かしの味や、豊かな風土で育まれた産物が揃います。香川県外からも注目を集めている商品や、県産品コンクール受賞品もお目見えます。



### 【石丸製麺】

「郷土を愛する心と誇り、創業明治37年讃岐伝統の味」を自負する同社。昭和59年には日本初の手打式乾麺の商品化に成功。うどんの試食販売もあります！



### 『四国食べる通信』

高高卒業生のボン真鍋こと真鍋邦大さん(写真左)が運営。小豆島のオリーブ油やしょうゆなど、厳選された地産の逸品を販売します。



### 株式会社四国食べる通信

代表取締役 ボン真鍋／真鍋邦大さん(平成9年卒)  
東大大学院卒業後、外資系金融機関を経て'12年に小豆島へ移住。(株)459を創業し、地域資源を活用したビジネスや地域おこしを手掛ける。'14年に食材付き情報誌『四国食べる通信』を創刊し、『かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2014優秀賞』受賞。'15年に拠点を高松に移し、食と農を通じた交流に取り組んでいる。

## ■地元企業への就職を応援

香川に拠点を置く魅力的な企業と、故郷での生活を再び夢見る高高卒業生の出会いの場を設けました。Uターンを希望する人、就職活動中の人、転職を考える若手社会人、30・40代、あるいはそれ以上のかたが対象です。各社ブースを設けていますので、この機会をご活用ください。

場所：さくら内・ホール前室(物産販売と託児スペースの間)

時間：15:30～18:30

▶51ページからの「香川県企業と高高卒業生をつなぐ会」も併せてお読みください。

ご注目  
ください！

## 「写真撮影および入手方法」についての大切なお知らせ

1

総会当日**18時ごろ**より、**全体写真を撮影**いたします。

「飛天」で待機されますよう、ご協力ください！

2

上記全体写真のほか、幹事撮影部隊があちこちで撮影したスナップ写真は、**ウェブサイトから無料でダウンロードが可能**に。また、**同サイトから有料でプリント発注**もできます。

### ■パソコンやスマホでこちらにアクセスを！

東京玉翠会ホームページ <http://www.gyokusui.com/>

第34回東京玉翠会総会 facebook

<https://www.facebook.com/34thGYOKUSUI/>

パスワード(合い言葉) bokou34th

※同サイトは9月30日にクローズとなりますので、お早めにダウンロードください。

つなぐ、こえる、我が母校。

「時代をこえ、すべての高生をつなぐ」 篇



# 『昭和校舎最後の日』

私たち平成4年卒は、言うならば「昭和校舎最終世代」。昭和校舎を最後に使わせていただき、見送らせていただいた世代です。その私たちとまったく同時期に3年間を高高校長として過ごされ、そして昭和校舎最後の校長として私たちとともに昭和校舎を見送られたのが、塩井敏治先生でした。「今ここで私たちが昭和校舎を語らなければ、この先もう二度と昭和校舎が語られることはないかもしれない」、そんな私たちの切なる思いから実現した本企画。自らも高生・高生として6年、高生教員として21年、そして高生校長として3年、つごう30年にわたり誰より近くで昭和校舎とともに歩んでこられた塩井元校長先生に、昭和校舎の「生い立ち」から「旅立ち」までを振り返っていただきました。



県女の生徒たちによって、日々大切に磨き上げられた昭和校舎の廊下。



昭和13年9月に完成した旧県女の真新しい校舎。

## 県の誇り、県の宝

私たちの昭和校舎が、旧県女の新校舎として番町一等地の一角に燦然と姿を現したのは昭和13年9月のことでした。当時最先端の鉄筋コンクリートの建物は、まさに県の誇り、県の宝でした。その姿を一目見ようと各地から多くの関係者が足を運んで来たことは今なお語り草となっています。真新しい白壁の校舎を、その校歌に謳

われた精神さながらに県女の生徒たちは愛で、慈しみ、「米ぬか雑巾」で毎日鏡のように磨き続けたと言います。しかし程なくして第二次世界大戦が勃発。県女の生徒たちが日々大切に、大切に磨き続けた真新しい校舎も否応なく戦争の荒波に飲み込まれていきました。

## 戦時下の雪持ち笹

昭和20年7月4日未明、高松は大空襲に見舞われました。午前3時前に始まった大空襲は、2時間足らずのうちに高松市街の大部分を焼き尽くしてしまいました。死者1,300人余。終戦までもうあと1か月という時のことでした。昭和19年4月に旧制高松中学に入学されていた塩井先生は、当時高松の夜空に茶色い雨のように降り注いだ油脂焼夷弾の恐怖を、今なお生々しく記憶されていました。未明の大空襲を経て焦土と化した高松市街。大きな痛手を負いながらも、辛うじて焼け残った数棟の建物。烈しい戦火を生き延びたとはいえ、三越など多くの建物が内装もすっかり失ってしまったのとは対照的に、昭和校舎は奇跡的にその内装を留めます。その奇跡の舞台裏を塩井先生が次のように説明してくれました。「当時の校舎には勤労働員で出払った生徒たちの代わりに海軍の地方連絡部なる組織が駐屯しとりましたね。彼らこそが、斜めから窓を突き破って飛び込んできた焼夷弾で燃え上が

る廊下の炎を命懸けで消してくれたんですよ」。

戦時中は軍の駐屯所として、そして戦後一時期は焼失した県庁の仮庁舎として、私たちの昭和校舎は戦中戦後の香川を、高松を、雪持ち笹のごとくしなやかに支え続けたのです。



高松空襲によって、旧高中校舎は灰燼に帰した。

# 物言わぬ歴史の証人

終戦直後のまだ日々の生活さえままならない中、校舎を完全に焼失した高松中学同様に、一時期県庁の仮庁舎として機能していた県女もまた、校舎外に複数の「分教場」を構える形で学校教育を再開しました。程なくして、その両校にとって一つの大きな転機が訪れます。昭和24年4月1日、前年の学制改革によって既に新制高等学校に移行していた男子校の高松高等学校と、高松女子高等学校が統合されたのです。香川県立高松高等学校の誕生です。

この日を境に、県女生徒たちが日々慈しみ、高松空襲をもしなやかに生き抜いた昭和校舎の廊下を、突如として男子生徒たちが大股で闊歩し始めました。しかし、目の前の道路が舗装されるのはまだずっと先の話。徒歩で、自転車で登校してきた男子生徒が、下駄に草履にと、思い思いの出で立ちで校内を土足で闊歩するたび辺りに埃が舞い上がりました。その粗暴な男子生徒の振る舞いに当初県女のOGからは強い反発の声が寄



終戦直後、香西・弦打・川岡・平井・屋島の5カ所に分教場が設置された。写真は塩井先生も実際に通った香西分教場近くの神社の石段で撮影されたもの。

せられたと、当時新制高校3年に在籍され、高生活最後の1年を昭和校舎で迎えることになった塩井先生は振り返られていました。

しかし、新たな学制のもと県下の優れた若者が集う共学の進学校として力強く再出発を果たしていく中で、この土足歩行も徐々に定着していきます。以後世が平成に変わるまでの長きにわたり、埃を立たせないために幾重にも油を塗り重ねられながら、そして階段には靴の衝撃による摩耗を防ぐために金具を打ち付けながら、かつて県女生に慈しまれ、烈しい戦火をも生き抜いた木製の廊下は、時代の要請に合わせてその姿形を変えながら、何千何万という才気溢れる若者を静かに育み、その成長を静かに見守っていったのです。



烈しい戦火をも生き抜いた昭和校舎の廊下は以後解体されるまでの50年あまり、高生の高成長を静かに見守り続けた。

## 発祥の地への想い

昭和40年代に入り、昭和校舎をめぐって大きな社会問題が取り沙汰されるようになります。騒音問題です。日本の高度経済成長、社会全体のモータリゼーションの例に漏れず、目の前の県道の交通量も急激に増えていきました。県下有数の進学校として、現場は騒音対策に追われるようになります。道路側のすべての教室の窓ガ

ラスを二重窓にしました。また昭和40年代半ばにはマイクによる授業も開始されました。教室ごとに周波数を変えるなどあらゆる手段を試みるも抜本的な解決には至りませんでした。

そうした折、にわかに現実味を帯びてきたのが高高の郊外移転構想でした。郊外に移転すれば、騒音問題を解決出来るばかりか、もっと広々

とした敷地に理想的な教育環境を築くことが出来るはず（ちなみに敷地の広さは当時の県立高校32校中、狭い方から数えて3番目でした）。県下の前途有望な若者を預かるといふ重責を思えばこそ、当時の高高の教職員の間では郊外移転説を推す声が多かったそうです。昭和31年より高高で社会科担当教員をされていた塩井先生もまたその一人であったことを正直に明かしてくれました。

西グラウンドの南東の一角に佇む「香川県立高松中学校発祥地」の石碑。



新体育館の大屋根に施された「雪持ち箆」の意匠。方角や高低によらずその形を認識することが出来る。

しかしこの流れに待ったをかけたのが、OB・OGたちの高高発祥の地に対する切なる思いでした。旧高中敷地内の通称西グラウンドに今なおそびえ立つ「香川県立高松中学校発祥地」の石碑。多くの卒業生にとって、この一帯こそが高高であり、郊外への移転など到底受け入れられないことだったのです。県随一の伝統ある進学校として果たして優先すべきは、教育的見地に立った快適な学習環境の構築なのか、それとも卒業生たちの一途な思いに応えることなのか。やがて騒音問題に加え、校舎の老朽化も問題として頭をもたげ始めます。そして昭和50年代半ばに改築改修に関する陳情書が県議会に提出されるに至り、郊外移転の可

能性も視野に入れた高高校舎の全面改築がいよいよ現実的な問題として県で議論され始めます。

高高移転問題。この論争に終止符を打ったのが、全面改築に先駆け、昭和61年に以前と変わらない番町の敷地内で始まった新体育館の工事でした。この瞬間、高高郊外移転の可能性は完全に潰えました。“高高、この地にあり”。それを象徴するかのように、昭和63年に完成した新体育館の大屋根には、当時県庁で設計業務を担当していたOBの協力もあり、雪持ち箆をあしらった意匠が施されます。それはまさに、高高発祥の地に未来永劫留まることを切望したすべての卒業生の想いの結晶でもありました。

## 昭和校舎最後の日

私たちが高高に入学し、塩井先生が昭和校舎最後の校長として赴任された平成元年の8月24日、いよいよ校舎全面改築に向けた工事の起工式が執り行われました。以後2年足らずの月日を塩井先生と私たちは、プールもない、グラウンドもない、常にドリリングの音が辺りに鳴り響くユニークな環境の中で高高生活を送ることになります。

そして平成3年1月、ついに手狭な敷地を最大限活用した県立高では初となる5階建ての都

市型校舎が番町の一等地に姿を現しました。総事業費27億5,000万円。騒音問題をしっかりと克服し、生徒のみならず市民にも開かれた学び舎を目指し、コの字形に並べられた新校舎の中央には四方に開放された「プラザ」が配備されました。「うわあ、これは上手い。あんな狭い土地に、よくここまで上手く作りこんだなあ」、そう塩井先生は平成校舎を初めて目にした時の驚きを語ってくれました。

昭和校舎から平成校舎への引越し作業も完



平成3年2月9日に新校舎で授業が開始されるに伴い、その激動の歴史に終止符を打った昭和校舎。

掃ぶりに驚きます。隅々まで磨き上げられた廊下という廊下。そして教室には、取り壊す校舎とともに廃棄されるはずの古びた机と椅子までもが整然と並べられていました。歴代の先輩たちを敬う心、そして遠く県女の時代から私たちを育み続けた昭和校舎に向けられた生徒たちの深甚なる謝意に心を打たれたと言います。「本当に嬉しかった。高生とはかくも心が豊かな

了した平成3年2月初旬のある日のこと、当時の生徒会から塩井先生のもとに一つの要望が寄せられます。それは、県女の頃から長きにわたり代々の先輩もお世話になった昭和校舎をもう一度最後に隅々まで磨き上げたい、そして昭和校舎を送り出す前に「さようなら音楽会」を開きたいというものでした。しかし新校舎での授業開始に向け、既に昭和校舎では電気も水道も止めてしまっていました。それでも、塩井先生は生徒たちのこの要望を聞き入れます。

まだ寒さの残る2月下旬のある日のこと、すべての役割を終えもはや取り壊されるのを待つだけの昭和校舎に、当時現役2年生だった私たちは1学年下の生徒たち(平成5年卒)とともに入って行きました。既に水道が止まっていたので、真新しい平成校舎からバケツで水を運び入れました。ここから眺める風景もこれで見納めになるのだと言い聞かせながら、窓という窓を青空に向けて開け放ちました。

その日の夕方、生徒全員の帰宅を見届けた後、塩井先生は事務部長とともに昭和校舎を最後に巡回されたのだそうです。そしてその見事な清

んだと涙が出るほど嬉しかった」、その時の思いを塩井先生はそう語ってくれました。

平成3年3月8日、その年の卒業式終了後に昭和校舎の図書室で「校舎を送る集い」が催されました。現役の教員と生徒たちによる演奏に乗せ、全国から集ったOB・OGたちが慣れ親しんだ学び舎で最後の校歌を歌いました。そこには、高高校長である前に自らもまた一人のOBとしてその様子を万感の思いで見届ける塩井先生の姿がありました。



昭和校舎の図書室で開催された「校舎を送る集い」。指揮者は高高オーケストラ部創設者でもある抜井寛先生。

## 最後の試練

新校舎落成式典を3か月後の6月15日に滞りなく終え、高生生のシンボルツリーであるクスノキの移植計画も周到に済ませ、もうあとは旧校舎跡地の整地作業の完了を待つばかり。定年まで残り7か月、これまでの移転作業を感慨深

く振り返っていたある夏の日のこと、耳を疑うような通達が県から塩井先生になされます。

高高の地下に公共駐車場を建設する計画が進んでいるという話でした。無論、校舎移転計画においていっさい触れられていなかったことです。

この唐突な県の計画に、現場は大いに混乱します。何よりも最初に塩井先生の頭をよぎったのは、私たち平成4年卒を含む在校生のことでした。「校舎移転をようやく終えたばかりのこの時にそんなことしたら、長い間辛抱させたこの子たちの高校生活はいったいどうなるんや？」

案の定、保護者からの激しい反発にあります。「ご自身も卒業生でありながら、塩井先生はいったい何を考えとるんですか？」生徒のことを何よりも思いやりながら、詰め寄る保護者に対しては県の代弁者として忍耐強く、冷静に状況を説明し続けなければなりません。精神的にも追い込まれました。

なんとか地下駐車場計画をストップ出来ないものだろうか。その解を必死に模索する日々が続きます。自らの職を賭して、県に中止を訴えることも考えました。「しかし辞めてしまった瞬間に、私はなんの権力もないただの一市民になってしまう」。また、生徒を巻き込んで県庁で座り込みの反対抗議を行うことも考えました。しかし先生の脳裏に昭和40年代の苦い記憶が蘇ります。日本中が大学紛争の波に飲み込まれていった当時、高高にも政治活動に傾倒していった生徒たちが少なからず存在しました。彼らがその後どういう人生を歩んでいったのか。頭の中で、当時の記憶のままの生徒たちの表情が一人、また一人と浮かんでは消えていきました。

最終的に塩井先生が辿り着いた答え。それは県当局や県議会からの情報を可能な限り、教職

員のみならず、生徒たちにも詳らかに公開するということでした。その日から臨時の生徒会がしばしば開催され、塩井先生からの詳細な状況説明が繰り返されました。その間、変わらず先生の根底にあったもの、それは前途有為な若者を預かっているという強い責任感でした。この子たちにとって本当の学びとは何か。自ら盾となり生徒たちを学業に専念させる一方で、やがて社会へと巣立っていく生徒たちの将来を思えばこそ、民意とは何か、民主主義とは何か、あえて社会の意思決定の仕組みそのものを身をもって示しました。そしてその一つひとつの報告をきちんと受け止め、冷静に理解する生徒たちの姿がそこにはありました。



高高校長在任当時の塩井先生。

## 開かれた学び舎へ

私たちが学び舎を巣立ち、塩井先生が高高校長を退任された平成4年春から約一年半後、「香川県番町地下駐車場」として地下駐車場は完成しました。そしてその2年後の平成7年冬に屋外の部室棟が完成するに及び、ついに平成校舎のすべての施設と設備が完成しました。

透水レンガで舗装された全天候対応の運動場。自転車置場の上に配置されたテニスコート。セミナーハウスの上には屋上プール。そして生徒たちが思い思いの方向を目指し縦横無尽に行き交うプラザは、その名のとおり市民にも開かれた憩いの場となりました。今や県の風物詩となっている毎年12月の第九演奏会も、プラザでの

開催は塩井先生の発案によるものでした。

「塩井先生、何もかもが揃って、もうほんま何もすることないんですわ」。平成7年当時高高校長を務められていた松橋元校長が冗談混じりにそうおっしゃったそうです。また当時進路指導主事の任にあった筆者の父こと本澤大弘も、他県の進学指導担当者が高高を見学に訪れては、「まるで短大や大学のようなですねえ」と設備の充実ぶりに感心していたと証言しています。事実、当時校舎の改築を計画していた岡山県立津山高校は、高高の訪問後に県の教育委員会に対し、私たちの平成校舎をモデルに新校舎を設計するよう進言したと言います。それはかつて番町のこ

の同じ地に燦然と現れた日の昭和校舎を彷彿とさせる光景でした。

今から25年前の校舎移転の際、塩井先生の提案により平成校舎に3つのメモリアルが残されました。一つは、長きにわたり高高生の成長を見守り続けた昭和校舎の階段。さらには、戦前昇降口として県女生たちを温かく迎え入れた西玄関の円柱。そしてもう一つが、プラザの片隅に植えられた高高スピリットの象徴である笹の木々でした。そのいずれもが、かつて昭和校舎の正面玄関が存在した北東の方角から以前と変わらない眼差しで高高生を今日も静かに見守っています。



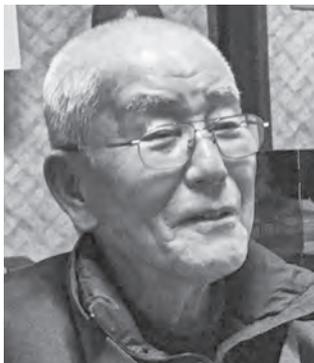
昭和校舎の正面玄関は北東にあった。役割を終えたかつての正門は今も変わらず北東の同じ地に静かに佇んでいる。



(左)奇しくも平成校舎の北東部分に残された西玄関の円柱と階段。  
(中央)プラザの北東に植えられた笹の木々。

## インタビューを終えて —東京で日々を生き抜くOB・OGの皆さんへ—

さてインタビューの最後に、私たち平成4年卒ならびに東京で日々を力強く生き抜く高高OB・OGに対し、塩井先生より激励のメッセージをいただきましたので紹介させていただきます。



春先、元高校長として、そして一人の高高OBとして、インタビューに快く応じてくださった塩井先生。

「しかしこの東京玉翠会の卒業25年目での幹事団というシステムは素晴らしい制度やね。だってね、3年間毎年誰一人重ならずクラス替えがあっても、知り合えるのなんてせいぜい120人程度や。それが、卒業から25年、お互いが東京の荒波に揉まれ、逞しく成長して、今度は学年という単位で再び結集する。色々と大変やと思うけど、まあしっかり頑張ってやり切りなさいよ。この絆がいかに貴重な財産か、今後時間が経てばますます分かるようになる。特に、君の仲間はその日昭和校舎を見送ったあの高高生なんやからね。」

インタビュー、写真、文／本澤永人(平成4年卒)  
取材協力／植松紀子(昭和54年卒、現高松高校教員)、本澤大弘(元高松高校教員)  
写真協力／小島道継(平成4年卒)

総会連動  
企画

「県女」「高中」「高高昭和校舎」  
「高高昭和校舎内部」「平成校舎」  
5校舎そろい踏み

# 必見！これが我が母校のジオラマだ！

高高より搬送し、皆さまにお披露目します貴重なジオラマは全5種類。この機会を逃すと、もう二度と関東で観ることはできないかもしれません。「さくら」の展示会場までぜひ足をお運びください。



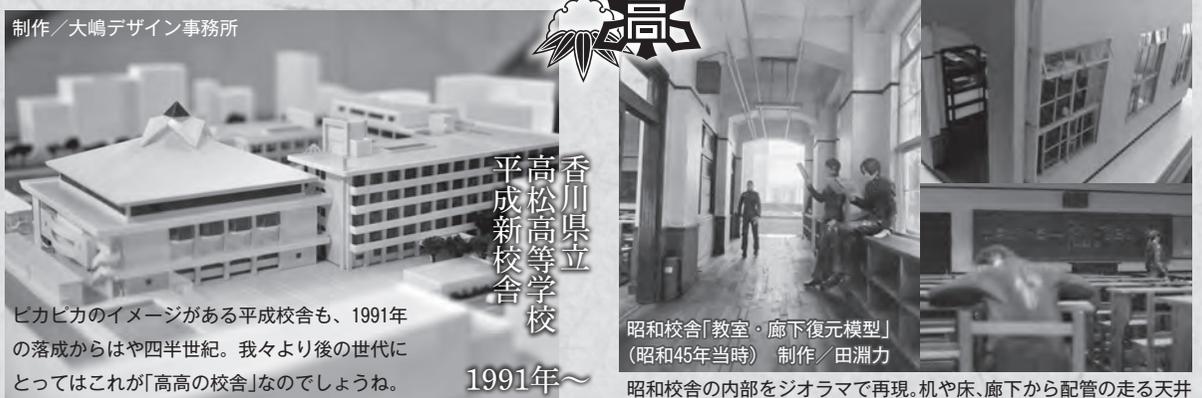
1891年に建設された県女校舎は堂々たる門構え。1938年に建て替えられ、後の高高昭和校舎に引き継がれました。



現在の高松工芸高校の場所にあった高中校舎。土俵があるあたりが時代を感じます。昭和20年の空襲で焼失。



平成4年卒の我々が2年生まで学んだ昭和校舎。あの大きな「中庭の楠の木」も再現されています。



ピカピカのイメージがある平成校舎も、1991年の落成からはや四半世紀。我々より後の世代にとってはこれが「高高的校舎」なのでしょうね。

昭和校舎の内部をジオラマで再現。机や床、廊下から配管の走る天井と、細部に至るまでリアルに再現されています。

参考：東京玉翠会Webサイト

<http://www.gyokusui.com/shashin/mokei-shashin.html>

取材・文／河西寿幸 撮影／鎌田高明



父親・文雄さん(後列左端)が志度商高の初代校長だったこともあり、同校の玄関前で。幸子さん(前列左端)が高女に入学した年に撮影。(1928年)



当時・ドイツ領だったケーニヒスベルク(現ロシア・カリニングラード)総領事館にて、杉原一家と使用人。前列座位の左端が幸子さん(1941年)

つなぐ、こえる、我が母校。

「民族をこえ、つないだ命」 篇

# 杉原幸子さんゆきこ (昭和6年・高女卒)

## 「人と人との絆は、 当たり前前の行動から 生まれてくるのです」



第二次世界大戦下、遠くリトアニアで日本人が発給した「命のビザ」が多くのユダヤ人を救った。今や、その事実を世界中が知ることとなったが、ビザ発給を促し、支えた女性がいかなる人物だったかは、あまりに語られなさすぎた。高松高等女学校出身であったことを誇りとし、生涯「さぬきの味」を愛しんだその女は、すべての行動を「使命」ととらえ、そして尽くした――。

世界には、たった1人の独裁者が多くの尊い命を奪うという現実がある。またその反対に、たった1人がこの世に生を受けたことで、救われる命もある。その数、6,000人。

しかし、その事実は長らく日本の誰にも知られることはなかった。同窓生の我々にも、そして驚くべきことに家族にすらも――。

「日本のオスカー・シンドラ―」こと杉原千畝さんが、第二次世界大戦当時、外務省の命令に背

在りし日の幸子さんについて話してくれた長男・弘樹さんの妻・美智さん(左)と、その娘・まどかさん。多くの写真を持参し、親戚への聞き取りや、長時間のインタビューにも応じてくれた。ここに謝意を表したい。



いてまでユダヤ人に2,000枚以上のビザを発給したことは、ご存じのかたも多いだろう。しかしその妻・幸子さんについての詳細は、ほとんど知られていない。彼女の存在なくしてあの偉業はなしえなかったというのに。

杉原幸子さんは、1913年12月17日に岩手県で生まれた。7人きょうだいの第2子で、旧姓は菊池。先祖代々、由緒ある遠野の神官をしていた。

「母・幸子の父親は高校教師で、日本各地を転々としていたのですが、小学生の頃、家族は水戸から香川へと引っ越しました」

そう教えてくれたのは、杉原美智さん。幸子さんの長男・弘樹さん(享年64)の妻で、現在NPO法人『杉原千畝命のビザ』理事を務めている。幸子さんの父・文雄さんは、2016年のセンバツを沸かせた高松商業高校に校長として迎えられた。父は頻りに学生を連れ帰ったそうで、幸子さんは高校球児らと一緒にドラム缶風呂に入った思い出を、生前、楽しそうに話していたそうだ。

家は栗林公園から目と鼻の先で、同園の動物園園長一家と懇意だった。幸子さんは動物の世話を手伝って、園内にあったお宅にそのまま泊まらせてもらったこともあるそうだ。

その後は、志度商業学校の設立(1924年。現在の志度高等学校)に尽力し、初代校長を務めた。生徒重視の教育方針で退学制度を廃止するなど、名校長と謳われた人物だ。

## 「校長の長女」の重責に高松高女へ

「校長先生の子なんだから、なんとしても合格しなくては」——そんな周りのプレッシャーのなか、幸子さんは高松高女(以下、高女)入学のため、必死に受験勉強をする。結果は見事合格。ところが、長女の自分とは違い、父親は弟や4人の妹たちにうるさく勉強をさせることはなかった。

「自分は猛勉強させられたのに、妹たちは自由にさせてもらって、しかも制服のかわいい別の学校に進んだのがうらやましかったそうです」(美智さんの娘・まどかさん)

とはいえ、高女に入学した幸子さんは、学校生活を謳歌する。それには、幸子さん自身が校風にぴったりの、独立心溢れる女学生だったことも大きな理由といえる。

「将来の夢は小説家で、歌を詠むのも好



高松高女時代、修学旅行で訪れた雲仙普賢岳。(後列左から2人目が幸子さん)

き。結婚しても子供はひとり。後は自分で仕事をして独立するつもりだったのよ」と母はよく話していました」(美智さん)

しかし、高女の卒業を目前にして、一家に大きな悲しみが降りかかる。父・文雄さんの突然の他界。一家の大黒柱を失った菊池家の長女・幸子さんは、卒業と同時に嫁入りを望まれた。

ところが、まだ結婚など考えられなかった幸子さんは、逃れるように東京へと向かう。東京には、生命保険会社に勤務していた2つ年上の兄・静男さんが住んでいた。兄は営業で外務省を訪れた際に、一人の外交官と意気投合。家にも連れてくるようになった。それが将来の夫・杉原千畝さんだった。

「田の畝のように、多くの恵みを生み出す人になってほしい」と名付けられた“ちうね”という

現存する「命のビザ」には、領事代理杉原千畝と読み取れる。





外交官の妻として、  
着物を着て社交界  
用の写真撮影をす  
ることも多かった。

読み方を、初対面の幸子さんが読み当てたこ  
とが、千畝さんの心を大きく動かした。

デートを重ねたのは銀座だったが、堅物の  
千畝さんは、幸子さんを連れて街を歩き回る  
ばかり。当時、百貨店・伊勢丹ストアのネクタイ  
売り場で働いていた幸子さんとはいうと、  
おしゃれに磨きがかかったバリバリのモガ。  
晩年、「本当は、喫茶室でお茶をしたかったの  
に」とよく冗談めかして話していたそうだ。

## 公使夫人代理として

## 社交界デビュー

## 着物で社交ダンスを踊る日々

やがて外交官として海外生活が待ち受けて  
いた千畝さんは、幸子さんに結婚を申し込む。

「あなたは外国に連れて行っても恥ずかし  
くない女性だから」

これがプロポーズだった。結婚は1936年4  
月。1か月半前に2・26事件が起こったばかり。  
千畝さんはすでに在モスクワ駐在第二通訳と  
してソ連への赴任が決まっていたが、ロシア  
語が堪能で交渉術にたけた千畝さんの能力を  
警戒したソ連は、入国を拒否。結局、フィンラ  
ンド日本公使館通訳官としてヘルシンキへ赴  
くことになった。

現地には酒匂秀一特命全権公使がいたが、  
家族を置いて単身での赴任だったため、幸子  
さんには実質的な公使夫人代理としての任務  
も待ち構えていた。頻繁に開催される晩餐会。  
マナーやダンスのレッスン、そしてドイツ語  
とフランス語の勉強の日々だった。24才にな  
ったばかりの幸子さんにとっては「苦勞が絶  
えないことだった」そうだが、一方でこんな豪  
快さを語るエピソードも残っている。

酒匂公使はとてもお酒が好きで、千畝さん  
と幸子さんとの毎晩の食事と酒盛りを、こと  
のほか楽しみにしていたそうだ。2人には毎  
夜1本ずつジョニクロが渡され、それをカラ  
にしないと下がらせてもらえなかったのだ。  
家で待つ長男のもとに一刻も早く帰りたくて、  
幸子さんは必ず飲み干していたそうだ。

外交官夫人としての生活は、「全く個人の自  
由がなかった」と幸子さんは回想している。起  
きてすぐ身なりを整え、使用人の運転で街へ  
出ても、車外へ買い物に出ることすら許され  
ない。こうした生活のなか、1938年にはドイ

ツが1万人のユダヤ人を追放する。戦争はもう目の前だった。

そして1939年、千畝さんはリトアニアの首都・カウナスに赴任する。リトアニアで隣国・ソ連軍の動向を探るのが、最もソ連通であった千畝さんの使命だった。ただし、杉原千畝の名前にソ連が警戒することは明らか。そこで肩書を”領事代理”とし、日本人が1人もいない国での任務が始まった。

緊迫する毎日のなか、些細なことが幸子さんの楽しみでもあった。公邸のコックがビール樽にザワークラウト（キャベツの酢漬け）を発酵させていたのだが、帯同していた妹の節子さんと夜中に厨房へ忍び込んで、つまみ食いしたそう。晩年にもよく、「美智さん、ザワークラウトは浅漬けがおいしいのよ」と笑っていました（美智さん）

## 200人のユダヤ人が一夜にして家を取り囲む

“その時”が訪れたのは、1940年7月18日朝のことだった。領事館内の居住スペースで杉原家は暮らしていたのだが、朝食をとり終えて窓の外を見ると、敷地をぐるりと取り囲むように、たくさんユダヤ人が立っていた。数えたところ、200人はいる。

ただごとでないことはすぐにわかった。ユダヤ人のうち5人の代表者を公邸に入れ、事情を聞いた。ドイツのポーランド侵略から逃れてカウナスまでようやくたどり着いたこと。そしてオランダ領事が同情し、大西洋にある無人の極小の島・キュラソーを目的地としてビザを書いてくれたこと。そこを目指すという名目で、日本が通過ビザを発給すれば、反ユダヤのソ連をシベリア鉄道で通過することができること――。

しかし、実質の領事であっても、独断でビザを書くことはできない。そこで千畝さんは本国へ



欧州各地から逃れてきたユダヤ人がビザを求め、リトアニアの日本領事館を取り囲んだ。



ソ連情勢を探るため、千畝さんは隣接するリトアニアの領事代理として赴任。

暗号の電報を打ち、指示を仰いだ。しかし、何日も待って届いた返信は「否」。そうこうしているうちにも、家を取り囲むユダヤ人の数は増すばかりだ。その後も何度か日本に電報を打つが、答えが覆されることはなかった。

そして7月29日、千畝さんはついにビザ発行を決断する。ユダヤ人が野営して領事館を取り囲み始めてから、11日がたっていた。

## 1枚でも多くのビザを！ 動く列車から身を乗り出して 書き続けた

当初、ビザは外交官である千畝さんが1枚1枚手書きをしていた。そうでないと効力がなくなってしまうと考えたからだ。やがて、千畝さんの手書きそっくりなスタンプを作る職人の話が持ちかけられた。「それで1枚でも多くビザが発給できるなら」と、千畝さんはスタンプ作りに同意。スピードは格段にアップして、多くのビザが発給された。しかし、それでもまだビザを求める

## 幸子さんの 熱烈な「香川愛」ここに！

「高松高女出身であることに誇りを感じていた」（まどかさん）という幸子さん。高女愛、そして香川愛はこんなにすごい。

### その1 生涯、うどん一筋！

帰国後は関東で暮らしていたが、「私はさぬきの人だから」と、そばを食べることはほぼなかった。そばが出されても、申し訳程度に口をつけるだけで、だし汁しか飲まなかった。

### その2 好きな作家は菊池寛

晩年になって、幸子さんは取材などで好きな作家を聞かれると、必ず菊池寛の名前を挙げていたそう。ご存じのとおり、菊池寛は高松中学出身で、郷土の代表的な作家でもある。

### その3 東京玉翠会総会にも出席

東京玉翠会総会にもたびたび参加。自宅に遺されている玉翠会の名簿には、ご自身の名前のところに付箋が貼られ、今も大切に保管されている。

ユダヤ人は尽きなかった。

何度も繰り返されるソ連からの退去命令。当局から睨まれ、ともすると自分たちの命すら危ない状況に、疲れ切った千畝さんは、「もうこれまで」とあきらめかけたことがあった。

「しかし母は譲らなかつたそうです。“窓の外には、まだたくさんビザを待っている人がいます。もう少し頑張りましょう”と父を励まし続けたそうです」(美智さん)

「一步後ろに下がって夫を陰ながら支える日本人的な妻としてとらえられることが多いのですが、実際は祖母が強く促したように聞いています」(まどかさん)

しかし、ついにリトアニアはソ連に併合され、ソ連からは最終立ち退き通告が出る。杉原さん一家はいったんホテルへと場所を移しながらも、今度はホテルでビザを発行し続けた。そしていよいよ列車がカウナスを出発するという時ですら、千畝さんは汽車の窓から身を乗り出して、ペンを走らせ続けたのだった。

後でわかったことだが、そうしたどさくさのなかで走り書きしたビザも、正式なものとして通用した。そして千畝さんの筆跡を真似たスタンプは、秘密裏にもう1つ作られており、そのスタンプのおかげで逃れた人も少なくなかったこともわかっている。

「スタンプを作ろうとなった時、どうやら祖父は、もう1つ作られることを予想していたようです。それで救われる命があるのなら、いいと考えたのでしょう」(まどかさん)

国の意向に背き、もう1つのスタンプの存在も計算ずくのうえでのビザ発給。責任問題となることは想像が付き、普通の人ならひるんでしまうに違いなかつた。



リトアニアを発ち、列車でベルリンへと向かうその時でさえ、千畝さんは窓から身を乗り出して、最後までペンを走らせ続けていた。写真は幸子さん(右から2人目)と3人の息子たち。

## 戦闘に巻き込まれ 若者の命と引き換えに生かされる

その後、ドイツやルーマニアに転属していくなか、日本は1941年に太平洋戦争を開戦する。日独伊同盟を結んでいたが、次第にドイツ軍は苦戦を強いられ、一家は郊外の山荘に避難することになった。ある日、幸子さんはルーマニアの首都ブカレストの家にあった、作曲家・シベリウス本人から贈られたサイン入りレコードが気に入り、ひとり戦火のなかを戻ろうとしたことがあった。

しかし、途中で車が故障し、通りがかったドイツ軍の部隊とともに移動することとなった。やがて戦況はますます苦しくなり、部隊はブカレストへ向かうどころか、逃げ惑うばかり。ある日、激しい砲火を受け、1人、また1人と、目の前で多くのドイツ軍兵士が倒れていった。幸子さんも、いつのまにか記憶を失っていた。

どれくらい時間がたっただろう、目を覚ましたとき、幸子さんは身体に重みを感じた。かぶさっていたのは、故障車を前に困っていた自分に声を掛け、紳士的に護衛を続けてくれていた若いドイツ将校だった。彼は幸子さんをかばって銃弾を受け、命を落としたのだ。言葉にできない悲しみが幸子さんを襲った。

この将校を埋葬し、幸子さんは1人、歩いて夫や子供の待つ山荘へと向かった。しかし、途中でパルチザンの兵士に囚われてしまう。彼らは「日本人は肌が黄色いはずだ」と、色白な幸子さんを解放しようとしないう。銃を構えた男たちに、しびれを切らした幸子さんは「撃つなら撃ちなさい。私は日本人です!」、そう日本語で叫んだ。皮肉にも、これが日本人であることの証明となった。家族のもとに帰ったのは8日後のことだった。

そしてついに訪れた日本敗戦。杉原一家はブカレストの収容所に送られ、ようやく帰国できたのはその2年後。しかし、待ち構えていた生活は、あまりに残酷なものだった。

## 外務省の解雇ですべてを封印 名誉回復に60年もの歳月が

外務省からの解雇通告。理由は、本国の指示を無視したビザの発給だった。しかも、「杉原は金をもらってビザを書いた」と虚偽の噂をまこと

2000枚のビザが、  
この世界の4万人を生かしている



自らもユダヤ人で、映画『シンドラーのリスト』を手がけたスピルバーグ監督とも親交が厚く、幸子さん死去の際には、弔辞も発表された。

しやかにたてられ、千畝さんの心を大きく踏みこじった。

時を同じくして、リトアニアで生まれた7才の三男・晴生くんが死去。小児がんだった。幸子さんはことのほかかわいがっていた幼子を亡くし、その絶望感を目もあてられぬほどだった。

実は杉原家はブカレストで解放され、極寒のシベリア鉄道で帰国するまでの間に、着物やカメラなどの金品を、理由をつけては奪われていた。そのため、帰国後は生活が困窮し、生きるのが精いっぱいだった。

翌年には、欧州歴訪に同行していた妹・節子さんも病で死去する。折り重なる不幸な出来事は、あまりにつらすぎた。そして夫婦は、リトアニアでのビザ発給に関する一切の出来事を、家族にすら封印してしまった。

だが、1968年に事態は一変する。貿易会社に勤務し、モスクワに単身赴任していた千畝さんがたまたま帰国していた時、1本の電話がかかってくる。相手はリトアニアの領事館で最初に話をした5人のユダヤ人のうちの1人だった。このユダヤ人男性は、恩人の消息を何十年もかけて追いつけ、ついに千畝さんを探し当てたのだ。この時、あの出来事から、すでに28年がたっていた。

翌年にはイスラエル政府宗教大臣から

勲章を受け、1985年には同政府から「諸国民の中の正義の人賞」を日本人初の受賞。授賞式には、病床だった千畝さんに代わり、幸子さんが出席する。それらを見届けたかのように、千畝さんは翌年7月31日に永眠。最期の言葉は、「幸子がいちばんよかった」だった。

そして2000年には河野洋平外務相（当時）から、正式に名誉回復がなされた。故人の名誉回復は、非常にまれなことだ。

幸子さんは重い口をようやく開く。そうせねば、夫が何を考え、なぜ行動したのかが知られぬままになってしまうからだ。千畝さんは生前、「己の行動の正否は歴史が証明する」とした。幸子さんは「ビザ発給の使命をもって生まれてきた」と信じた。幸子さんや長男の弘樹さんは著書を残し、世界中のユダヤ人団体から招きを受け、講演活動を続けた。ビザ発給は、杉原夫妻にとって当然のことで、「人と人との絆は、当たり前前の行動から生まれてくることを伝えたい」と――。

発行された「命のビザ」約2,000枚は、その家族を含め、約6,000人を救った。そして現在、その子孫は4万人以上が生きている。

これらの偉業は、まさに今、世界記憶遺産として2017年の登録を待っている。

## 映画が待望のDVD化も！



昨年末に映画化され、ようやくDVD化された。史実通り、小雪扮する幸子さんが社交場に着物で出席するシーンも。千畝さん(唐沢寿明)と行動を共にする幸子さんが、乱世の外交でいかに重要な立場だったかがわかる。



【杉原千畝 スギハラチウネ DVD愛蔵版】  
発売元：ポニーキャニオン  
販売元：ポニーキャニオン  
PCBP.53476 価格：6,000円(本体)+税 発売中  
©2015「杉原千畝 スギハラチウネ」製作委員会

## NPO法人 杉原千畝命のビザ

HP <http://www.chiune-sugihara.jp/jp/>

FB <https://www.facebook.com/nposempo>

取材・文／堀米 紫 写真提供／杉原家、NPO「杉原千畝命のビザ」、杉原千畝記念館 参考文献／『六千人の命のビザ』(大正出版)杉原幸子著、『学習まんが人物館 杉原千畝』(小学館)渡辺勝正監修、DVD『命のビザ 六千人のユダヤ人を救った日本領事の決断』(カズモ制作・販売)

## つなぐ、こえる、我が母校。

「国境こえる、日本とつなぐ」 篇

### Profile

東京学芸大、埼玉モーツァルト芸術大学、独・ Folkwang 芸術大学の7学科すべてを最優秀の成績で卒業。チェンバロ国家演奏家資格 (Konzertexamen) も同様の成績で取得する。現在ピアニストおよびチェンバリストとして、オペラや交響楽団との共演、ソロリサイタルなど、独・ 世界各地で活動。

ドイツ西部、ルール工業地帯の中心都市として栄えたエッセンを拠点に活動する渡部志乃さん。3才の頃、どうしてもピアノを習いたくて教室を訪れたが、「ひらがなとカタカナを覚えてから」と返されてしまう。するとすぐさま読み書きを習得して出直したという逸話が残る。その後は数々のコンクールで受賞するも、音楽以外でも才能を発揮。高高に進学した。

——高高へ入学したことで、別の進路も考えたのでは。音楽の道を選んだ決め手は何ですか？

**渡部** 1年の時の担任で、オーケストラ同好会で顧問だった音楽の抜井寛先生の「自分は好きなことを仕事にできて幸せだ」という言葉が忘れられなかったんです。というのも、幼い頃にピアノの先生から「ピアニストになるなら、指から血が出るほど練習しなくちゃ」と言われたことがあり、私には無理だと思っていましたから。でも考えてみたら、ピアノを弾いていて辛いと思ったことは一度もなかった。だったらこの道に進むべきなのかも、と思いました。

——進路として選んだ学芸大から、さらに留学しようと思ったきっかけは？

**渡部** 東京学芸大学は先生を育成する学校でもありますから、教育実習の関係で、学芸大は1年のうち半年しか授業がないんです。しかも先生

文武両道を旨とする高高にあり、文音両道——音楽の才能をも花咲かせた人も少なくない。7月9日東京玉翠会総会でチェンバロを披露してくださる渡部志乃さんは、遠くドイツ・エッセンで音楽家として活躍する。国境を越え、異文化に触れたからこそ見えてきた「つながることへの素晴らしさ」とは。

チェンバロ・  
ピアニ奏者 **渡部志乃さん** (平成4年卒)

# これが私の運命です

# 「自分でもよくやるよねって思うけど、

渡欧から22年。7学部で「最優秀」と称されても、音への探究心は止まらない——



欧州内を旅することも多い渡部さん。ドイツとの国境の街・フランスのアルザス地方にあるシュトラースブルクにて。後ろに流れるのはイル川。

## カラヤンも学んだ

## モーツァルテウム大を「最優秀」で卒業

はご自身の演奏会開催で1か月も休講することがあり、面食らってしまってます。

そんな時、文部科学省給費の派遣留学があると知りました。試験を受けて、向かったのはオーストリア・ザルツブルクにあるモーツァルテウム芸術大学でした。3年の後期から4年の前期まで1年の予定でした。

——モーツァルテウム芸術大学とは、ザルツブルク生まれの作曲家・モーツァルトの名に由来するのですね。名指揮者・カラヤンも卒業生で、11年間そこで学んだ歴史ある大学。音楽の伝統が息づく街は、どんなところですか？

**渡部** まず、「空気が違う」と思いました。まるで竜宮城とでもいうか、アルペンの国ですから、言い換えればハイジの世界のよう。公道は馬車優先で、時間が止まったようにでした。

——留学は1年間の予定でしたが、その後もヨーロッパに残ったのですね。

**渡部** あちらで出会った先生がきっかけといえます。一言でいえば、とてもポジティブな先生でした。向こうで出会った人は、気分にムラのあることが多いという印象でしたが、その先生はいつも前向きで、「学ぶならこの人から」とピンときたんです。そしてこの先生が、チェンバリストでもあったことが、その後の私に大きな影響を与えました。

私はオーストリアの大学をいったん休学扱いにし、東京に戻って学芸大を卒業。10月から再びモーツァルテウムに復学しました。モーツァルテウムの先生は、私のためにみっちり1時間

半はピアノのレッスンをしてくださいましたし、とても張り合いのあるものでした。

——まさに、音楽の本場・オーストリアの大学ならではの指導ですね。

**渡部** ドイツ語の詩を読む授業があったのですが、それには衝撃を受けました。ドイツ語は顔の筋肉をものすごく使うんです。授業のあとは、顔の表面がかゆくなり、ぐったり



ザルツブルクにはモーツァルトの銅像が。

するほど疲れます。というも、日本人は口の先だけ使って喋るといわれていますが、ドイツ語は顔の筋肉の8割を使うのだそうです。

——日本にいては気付けないことも。ほかにはどんなことを学びましたか？

**渡部** 復学後、器楽教育科には5年在籍しました。卒業のためには論文を提出し、卒業試験の演奏もあります。1時間ほどの本格的なリサイタル形式の卒業試験がありましたから、昼はピアノを練習して夜は論文を書く、というハードな日々でした。そのリサイタルに、厳しいことで有名な先生がわざわざ観にきてくださり、「君はリート（歌曲）の伴奏が向いている」と言ってくださったんです。その後はあらためて歌曲科で3年学び、3年目にピアノ奏者でありチェンバロ奏者でもある先生と出会いました。

——ピアノと同時にチェンバロをも極めようと思ったのは、そうした出会いだったんですね。

**渡部** 大学でピアノのレッスンを受けていた時、先生が「このバッハの曲をチェンバロで弾くと、全然違うんだけどね」とよくおっしゃっていたんです。確かにトリル<sup>1</sup>を弾いても、ピアノでは鍵盤が重すぎてうまく弾けません。それもそのはずで、ピアノは鍵盤の下まで弾いたとき、初めてハンマーが弦をたたいて音が鳴るのですが、チェンバロは鍵盤に触れた瞬間に音が鳴る仕組みです。ですから、バッハを突き詰めると、やはりチェンバロで弾いてみたくなってしまっ…。

それに、私がチェンバロを弾いているのを見ていた知人から「ピアノの時より生き生きしている」と言われたこともありました。

やがて本格的にチェンバロを教わっていたクリスティアン・リーガー先生がドイツのエッセ

1 ある音とその2度上か下の音とを急速に反復させる装飾音。



毎年、ドイツと日本でチャリティーコンサートを行っている。写真は'16年春のドイツでの様子。

## 大震災のチャリティー演奏会で

## 高高に協力を断られた苦い経験

ンにある Folkwang 芸術大学に教授として移ることになり、同行することを決意しました。

——となると、また大学を移ったわけですね。すごいバイタリティ！

**渡部** エッセンに移ると決めた時、30才を過ぎていました。「その年齢でよく移るよね」と言われたりもしましたが、私にとってはまたとないチャンスだと思っただけで、今振り返っても、チャレンジしてよかった。

結果、3か国で3つの大学に通い、7学科を卒業しました。日本では教育科、モーツァルトウムでは器楽教育科の学部と修士、さらにピアノ科の歌曲演奏解釈コースとチェンバロコース、ピアノ講師を務めた後、Folkwang ではチェンバロ科の学部と大学院のチェンバロ国家演奏家資格コース。'09年2月に卒業後はピアノとチェンバロの演奏家をしながら、ピアノも教えています。

——右ページではピアノとチェンバロの違いを教えてくださいましたが、ピアニストなら誰でも容易にチェンバロも弾けるのかと思ったら、大間違いなんですね。そんな知られざるチェンバロでの演奏を、毎年夏に日本各地で続けていますね。

**渡部** きっかけは5年前の東日本大震災でした。ドイツでも震災は大きく報じられ、「TSUNAMI」という言葉は、もはや知らない人はいません。すぐさまドイツでチャリティーコンサートを行ったのですが、日本でも何かしなくては、私にも何かできることがあるのではないかという思いに駆られました。

そして、四国で最も大きなカトリック教会を探し、高松桜町教会にドイツから直接連絡を取って、演奏会にこぎつけたのです。'11年からは毎年チャリティーコンサートを行っています。

——帰国してすぐのコンサート開催は、思いがけない苦勞があったと聞きますが…。

**渡部** 実は、私がクリスチャンではないこともあって、年配の信者の方には、教会で演奏することを快く思わない人も多かったそうです。が、同じ日本人を少しでも助けるためには、どうしてもやり遂げたかったんです。

帰国後は、「自分自身で動くべきだ」と思い、告知の紙を置いてもらおうと、アポイントなしで

高高にも向かいました。たまたま開いていた目の前の職員室に入り、先生に声をかけて事情を説明しました。卒業生であることもお話し、その先生は親身に聞いてくださっていたのですが、奥から別の先生が出てきて、一言。「そういうの、やってないんだよね。生徒会にはかつて了承を得ないと」一刀両断でした。

その後、実家の隣町にある県営ホールでも、「町民じゃないから」とバツサリでした。県営だというのに！ 日本のために何かしたいと思い、私が今やれることをやりたいという気持ちで帰国したのですが、こうした対応に「あなたたちは、本当に日本人なの!？」と叫びたくなりました。たった1枚の、A4の紙を置くことさえ許されないのかと…。

\*

故郷でのまさかの出来事。そんなことがあっても、渡部さんの気持ちは揺ぐことはなかった。「日本を離れると、日本の悪いところが見えてしまうものですが、それでもやはり、この国に生まれたことにとても感謝しています。なぜなら、ドイツを訪れた先人のおかげで、日本人として嫌な思いをすることがないのは本当にありがたいことです。各地にたくさん植樹して下さった美しい桜並木は現地のかたがた、そして故郷を遠く離れた私の心をしばしば慰めてくれます。日本人であることを誇りに思い、私自身、少しでも人のためになれるような生き方をしたいですね」

故郷を遠く離れた彼女は、高高時代に比べると、ぐっと強く、そしてしなやかになった印象だ。

ドイツで行われたチャリティーコンサートは、今年で5年目を迎えた。そしてもちろんこの日本でも、7月に全国5か所で開催される。

取材・文／堀米紫

7月9日は、ここを読めば演奏会が200倍楽しめる♪

構造から  
魅力まで

## 知られざる古楽器『チェンバロ』は “鳥の羽”で奏でられていた

演奏家だからこそ知りえた古器の構造や製作秘話、チェンバロの魅力までを、渡部志乃さんが解説してくれます。まずここを読めば、総会当日や演奏会が楽しくなるのはもちろん、チェンバロがグンと身近になること間違いなしです。

### ■総会披露曲■ イタリア協奏曲 第1～3楽章 (J.S.バッハ作)

#### ●爪で弦をはじいて音を出す構造

弦をハンマーでたたくピアノと違い、チェンバロは爪で弦をはじいて音を出す撥弦楽器。ピアノのような金属のフレームを使わず、音が繊細です。

#### ●製作者の性格が音色に出る

チェンバロは、楽器メーカーではなく、チェンバロ製作者という職人さんが作る楽器。不思議なことに、作る人の性格が音に出るんです。たとえば頑固そうな人がつくると、やはり頑固そうな音になります(笑)。

これまでたくさんの楽器製作者にお会いしましたが、気が合う人が作った楽器は、私が説明しなくても、「ほしい」と思うものを作ってくれます。なかには、私の手を見ただけで、「君に合う手幅でつくった」という人も。材料へのこだわりも強く、「共鳴板はスイスの〇〇がいい」という会話になることもあります。

#### ●白鍵と黒鍵の位置が反対

すべてではありませんが、ピアノでいうところ

の白鍵と黒鍵の色が逆転しているものが多いんです。一説には、黒鍵の上のほうが手がきれいに見えるため、黒鍵が多いという説が。慣れるまでは本当に大変でした(笑)。

#### ●鍵盤は上下2段のタイプも

ピアノと違うところはたくさんあって、鍵盤は上下2段にわかれているものもあります。このたび総会で演奏するものも、そのタイプ。上段は、鼻にかかったような音が出て、下の段に比べると音量が少し小さめ。エコーになる場所ですったり、ソロの繊細な音を出すときに弾いたりします。

下の段を弾いたときに、上の段の同じ音が同時に鳴る調整もでき、やや力強い音を出すときに使用します。

やはり2段鍵盤の上段と下段を移動するのも、慣れるまでには相当時間がかかりました。

#### ●爪は鳥の羽でできている

今では多くがプラスチックになりましたが、弦をはじく爪は、もともとは鳥の羽で作られていて、とても繊細(右写真)。一度、演奏中に下段の爪が飛んでしまい、1音出なくなりました。それが見えたので、あわてて同じ音が出る上段に位置を変えて事なきを得たことがあります。



今夏のチャリティーコンサート開催予定  
震災復興に一役買うイベント。チェンバロの、そして渡部さんの奏でる音色にぜひ直接触れて！

7月16日(土) 17時～▶名古屋・日本福音  
ルーテル復活教会

7月18日(月・祝) 14時～▶鳴門・ドイツ館  
(※ピアノを演奏)

7月23日(土) 15時～▶高松・カトリック桜町教会

7月24日(日) 10時～▶三原・三原教会

15時30分～▶福山・延広教会

総会では、名古屋在住の楽器製作者・安達正浩氏が手掛けた、フレンチスタイルの二段鍵盤のタイプを使用。音ももちろん、シノワズリーの蒔絵が施された見事な芸術作品といえる。(写真提供/クラヴサン工房アダチ)





つなぐ、こえる、我が母校。

「音でつないだ絆」 篇

# 『歓喜の歌』は14人 「高高オー」

それは平成と元号が改まった年の春に始まった。文化部のインターハイと呼ばれる『全国高等学校総合文化祭』(以下、高総文祭)が、2年後に高松市で開催されることが決定し、我が校も“高高オーケストラ”を立ち上げ、参加の名乗りを上げたのだ。

前年より音楽教師として着任していた抜井寛先生から、オーケストラ同好会が1年生を対象に発足することが伝えられ、「上級生がない」「初心者でもOK」と、まるで夢のような話に心躍らせた30名ほどが入部の説明を聞きに訪れた。だが――

いきなり面食らったのは、部室がないことだった。新校舎ができるまでの楽器庫となったのは、旧校舎の323教室。ここはもと生物準備室で、黒板横の小上がりにある保管庫には、ホルマリンづけの標本が並んでいたらしい。それも長らく使われておらず、掃除をしようと扉を開けてみたら、棲み着いた鳩の糞が絨毯と化していた。私たちは半ベソをかきながら掃除した。

もっと面食らったのは、抜井先生がほとんど指導にいらっしゃらなかったことだった。オケのほかに吹奏楽委員会や音楽部の顧問でもあった抜井先生は、教則を黒板に書き、どこを押さえたらどの音が出るのか、そして弓運びはどうするかといった超基本を教えてくださいただで、ほとんど姿を見せなかった。私たちは、たった3人のヴァイオリン経験者をお手本に、見よう見まねで練習するしかなかった。結果、実際に入会したのは、半数ほどだった。

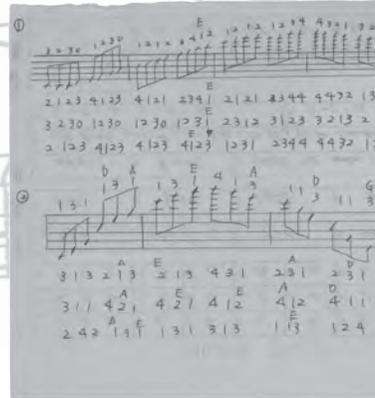
♪ 初合宿は初雷が落ちた記念日!?

初舞台は翌平成2年2月、中庭のクスノキを

毎年12月に行われる高高芸術祭の高高ハートフルコンサートでは、ベートーヴェンの『交響曲第九番「歓喜の歌」』を披露。プラザは開演3時間前から場所取りの人で埋め尽くされるといふ。いまや高高高校オーケストラ部は、それほどの存在となった。しかし、初代部員の3年間は、何度も躓いては立ち上がるの繰り返しだった。わずか14人から始まった、大河の一滴の日々の物語。

(左) 入部してすぐの頃は、抜井先生が板書した教則を生徒が自分で五線譜に書き写した(楽譜は中原育代さん提供)。

(右) 平成3年3月8日、卒業式後に図書室で開催された「校舎を送る集い」では、抜井先生作の校歌メドレーを演奏した。



囲んでの「校舎を送る会」だった。合唱、吹奏楽、オケが第九の『歓喜の歌』(以下、第九)を演奏した。抜井先生の着任された昭和63年から、音楽選択者はこの第九をドイツ語で歌う授業を受けていたため、多くの生徒が声をそろえることができた。その合唱と吹奏楽の音に助けられ、なんとか演奏は終えたものの、「オケの演奏を初めて聞いた時は、どうなることかと思った」といまだに同窓生には冷やかされることもある。

こうして少しずつ活動の場を広げていった2年生の冬のこと。「オケ同好会も、他の文化部のように冬休みの合宿をしてはどうか」という話が部員の中から持ち上がった。ところが、学校か

左右ページ上写真はともに平成3年8月3日の「第15回全国高等学校総合文化祭(器楽・管弦楽)」での演奏の様子。新任で高高に配属された長尾裕隆先生は、生徒に交じって学生服で演奏に参加して下さったことも多かった。



# で始まった ケストラ 創世記

堀米 紫(初代部長、平成4年卒)

抜井寛先生は平成18年に退職。創設20年を記念した平成21年の「高松高校オーケストラ部懇親会」にも出席された。



規模な競い合いであっても、「勝ちたい」という気持ちを芽生えさせ、奮起させた。

ところがその夜、練習を早々に切り上げて、夕食の買い出しと称し、クリスマスイルミネーションを見ようと高松中央公園へと向かった。当時の合宿予定表を見ると、「クリスマスパーティー」や「ゲーム」の文字が躍る。そしてそんな浮かれ気分の私たちに、普段は温厚な抜井先生も、あきれてついに雷を落とした。

合宿の許可が出たのも、先生のご尽力だったのかもしれない。反省しきりである。

## ♪ 吹奏楽委員会がやる気に 火をつけてくれた高総文祭

こんな自由気ままな活動の日々であったが、高総文祭の行われる夏が近づくにつれ、ようやく焦りが芽生えていった。一番驚いたのは、一緒に管弦楽の編成を組む吹奏楽委員会が音合わせ初日から、素晴らしい演奏をみせたことだった。一方のオケはというと、個人練習かパート練習がほとんどだったため、全員がそろった時、どのタイミングで弾きはじめていいのかもわからない始末だった。

「吹奏楽委員会に手伝わせておいて、これはまずい」——。もしかしたら、本当にお尻に火がついたのは、このときだったのかもしれない。1週

らはなかなか許可が下りない。「学校に泊まらなくても練習はできる」と渋る教頭先生に、「半年後の高総文祭を成功させるためには、心も音も一つにしたい。それには合宿が欠かせない」と繰り返し懇願した。口から先に生まれてきたような初代部長(私です)は、なんとか教頭先生を説き伏せた。うつ向き気味に苦笑いしていた教頭先生の顔は、いまでも忘れられない。

年末の土日に行われた合宿では、班に分かれて練習し、発表会形式で互いの演奏を披露した。コンクール未経験の私たちにとって、こんな小

## 『歓喜の歌』は14人で始まった 「高高一オケストラ創世記」

間後の音合わせでは、「まるで別人だね」と言ってもらえたほど、猛練習した。

そしていよいよ迎えた本番——平成3年8月3日の「第15回全国高等学校総合文化祭〈器楽・管弦楽〉」。場所は、あこがれの音楽の殿堂・香川県県民ホール<sup>1</sup>だ。式典のオープニング曲を演奏するために、初めて他校生とオケピット<sup>2</sup>に入った時は、その大きさに心躍った。そしてステージ上の本番も、無我夢中で演奏を終えた。正直、どんな演奏をしたのか、まったくといていほど記憶がない。しかし、弾き終えて立ち上がったとき、両親と、高校生活最後のインターハイ直前にわざわざ部活を休んで客席で手をたたいてくれていた幼なじみの高生姿が見えた。その記憶だけは、今も鮮明に覚えている。

あの日わたしたちは、いったいどんな音を奏でたのだろう。きっと耳をふさぎたくなる出来栄えだったに違いない。録音はおそらく残っていないだろうが、あの時の演奏を聞き直せたとしたら——いや、思い出に封印したいと思う。

### ♪ <sup>たすき</sup>引退、そして襷はつなぐれ…

その年の冬、私たちは引退し、1、2年生が新校舎のプラザで第九を初演奏した。しかし、指揮が始まって、かつての私たちのように、弾き始



平成4年卒の初代メンバー。[前列左から] 前田聡子(vn1)、中條愉佳(va)、堀米紫(Vc)、渡部志乃(va)、上田佳世(vn1)、中原育代(vn1) [中列左から] 大西佐和(vn1)、笠井理恵(vn2)、阿野由樹子(vn2)、林千香子(vn1)、大浦佳織(vn2)、池奥陽子(va) [後列左から] 長尾裕隆先生(va)、鎌田英紀(vn1)、高桑英児(vn2)、拔井寛先生

めるタイミングがわからなかったらしい。地元テレビ局はそこを強調してニュースを流した。番組を見た生徒思いの長尾裕隆先生は、「音が出ない」というナレーションに、いまだに憤慨してくださっている。

だからといって、この活動はとどまることなく、翌年からはベートーヴェンの生誕日(12月16日)に近い日を選んで、本格的に第九のお披露目がなされるようになった。それが現在の高高一フルコンサートへとつながったのだ。

一方、高総文祭は日本各地を回りながら毎年行われ、県内にオケを持つ善通寺第一高等学校と明善高等学校(現・英明高等学校)、そして本校の3校が交互に出席。なかでも、私たちが卒業した翌年に沖縄で行われた高総文祭は、拔井先生にとって、忘れられないものになったという。

というのも、当日、台風の直撃に遭遇されたのだ。すでに沖縄入りしていたものの、中止の連絡を受け、帰る準備を始めていた。ところが、突如、「やはり参加できる学校だけ開催しましょう」との知らせが届く。楽器は送り返した直後。拔井先生は本部に掛け合い、楽器を借りてあわてて音合わせをしたという。

といっても、部員はほとんどが初心者。どこを押せば何の音が出るか、楽器にテープを貼ってしるしをつけていた生徒も多かった。借りた楽器で音合わせをしたが、拔井先生が「いけそうか?」と聞いても、生徒からは「できん!」と泣きが入り、大変だったようだ。

そして平成5年には、高高一創立100周年を記念し、『第九 響け歓喜の歌』と題した演奏会が香川県県民ホールで開催された。現役生やOB・OGはもちろん、ドイツからコンサートマスターほかプロの演奏家5名が招かれ、90名の演奏者と450名の合唱で第九が演奏されたほか、全11曲が披露された。

指揮はドイツで活躍中の拔井厚氏。拔井先生の実弟だ。同好会設立からわずか5年でのビッグネームとの演奏は、恐れ多い、夢のような経験だ。拔井先生でないと、思いつかないことだろう。

先生は「肌で覚えよ」とでも言うように、これ以外にも平成3年から大阪フィルハーモニー管弦楽団員数名を招いた講習会を開くなど、新人にはすぎるプロの指導者をたくさん招いてくださった。こうした積極的な活動が功を奏し、設立から10年を待たず、平成8年にオケストラ同

好会は、部へと昇格する。

しかし、振り返ると、創部3年目の高総文祭に出場するという目的がありながら、つくづく入部1年目の私達はほったらかされていた、と思う。普通なら、むしろスパルタで指導しそうなものだが、それをしなかったのはなぜか。あれから28年たった今、その真意を初めて尋ねた。

「だってね、引っ張られて歩いた道と、自分の足で立って歩いた道は違うから。たとえ転んだとしても、自分で起き上げて、また歩き出す。そこで得たものは、誰かにやらされて得たのでは味わえない達成感がある。僕はきみたちにそれを知ってもらいたかったんや」

高生ならそれができる——抜井先生は確信

されていたのだという。

「難しいことにチャレンジして、恥をかいてもええんや。それを仲間意識で乗り越えたら、きつと得られることが大きいはずやから」

設立して最初の3年間は、どうしようもない出来だったと抜井先生は笑う。しかし私たちのほとんどが、卒業後も楽器を置くことなく音楽を続けた。それが高高オケで学んだことがいかに忘れ難く、かけがえのないものだったかを物語っていると思う。

3年かけて教わったこと。それは、“友と喜びを奏でる幸せ”だ。

1 現在のレクザムホール

2 舞台より一段下がった、管弦楽が演奏するスペースのこと。

## 県下でも稀有な存在として輝く 高高オーケストラの「今」

林千香子(平成4年卒)

**平成元年に発足して以来、着実に成長し、誕生当時とは比べものにならないほど評価もされるようになった28年目の高高オケ。現在の活動の様子を、平成18年度から顧問でいらっしやる音楽の永井春行先生のお話をもとにご紹介したい。**

今年度の部員数は2学年で約30名。決して多くはないメンバー全員で、まずは8月の中学生向け学校説明会における歓迎演奏会の曲に取り組み。1年生の部員にとっては、4月に入部してわずか4か月足らずでの初舞台だ。ほとんどの生徒が弦楽器初心者としてスタートし、月曜から金曜の放課後と土曜の3時間、練習に励んでいる。進学校の生徒達にとって週末の時間は貴重だが、この練習日程は10年前に当時の部長の一声で決まった。

「このままでは全く練習時間が足りません。土曜日も練習日にしましょう」

にこにこしながら提案してきた彼女を、永井先生は今もよく覚えているようだ。

創設当時より「独立自主」の気風が重んじられてきた。部長やパートリーダーも互選で決め、運営はほぼ生徒達だけで問題なく行っている。

### ♪ 生徒から生徒へ伝わる教則

オーケストラとは通常、管楽器と打楽器を含

む管弦楽のことを意味するが、高高オケは、「第九管弦楽団」となる時を除いて、弦楽器のみの団体として活動している。地元で有名な12月の第九演奏会のほか、先に述べた歓迎演奏会、夏から秋にかけて毎年出場する香川県高総文祭に、全国高総文祭(器楽・管弦楽部門)、9月の高高文化祭。そして1月の香川中部養護学校との音楽交流会は20年以上、2月の日赤バレンタインコンサートは10年以上の歴史をもつ。大変豊富な演奏機会に恵まれ充実した活動を行っている。

初心者の集まりでありながらも、このようなハードな活動の継続を支えているものは何か。それは生徒達の自主性と熱意ではないだろうか。

技術面ではいわゆる秘伝の教則本が存在し受け継がれる。「口伝」で足りない部分や楽器の構え方と弓の運びは先生が必ずチェックを行うが、基本的に先輩から後輩へ手ほどきをする伝統だ。2年生が修学旅行中で不在の間は引退した3年生が1年生を教え、年に1~2回は校内のセミナーハウス「アルカディア」で合宿も行う。

こうした中で、初めて弦楽器を手にした新入生も少しずつきれいな音を出せるようになり、その音色を何人もの仲間と重ねて奏でるという音楽の喜びを育てていく。近年演奏した曲目は、エルガーの『弦楽のためのセレナーデ』、レスピーギの『リュートのための古代舞曲とアリア』、

ホルストの『セントポール組曲』、ラヴェルの『ボレロ』などだ。華やかな名曲が多い。曲の美しさに心を捉えられて打ち込むということもあるのだろう。

## ♪ 伝統行事の『第九』は花道

2年生の部員達は12月の半ば、高高芸術祭 高高ハートフルコンサートの『第九・歓喜の歌』演奏発表会を最後に引退する。第九演奏会は昭和63年以来の恒例行事で昨年平成27年末に28回目を数えた。高高オケ部と吹奏楽委員会に職員、卒業生、保護者が加わったオケ。音楽選択者を中心とした生徒、有志職員のほか公募参加の保護者と一般市民で構成される合唱団。そして校内オーディションで選ばれたソリスト。これら約250名の大人数でリハーサルを繰り返し、『第九』の第4楽章すべてを演奏する。高高的プラザとよばれる中庭で見守る聴衆に囲まれて、クライマックスはともに『歓喜の歌』を合唱する。総勢1,000人以上が集まり、地元メディアでも取り上げられる大きなイベントだ。

これはオケ部員にとって高校時代の集大成で



高高芸術祭 高高ハートフルコンサートには、卒業生や教師も合唱団に参加。オケにはハーブも加わった。初心者には難楽器だが、「弾くことができる生徒がいること自体が、すごい」と長尾先生。

もある。前プロ(メインである『第九』の前に演奏する曲目)では必ず、吹奏楽の管楽器と打楽器も加わった管弦楽曲を演奏し、唯一この舞台上で文字どおり「オーケストラ」としての音を響かせる。生徒達に、弦楽アンサンブルの良さを知りつつ、色彩あるハーモニーをも経験してほしいという先生の願いからだ。

## ♪ 名演奏は今も入学式のバックグラウンドに

最後に永井先生に、思い出深かった演奏は、とお聞きすると次のように答えてくださった。「夢中でやってきましたのですべて良い思い出ですが、平成19年夏に島根県で行われた全国高総文祭で演奏したグリーグの『ホルベアの時代』は、どのパートもしっかり音を出してくれて予想以上の出来になったことを覚えています。その代の2年生は熱心で、中でも各パートのトップ達はコンサートマスター以外は初心者でしたが、朝・昼・放課後と練習していました。彼らの演奏したプレリュードは現在でも本校の入学式でバックグラウンド曲として使用しています」

母校のオケは先生方と後輩達の努力で今や見ちがえるようになった。卒業後、地元の高松交響楽団へ戻って来る元部員達も少なくない。音楽への情熱が、時や場所をこえて卒業生の心を母校や未来の仲間へとつないでいく。

取材協力/ 抜井寛先生、永井春行先生、長尾裕隆先生、植松紀子先生、中原育代(平成4年卒)、笠井理恵(平成4年卒)

### この10年間に演奏した主な曲目 (第九演奏会や高総文祭にて)

- 2006年 エルガー 威風堂々1番
- 2007年 グリーグ ホルベアの時代よりⅠ,Ⅲ  
シベリウス フィンランディア  
ヘンデル 「ハレルヤ」※高高芸術祭20回記念
- 2008年 ホルスト 「惑星」より「火星」
- 2009年 レスピーギ リュートのための古代舞曲と  
アリア第3組曲よりⅠ,Ⅱ,Ⅲ  
ビゼー 「アルルの女」第2組曲より
- 2010年 ラヴェル ボレロ
- 2011年 エルガー 弦楽のためのセレナーデ  
ビゼー カルメン 第1組曲
- 2012年 エルガー 威風堂々1番
- 2013年 ラター 弦楽のための組曲よりⅠ,Ⅲ,Ⅳ  
チャイコフスキー くるみ割り人形より  
「花のワルツ」  
ヘンデル「ハレルヤ」※高高創立120周年記念
- 2014年 ブラームス ハンガリー舞曲56
- 2015年 ホルスト セントポール組曲よりⅠ,Ⅱ,Ⅳ,  
チャイコフスキー くるみ割り人形より「マーチ」  
「パドゥッー」

前列が平成3年卒メンバー。  
左から石田美佐子さん、吉野  
ユリ子さん、藤田哲典さん、小  
倉英幹さん、豊田佳代子さん。  
後列は平成4年卒メンバー。  
左より河西寿幸、北川友子、本  
澤永人。



スピンオフ

つなぐ、こえる、我が母校。

NIPPON-1達成記念企画  
『日本一』の舞台裏

「つないでこえた」篇

平成3年卒幹事団「実名」座談会

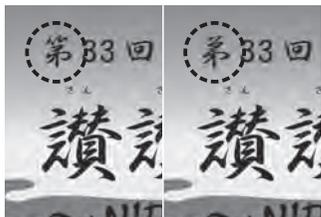
# 『幹事をやる前と後では、 紀元前と紀元後くらい違う!』

昨年の総会で、見事動員数1,252名を達成、名実ともに「日本一の同窓会」となった東京玉翠会。我々はそれにのっか…いえ、偉業をたたえ後世に残すべく、前年度幹事団の皆様との座談会を敢行。当時の苦労や裏話を(笑)マークつけまくりで赤裸々に語っていただきました。

## 第33回が第33回に!?

平成3年卒・藤田：どう？ 準備の方は(注：座談会は4月)。

平成4年卒・河西：いや佳境ですねえ。最近では去年のプログラム毎日持ち歩いてますよ。肌身はなさず。



平成3年卒・小倉：この表紙、最初「第33回」になってたんやで。

平成4年卒一同：えー?!

小倉：直前まで誰

確かに「第33回」が「第33回」になっていた!

も誤字に気づかんかって。プログラムとかは印刷前に直せたけど、Tシャツは間に合わず、結局そのまま。

河西：え、総会でも「弟」やったんですか?

藤田：「弟」やった。

平成4年卒一同：(写真見て)うわ、ホンマや…

平成4年卒・本澤：「プロがつくってるから大丈夫やろ」とかありますよね。

河西：…「弟」の話いったん置いてええ? (笑)

藤田：この話はまだ続きがあるんや。

河西：続くんですか!

## 玉翠会に関わるきっかけ

河西：吉野さんは私が玉翠会に関わり始める頃



石田さんは、藤田さんを引き込んだ功労者。長男・あきひろ 暁大くんは空気を読み、横で静かにiPadでゲーム中。

からずっといらっしゃるイメージですが…

**平成3年卒・吉野**：20年前くらい？ 前の幹事がおらんくなって、出席とればええんやろ、くらいのノリで引き受けた。

**藤田**：俺は5年くらいかな。石田さんから、「出産なんで代わってほしい」と言われて。石田さんとはバスケ部つながりなんよ。

**河西**：部活つながりは強いですね。我々も柔道部繋がりとか、本澤と河西は音楽部、北川さんは吹奏楽…。

**平成3年卒・豊田**：ああ、頼則さん<sup>1</sup>の後輩（笑）

**平成4年卒・北川**：そうなんですー（笑）

**河西**：え、そこ笑うところ？ …小倉さんはいつからですか？

**小倉**：僕は、受付<sup>2</sup>の年から参加した。

**藤田**：受付くらいから一気にメンバーが増えたかな。それまでは5人とかだった。

**平成3年卒・石田**：どやって連絡したん？

**藤田**：それはもうまめにま

めにまめに。

**河西**：めちゃめちゃ「まめ」出ましたよ。

**藤田**：ホント、俺「まめ」なんよ。あと吉野さんの名前使って。ネームバリューあるから。

**吉野**：なにそれー！

**藤田**：まつもん（豊田さん）には、PTAやってるから言うて1回断られたんよ。

**豊田**：そやった。

**藤田**：吉野さんが「まつもんは入れたほうがいい」言うから「初めまして」いうて連絡とって。

**豊田**：「（低い声で）ふじた？ 誰や？」

**河西**：怖いわ！

## 「ギネス狙いまーす」から始まった

**河西**：「NIPPON-1」っていうテーマは、どやって出てきたんですか？

**吉野**：引き継ぎ会の前にカラオケ屋に集まって、テーマの議論したんやけど、なかなかピンとこんかって。その時に「藤田くんはどうやって人集めよん？」という話をしたら、「FNS歌謡祭の飛天の間でやる」「日本最大級の同窓会」とかいう話が出て、「あ、それええやん『日本最大級』！」

**河西**：藤田さんと吉野さんの会話の中で生まれたんですね。

**藤田**：日本一、ひょっとしたら世界一かも！と盛り上がり。そしたらその後の引き継ぎ会で林さん<sup>3</sup>が「ギネス狙いまーす」言うてしもた。

**平成3年卒一同**：「あいつか」「あいつやわ」



小倉さんは受付年から主要メンバーとして参加。



吉野さんは梨央ちゃんをだっこして登場。きゃー、おめでとうございます。

### 平成3年卒メンバー (順不同、内旧姓)

**藤田哲典さん**：代表幹事。皆さんからは高校の時から通称「バル」と呼ばれる。

**穂村(吉野)ユリ子さん**：学年代表幹事。総務広報チームリーダー兼プログラム担当。今年2月、出産。

**石田(山崎)美佐子さん**：来賓チームリーダー。この日は小学生の長男を連れての参加。

**小倉英幹さん**：企画進行チームリーダー。「NIPPON-1」企画を支え続けた。

**豊田(松本)佳代子さん**：企画進行チームサブリーダー。通称「まつもん」。物販その他各企画を推進。

### 平成4年卒メンバー

**河西寿幸**：学年代表幹事。本座談会進行及び執筆担当。

**本澤永人**：プログラムチームリーダー。本企画の立案者。

**北川友子**：企画・進行チーム。総会では司会も担当。

(口々に)

**吉野**：まだ内々の話やのに。調べてもないのに。

**河西**：あ、それちょっと覚えてる(笑)

**吉野**：当の林君は「いけるんちゃうーん」と(笑)

**豊田**：で、斎藤(高橋)絵理子さん<sup>4</sup>がギネスを調べたんやけど、世界記録は3,000人とかで無理。じゃあ日本一はどうかと方向転換して。

**藤田**：いっぱい調べたもんな。

**豊田**：めっちゃめっちゃ調べたよ。めっちゃめっちゃ調べた。めっちゃめっちゃ。

**河西**：3回言いましたね(笑)

**豊田**：日本全部の高校のホームページ調べて。

**小倉**：東京玉翠会の過去最高動員記録が1,130人。で、1,200人言うてる高校が一個見つかった。せやから目標を1,201人に置いた。一応、日本一ネットには「支部開催で」て断り書きをつけて申請したんやけど、日本一ネット<sup>5</sup>側が勝手にそ



## めっちゃめっちゃ調べたよ×3(豊田) …3回言いましたね(河西)

れを外した(笑)

**河西**：そんなにちゃんと調べてたんですね。

**豊田**：そやって言ってくれるとうれしい。がんばったから。

### 物販、広告、動員…総会準備の舞台裏

**豊田**：最初の幹事会の後の懇親会でオリジナルボトルのワインを出したら先輩にウケて。「これええやん、売れるやん」言うて先輩が。正確にはべろんちょ先輩<sup>6</sup>が(笑)

**吉野**：でも売れなかった(笑)

**豊田**：よう考えたら高いし重いし荷物になるし。

**本澤**：その場のノリって怖いなあ(笑)

\*

**河西**：第33回は広告が異様に集まったやないですか。何があったんですか？

**小倉**：俺らにもわからん。でもこういう場に一切来ん、久米さん<sup>7</sup>の功績。

**豊田**：企画が「お金



とにかく「まめ」な代表幹事  
「バル」こと藤田さん。

足りんなー、いろいろ諦めななー」いう話してたら、「いくらいるんや」いうて。

**河西**：かっこえー。

**藤田**：香川のメンバーの機動力が凄かった。「社長が高高OBや！」いう情報だけで、飛び込みでガンガン行く。

**藤田**：最後は動員がピリピリしてた。「日本一達成せんとシャレンならん」いう空気があって。あの頃「デイリー岡内」いう言葉が流行った。岡内くん<sup>8</sup>が毎日動員を集計してメールで流すんや。

### まつもん号泣！「妹Tシャツ」裏話

**藤田**：「弟Tシャツ」事件が発覚した時、デザインやってくれた人<sup>9</sup>が落ち込んで。でその時「妹Tシャツも作ったらええやん」言うた人がいて。まあ茶化しなんやけど、みんながフォローして絆が出来て。その場はそれで終わった。

**藤田**：その後、男ばっかり数人で飲んでる時に、

1 TBB関東支部会長 頼則純太さん(昭和34年卒)

2 幹事の2年前に回ってくるお役目。当日会場で受付を担当。今年(平成26年)は平成6年卒の皆様が活躍しています！

3 動員チームリーダー 林直樹さん

4 企画進行チーム

5 様々な日本一を認定する、ギネス「みたいな」Webサービス (<http://www.nippon-1.net/>)

6 えーと、実名は控えさせていただきます(笑)

7 広告チームリーダー 久米毅さん

8 動員チーム 岡内康孝さん

9 プログラムチーム 川崎麻衣子さん

「うちの代は“女性の力”で持っとるよなあ。なんかお礼をしようよ」という話になって。

**豊田**：毎回飲みに行っったもんな。

**藤田**：で、行き着いたのが、「妹Tシャツを作って女性に配る」という極秘プロジェクト。それがだいたい総会本番の1週間とか10日前。たまたまデザイン作るソフトを扱えるメンバーがいて。去年のプログラムにも載った太田啓介<sup>10</sup>。

**河西**：(去年のプログラム見ながら) …プロやないですか！ (笑)

**藤田**：こっそりやるのがもう楽しくて楽しくて。結局できたのが2日前。ダンボールのまま内緒で現地に運び込んで、最後は2次会で披露<sup>11</sup>。

**小倉**：あ、まつもんが泣いてる！

**全員**：あ——— (河西カメラパシャ)

**豊田**：使うやろ——！

**河西**：こんなもん絶対使いますよ。

当時を思い出して泣くまつもんこと豊田さん。涙の瞬間、掲載させていただきました。



'15年の総会当日の様子。これが「日本一の同窓会」だっ!!

## 最後に…後輩へのメッセージ

**藤田**：一番思うのはみんな東京玉翠会の存在を知らない。知ってしまえば楽しさは伝わってるから、いかに知ってもらうか、そこが一番苦労した。いろんな人騙したし、俺も騙されたけど、とにかく1回来て、早く知ってくれ！

**吉野**：若かったときは知り合いも少なかったから、正直出席しても楽しくなかった。でもここには助けてくれる人がたくさんおる。今は私も高高生が困っったらなんでも助けてやろうって思える。そんな信頼し合える人が1,200人くらい

# 楽しくて楽しくて (藤田)

おるわけやろ。やから…皆行ったらええと思う(笑)

**石田**：卒業から20年。そのあいだ高松や高高のこと思い出すことなんてなかったんやけど、幹事やってた間はほんま、高松のこと考えてたし、高校時代のこともすごい思い出してて。やから、いいきっかけやな、くらいな感じでやってもらえたらええなあ。

**小倉**：僕自身、同窓会に出ることって、小学校でも大学でもそんなになくて、玉翠会も受付が初めてで。で、幹事やって、日本一になって。それだけなんやけど、楽しい。同期って特別な…あ、涙でてきた。幹事はラッキーやと思う。知らないのはもったいない。あと期間限定なのもいい！ バルなんか終わった後、「玉翠会ロス」入ってたもん。

**豊田**：会社では自分の思いが通らないことも多いんやけど、ここは好き勝手やらせてもらってすごい楽しかった。参加するより、企画する方が楽しい。達成感、ハンパない。これから毎年行って肩組んで歌おう思ってる(笑)…私にとっては人生の節目。

**北川**：え、そんなに？

**吉野**：もうね、(幹事の)前後でぜんぜん違う。紀元前と紀元後くらい違う。

**一同**：(爆笑)

**小倉**：ちょうど人生的にも折り返し地点で。

**河西**：そろそろ同窓会行ききたなる年かもですね。

**吉野**：職業的にも人柄的にも、それぞれがいろんな才能持ってて。もちろん弱点もあるんやけど、同級生やとイヤにならんというか「しゃーないわー。助けてやるか」。それがまた楽しいんよ。

\*

気配りの藤田さんのもと、癒やし、突撃、フォロー、専門性等々、個性が生み出すチーム力が「NIPPON-1」を実現した、そんなことを実感した座談会。私含め悩める平成4年卒メンバーも大いに刺激を受けました。紙数の都合で割愛した話、紙数があっても載せられない話(笑)は、また飲み会の席でも。平成3年卒の皆様、どうもありがとうございました。

10 (株)オリエンタルコンサルタンツ都市デザイン部担当次長。藤田さんとは幼稚園からの友達

11 「妹&弟」の勇姿は次のページで。デザイン担当者も喜んだそうです。



特別  
寄稿

## 私と東京玉翠会

# 「おおきな木」のように、いつもそこに。

### 吉野ユリ子(平成3年卒)

私が東京玉翠会に初めて参加したのは大学に入ったばかりの頃。その時はただ同期の友人と、慣れない「東京のどまんなか」で会うことがちょっとドキドキして楽しかった。

次に参加したのは26歳頃、当時私の学年は幹事不在で、人づてにお役が回ってきた。安易に了承したものの、幹事会に出席してその層の厚さと情熱の熱さにびっくり!! 「任せたけんの」と先輩に肩を叩かれ、慌ててハガキや電話、ファクスでの同期動員活動を行った。当初は幹事に知人もおらず、幹事会も居心地が悪い。参加する以上それではつまらないから、さまざまな集まりに顔を出して先輩方との交流を深めることにしたが、そこでの出会いは刺激的だった。年長者といえは上司か親くらいしか知らなかった私は、先輩方のエネルギーで明るく気さくな様子に、こんな大人おるん!? と衝撃を受けた。

しかし年々42歳の幹事団という重責が歩み寄る一方で、同期の総会出席率は一向に伸びない。グレート(笑)ろくに動員活動をしなかった時期もあれば、私自身他のイベントを優先して欠席した年も何度かあった。

そうこうするうちに迎えた昨年の幹事団のお役目。詳細は座談会(P37~)に譲るとして、フタを開ければ同期123人、総参加者数1,252名と高

校同窓会日本一の参加人数に。本当に、パワフル・ハートフル・スキルフルな同期、そして我々の暑苦しい情熱に乗ってくださった皆様に感謝&感動しかない。

今年からは玉翠会の「後半生」。同期も去年のようには集まらないかもしれない。でももう私は東京玉翠会の一員だと胸を張って言える、そのことがとても嬉しい。

高高を卒業して26年。大人の社交場、刺激的な存在だった玉翠会は、重たく煩わしく感じた時期を経て、今では温かく心地よい場所になった。シルヴァスタインの『おおきな木』<sup>1</sup>を思い出す。移り変わりの激しい東京の街で、どんな時でも私たちを受け止めてくれる場所だ。

これを読んでいる人には、今日初めて参加して、つまらんなと思っている人もいるかもしれない。でも、また来てほしい。あなたも変わるし、玉翠会の見え方も変わる。そしてどんなときも、玉翠会はずっとここにおるけんね。

#### Profile

よしのゆりこ / ライフスタイルジャーナリスト&エディター。ハースト婦人画報社などを経て独立。女性誌や広告を中心に女性のための豊かなライフスタイルの提案を行う。



1 リンゴの木と少年の生涯を通じた交流を描いた絵本。1976年邦訳発行。

# 憧れの甲子園で100周年記念大会に参加

丸吉幸也(昭和23年 第1期高松高校卒 野球部主将)

昨年12月19～20日、高校野球の聖地・甲子園で催された100周年記念大会に思いがけず出場の機会を得ることができ、感謝感激で一杯です。第1回大会に出場した先輩たちの偉業に対し、改めて敬意を表する次第です。当時(大正4年)全国より10校のチームが集結し、我が高中チームは京都二中(現・鳥羽)と対戦(0-15の惨敗!)。今回の再戦でも仇敵に勝てなかったのは残念ですが、旧交を温め、さらには記念写真も撮ることができ、とても意義ある日々でした。

私も、同じく今回の試合に参加した吉野君も昭和23年、学制改革により新制高校となった最初の大会～第30回全国高等学校野球選手権大会香川予選では優勝の栄誉、感動に浸ることができました。そんな67年前の若き日の思い出が沸々と蘇ってくるようでした(甲子園出場は、あと一步のところとなりませんでした)。

高松高校のユニフォームに背番号1まで用意してもらい、幹事の方々の先輩への温かい思いやり、行動力に心から感謝の気持ちで一杯です。ありがとう。現役諸君にも、これを糧にして高

高松高校のユニフォームに背番号1まで用意してもらい、幹事の方々の先輩への温かい思いやり、行動力に心から感謝の気持ちで一杯です。ありがとう。現役諸君にも、これを糧にして高

松高校のユニフォームに背番号1まで用意してもらい、幹事の方々の先輩への温かい思いやり、行動力に心から感謝の気持ちで一杯です。ありがとう。現役諸君にも、これを糧にして高



見よ、御年85歳、丸吉先輩の勇姿を!!

『第1回全国中等学校優勝野球大会再現プロジェクト2015』

特別  
寄稿

## 第1回大会に出場した 10校が夢の対決! 高高甲子園物語

昭和37年、北四国大会出場  
決定(『応援団史』より)。

1915年、大阪・豊中グラウンドで行われた「第1回全国中等学校優勝野球大会」。当時、73校が予選参加し、10校が勝ち上がった。100年後、その後輩たちが初戦のカードを再現すべく、あこがれの甲子園のグラウンドに立った。その興奮と感動をお届けする。



試合後のグラウンドで記念撮影。みんな自然と顔がほころんでしまう。

## 甲子園の土が踏めた、夢のような2日間

林祐一(昭和52年卒)

昨年、高高では一気に57名の甲子園球児が誕生した。メンバーは高高1期生の大先輩、丸吉さん(左ページ参照)、吉野さん、昭和35年卒の高濱さん、昭和38年卒の重松さんから平成25年卒のフレッシュなふたりまで、なかには平成17年の21世紀枠でのセンバツ以来2度目という猛者・平成18年卒の8人もいた。

「第1回全国中等学校優勝野球大会再現プロジェクト2015」は第1回大会出場10校が集まり初戦を再現。初日は広島中(広島国泰寺)×鳥取中(鳥取西)、山田中(宇治山田)×秋田中(秋田)、翌日は京都二中(鳥羽)×高松中(高松)、久留米商×和歌山中(桐蔭)、神戸二中(兵庫)×早稲田実が対戦。その合間に甲子園キャッチボール、開会セレモニーでは入場行進も行われた。

前夜、大阪市内のホテルで野球部・応援団・吹奏楽部各OBによる合同懇親会で氣勢を上げ、勇んで臨んだ試合は午前8時半、京都二中先攻で開始。守備は毎回全員交代。攻撃は昭和47年卒の正箱さんから年齢順に打席に立ち、途中オーバー70の4名の大先輩だけの特別ニングも設

けられた。結果は残念ながら1-11。ただし前回の0-15から100年越しで得点したことを特記しておく。

この記念大会は平成22年6月、第1回大会以来、春夏とも甲子園出場のない広島国泰寺野球部OB会が、同じ境遇の宇治山田高野球部OB会に再現試合開催を提案したことからはじまった。平成25年4月、高高野球倶楽部が参加表明。そして10月、最後に早実硬式野球部OB会が参加表明して10校すべてがそろった。そこから2年、実行委員会の方々の熱意と努力のおかげで素晴らしい大会が実現した。高松在住で私と同期の日下さん(昭和52年卒)と、網谷さん(昭和54年卒)のふたりには、とくに心から感謝したい。

私事ながら、昨冬に生まれた初孫には「祖父は甲子園に出た」と事あるごとに吹聴するつもりだ。また甲子園のグラウンドに立ってはじめて気づいたことがいくつかある。それについては東京高高野球部OB会の集まりで話す機会があればと思う。まだ登録されていないOBの方は、事務局までご連絡を!!

(連絡先090-8949-0797 松野和彦・昭和53年卒)

毎年、東京玉翠会総会に華をそえてくださる応援団OB。結成秘話ほか、年に1度の東京玉翠会総会の舞台に立つ思い、そしてこれからの応援団のあるべき姿について、会長の西村武史さんと幹事の中島康裕さんに語っていただきました。



西村武史さん（昭和27年卒）

——応援団の在京者によるOB会結成はいつだったのでしょうか？

**西村さん** 昭和48年ごろ、在京のOB有志で母校の応援団旗を新調するために寄付金を集めたことがきっかけで、高高応援団東京OB会（以下、応援団OB会）が結成されました。

——第1回東京玉翠会総会（昭和58年）から応援団OB会の皆さんは登壇されていますね。

**西村さん** 実はあれは事前の要請ではなく、その場で決まったことだったんですよ。

当時ボスの存在だった村井信彦さん（昭和27年卒）含む3人が、会場からの要望に応じて飛び入りで登壇し、『嵐の拍手』を急遽演じたのが、初めての舞台でした。

これが受け入れられ、翌年からも毎年総会の舞台にお声がかかるようになったんです。

——まさか、飛び入りでの演舞から毎年の恒例行事になったとは思いませんでした。それで、総会に向け、応援団OB会の皆さんは、どのような練習をされているのですか？

**中島さん** 総会の1週間前の土曜の夜に集まり、その場で歌ごとのリーダーを決めて、飲みながら当日に向けての打ち合わせをします。年1回のこの会合は、人生論や政治論、野球論、県民性等にわたり世代を超えて自由に議論できることが楽しみでもあります。

——大変な一方で、交流の場ともなっているのですね。ところで大きな声を出したり、体を動かしたりするわけですから、日頃の鍛練も相当なものなのでしょうね。

**中島さん** いいえ。実は応援団のいわゆる動きというものは、すでに体に染みついてますか



ら、とくに練習することはないんですよ。

——えっ、高校時代から今まで、ずっと覚えているということですか？

**中島さん** そうです。高校時代に繰り返し何度も練習したわけですから、動きはその3年間で習得し終えているのです。

ですから、今することと言えば、日頃の健康管理くらいですね。総会当日は、料理を食べすぎず、お酒も飲みすぎず、常に舞台を意識しています。

すべては“利他心”の精神。

己のためでなく他人のために。

——「今やるのは健康管理くらい」とおっしゃりながらも、言い方を変えれば、日頃の入念なご準備があってこそ、毎年変わらず総会の舞台を踏めるわけですね。

応援団というものが今も先輩方の生活や人生に大きなかわりを持ち続けていらっしゃるわけですが、どうしてそこまで、心身ともに続けられるのでしょうか？

**西村さん** 私たちが高高で教わった応援団の精神は“利他心”、つまり他人の利益を重んじ、他人が利益を得られるように振舞おうとする心です。

つなぐ、こえる、我が母校。

『己をこえ、他人を思う』篇

ハジメハジメ  
応援〜〜〜

## 高松高校応援団 東京OB会インタビュー

# 馳せる思い

第33回総会でも力強い応援を見せてくれた応援団東京OB会のみなさん。手前で陣頭指揮を執るのは宮下正司さん(昭和47年卒)。



中島康裕さん(昭和47年卒)

ですから、他人の幸せのために尽くすのは応援団の基本精神なのです。

——利他心…そのような言葉が応援団のモットーとして掲げられていたとは。他人のためにすべてを捧げるのですね。そんな応援団のOBであることの魅力とは？

**西村さん** 同郷の世代を超えた同窓生が一堂に会した場で、ブラスバンドOBと共に青春の思い出をたぐりよせるお手伝いができることですね。

**中島さん** 総会で日常を忘れて青春の思い出をたぐりよせる時間をみんなに送り、自分も共有できることです。

——では、未来の応援団に伝えたいことはありますか？



昭和39年の高校野球北四国大会(松山球場)の試合には、応援団OBも駆けつけた。中列右から5人目が西村さん。その右が村井信彦さん(昭和27年卒)。

**西村さん** 女性部員がほしいですね。'05年に母校が21世紀枠で出場した甲子園で一緒に応援した女性団員のよう、香川の県民性であるといわれる”型を破れない”をあえて破ってくれる後輩がほしいです。

——応援団はある種、男性社会のように思っていたのですが、先輩を含めて非常に革新的な考え方のかたが多いのですね！

では、毎年変わらず、東京玉翠会総会の舞台を踏まれてきたわけですが、今後ぜひやってみようことはありますか？

**西村さん** 実は10年ほど前から、舞台の締めは唱歌の『ふるさと』全員斉唱にしてはどうかと考えていたんです。年に1度の総会で、同郷のみんな、世代を超えて故郷を思いながら心をひとつにして『ふるさと』を歌う。そして来年の総会の再会を約束するのです。私の挨拶の時間は削ってもらって構いませんから、『ふるさと』全員斉唱を…。どうか私が参加できるうちに、実現させてほしい…なあ。

\*

西村さんの目には、大粒の涙があふれていました。この話はその場でお話をうかがった私たち3人はもとより、平成4年卒の幹事全員の心を揺るがし、第34回総会は『ふるさと』全員斉唱をして締めくくりたいと皆で心をひとつにしたのです。

インタビュー中、身を乗り出すやら、感動して泣いてしまうやらの松田(右)と北川。



取材・文/松田京子 取材協力/北川友子  
撮影/本澤永人(以上、平成4年卒)

特別  
寄稿

# 受け継がれる 高高スピリット



高松高校 英語教師 大森絵美(旧姓多田、平成4年卒)

## ●はじめに

私は現在、高松高校で英語の教員をしており、今年度で勤務14年目になります。初任の高校で5年の教鞭をとった後、母校である高松高校へ転勤を命じられた時には、「まさか自分が高高へ？」という不安がかなりありました。しかし、いざ入学式で高松高校校歌を十数年ぶりに聞いたときには、胸がじんと熱くなり、若き頃「教員になろう」と決心した母校で教鞭が取れるということに、改めて感謝と感激を覚えました。

あれから13年が経ち、私も本校で中堅の教員となりました。現在の高高をよく知る1人として、本稿では私の本校での教員生活を振り返りながら、現在の高高生について述べたいと思います。

## ●現在の高高生～変わらないこと

転任してすぐ、私は1年生の担任になりました。入学式後のHRで副担任の先生が、次のようにおっしゃったのを今でも覚えています。「高高というところは、親や教員から学ぶところではない。友達を見て学ぶのだ」と。それを聞いて、私はまさに自分の高高時代を思い出しました。中学生の時とは違って、高高に入学するとクラスメートたちが大人びて見え、彼らと話をすることで勉強も含め多くのことを学びました。

現在の高高生も教員である私から学ぶというよりも、友達と触れ合う中で多くのことを学んでいます。文化祭などの学校行事にも全力投球、部活も勉強も信念を持って行う、そんな友を見て切磋琢磨しています。

勉強に対して取り組む姿勢も、今も昔も変わっていません。現在の高高生も、物事の本質を問

うような質問をしてきては教員を苦しめます。とても頼もしいことです。思い起こせば私も高校生だった頃、『英文標準問題精講』に出会い、難解さに苦しめられながらも、文豪たちの美しい文章に魅せられ、細部まで読みこみ、わからない箇所は徹底的に質問しました。この経験があるからこそ、今の私がいます。本校に赴任してからは、教科指導がまず第1との先輩方の教えを守り、毎朝4時に起きて予習やら英文記事を読むやら勉強しています。私のこの勉強習慣が現在でも続いているのは、「生徒の質問が我が教師」という考えがあるからです。

## ●現在の高高生～変わったこと

私が高校生の頃から変わったことといえば、コンピュータなどの技術に優れた生徒が多くなったことです。文化祭の展示物製作などはPCを駆使して仕事を割り振り、各自作業を家で分担して行い、最後の合体を皆で行うというスマートな手段をとる生徒が増えてきました。

また、学校行事にしても部活動にしても教員の意向に反することをせず、こちらのアドバイスを求める生徒も増えました。教員が思ってもみないことをする生徒が少なくなったというのは安心ではありますが、一抹の寂しさも感じます。時代の流れには逆らえませんが、それでも泥臭く地道に自分の信念に基づいて努力するという、昭和的な高高生が懐かしく思います。

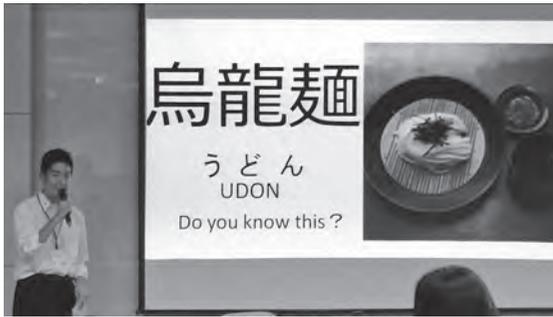
## ●英語教員の立場から

昨年度から英語科主任となり、自分のクラスや学年団だけではなく、学校全体の英語に関する仕事も執り行うようになりました。また、昨年度は本校がスーパーグローバルハイスクール・

アソシエイト校(SGH校)と位置づけされたことから、SGH研究主任としても仕事をしました。

SGHとは、文部科学省が行っているプロジェクトで、「企業や海外の高校・大学と連携した課題研究を行うこと」「国内外へのフィールドワークを行うこと」等が必須のプロジェクトです。昨年度入学生は、国外へのフィールドワークとして、『台湾武陵高級中學校』への訪問と、イタリア『ミラノ万博』での食に関するインタビューを行いました。

武陵高級中學校訪問では、10名の生徒を引率し、高松高校と香川について英語でプレゼンテーションしました。高松高校の紹介では、男女で違う校章の由来を説明したり、校歌を歌ったりして、大きな拍手をいただきました。香川の紹介では、現在「讃岐うどん」が台湾でもブームになっていることから、「讃岐うどん」の「さぬき」は香川の古い名前であることを説明すると、会場内からどよめきが上がりました。



台湾でも讃岐うどんがブームに。

『ミラノ万博』に関しては、東京玉翠会渡辺修会長より、「食についての課題研究をするのであれば、ミラノ万博に生徒を派遣し学ばせたらどうか」というお話をいただき、実現に至りました。驚いたことは、偶然にもミラノ万博「日本館」の副館長が、高松高校平成3年卒鈴木美保さんであったということです。また、生徒が訪問できる現地イタリアの企業がないか探していたところ、東京玉翠会の土田充さん、中山易典さんの計らいで、ミラノのValcom社（現在日立製作所の子会社）で現在働いていらっしゃる西川様をご紹介いただき、企業訪問をすることもできました。玉翠会の先輩方のグローバルな活躍、ネットワークの広さに改めて驚愕いたしました。派遣生徒8名は、ミラノ万博内で、来場者に和食に関して英語でインタビューを行い、他国の方々と実



(上) ミラノ万博日本館の前で（前列中央が鈴木美保さん）。

(右)ミラノ ドゥオーモの前で。



りのある交流をしました。

この台湾、ミラノ万博へのフィールドワークに関しては、東京玉翠会、JETRO、香川県政策部文化振興課や交流推進部県産品振興課など、本当に様々な方々にご協力をいただきました。

## ●今後の高生に期待すること

私が思う高生スピリットの代表格は、男子の校章にある『ペンと矛』、女子の校章にある『雪持ち笹』だと思っています。このたびのSGHの活動を通じて感じることは、チャンスさえ与えれば、確実に生徒の視野は広がり、『知性』を持ち、『失敗しても決してくじけない忍耐力』を兼ね備えて、新たなことに挑戦しようとする生徒が確実にいるということです。

時代がどう変わろうが、地方と都会の格差がどう叫ばれようが、この高生スピリットは現在も健在で、今後も継承されてほしいと思います。そして、何歳になってもチャレンジャーであり続ける高生を、これからも応援していきたいと思っています。

高高卒業生の  
会社を訪問!

総会の校舎ジオラマ展示を無償で支え、  
海外11か所・国内42か所に拠点を置く  
大企業へと進化した会社の経営哲学とは――



カトーレック

東京本社があるのは“物流の拠点”江東区木場。  
『カトーレック(株)』東京都江東区枝川2-8-7

# ビジネスチャンスは ワクワクが生まれる!



7月9日総会を彩る県女、高中、そして高高昭和校舎など計5つのジオラマ輸送を無償で引き受けてくださったのが、カトーレック・加藤英輔社長。その輸送費は、ずばり150万円超！ 普通車が1台買える金額だが、こんな太っ腹な社長が経営する、伸び盛りの会社ってどんなところ？ 興味津津で会社訪問に行ってきました。

昭和校舎を学び舎とした最後の世代である、われわれ平成4年卒の幹事団。“我が母校”をテーマに掲げ、なんとしてもジオラマを総会会場に飾りたいと考えたものの、その輸送方法に当初から頭を悩ませていた。というのも、ジオラマのサイズは一辺が最大1.6mもあり、そのどれもが1点もの。わずかな振動で破損の可能性もあるため、美術品に特化した専門の輸送が必要だったのだ。

「これはもうあきらめるしか…」そう思いかけた時、手をあげてくださったのがカトーレックだった。同社は加藤汽船から派生した香川屈指の優良企業。海運から陸運に手を広げ、現在は物流センターの運営や冷凍・チルド製品の輸送、Amazon等のネット通販の宅配サービスまで幅広い。

## 会社の主要事業は電子機器の製造!?

そして、現在の主たる事業は、自動車や家電に内蔵される精密な基板の組み立てだという。

「たとえば自動車の鍵をポケットに入れておいてドアノブに手をかけただけでドアが開いたりしますよね？ そうした精密な製品の製造を手掛けています」(加藤社長。以下、「」内同)

そうしたエレクトロニクス事業は、'80年代初頭に、松下寿電子工業の協力会社として電子部品の組み立てを始めたのがスタートとなる。もともとの輸送業から全く違う業種に足を踏み入れるのは、普通ならかなり勇気のいることと思えるが、カトーレックはこれをまたとないチャンスととらえたのだ。

そしてこうした物流とエレクトロニクスの融合は、加藤社長により“ロジトロニクス”と名付けられ、カトーレックの強みとなる。工場はインドネシアにタイ、中国、メキシコ・ティファナのほかに世界にも広がり、'16年にはメキシコ中央高原のグアナファトにも新設された。

「メキシコに進出した理由の1つは、中南米の経済発展が目覚ましく、これからさらにクルマ社会として消費が大きく伸びると予想されることにあります。

そしてもう1つ、メキシコ中央高原と呼ばれ

◀タイをはじめとし、EMS事業の工場は日本を含む8か国・11か所。↓'16年にはメキシコ・グアナファトで新工場が稼働。



Profile かとう・えいすけ/1954年生まれ。東京大学卒業後、NHKに勤務。在職中に米・ハーバード大に留学の経験があり、語学も堪能。'88年、高中出身の父・達雄氏の経営する加藤陸運に入社。'97年に代表取締役社長に就任し、事業拡大に努める。

カトーレック株式会社  
代表取締役会長兼社長  
加藤英輔さん(昭和48年卒)



応接室には、高松の街並みと屋島を瀬戸内海から描いた絵画が。さぬき愛にジン…。

るこの一帯は、近年、日米欧の自動車関連会社が多く集まってきていることに関係しています。わが社もグアナファトで作った電子部品を、近隣の自動車部品メーカーにすぐさま供給することができ、輸送費も時間も抑えられます。

実際、取引するメーカーからは、「2時間以内に納品できる場所に工場をつくってほしい」という条件を出されたこともあります」

なるほど、今やグアナファトは、かつてのデトロイトのような存在なのだ。

最大の挫折から成功のカギを模索

このたび、メキシコに工場を出すのは3度目。実はその昔、初めてメヒカリに進出した際、経営不振で撤退した苦い経験があると加藤社長は教えてくれた。'99年当時、メキシコにあるアメリカとの国境を接した地域は、世界最大のブラウン管テレビの生産拠点となっていた。それまで、インドネシアやタイ、フィリピンなどでEMS(下記参照)ビジネスが順調に立ち上がっていたことから、カトーレックも同地域のメヒカリに

'76年には、加藤達雄社長(当時)が財団法人四国家家博物館(四国村)を開設。今年40周年を迎え、Culture部門の社会貢献を担う。



- '08年、NPS(トヨタ生産方式を研究する異業種約40社の会)に参加し、EMSと物流の両部門で生産性改善活動を強力に推進。
- '16年3月、「東北地方の橋頭保」ともいえる物流センターが仙台市に完成。延床約2700坪、4温度帯の倉庫をかまえて、冷凍冷蔵品を含めた食料品の共同配送のニーズに対応。

- '61年、グループ会社の宇高国道フェリーで自動車輸送を手掛けたのを機に、加藤汽船が運送免許を取得、陸運業を開始。陸運部は分社化し、加藤陸運となる。
- '80年代にはいり、松下寿電子工業の協力会社として電子部品の組み立てを始める。のちのEMS(Electronics Manufacturing Service)の端緒となる。
- '92年、同社の特徴であるLogistics(物流事業)・Electronics(エレクトロニクス事業)・Culture(文化事業)の三つの頭文字(LEC)から、カトーレックに社名変更。
- ルーツは海運業。1877(明治10)年に加藤弥太郎が、旧高松藩主の松平家から二艘の船を乗組員ごと譲り受け、高松と大阪や東京を結ぶ回漕業を開始。
- 大正時代に会社組織である加藤海運商会に。戦後は旅客が増えて加藤汽船と社名変更。



加藤汽船時代の、就航式の様子。加藤達雄社長(昭和16年高中卒)は、煙突が目立たない船体の新造船を就航させ、「はびねす」「ぐれいす」等の斬新な船名で人気に。

カトーレックはじめて物語

加藤汽船から加藤陸運、そして…



「カトーレック」  
ビジネスチャンスは  
ワクワクが生む！

工場を建設する。

しかし、当初から予想以上に仕事が殺到。人手不足が重なり、製造現場は混乱をきたす。何よりスタッフの気質が、従順なアジア人のそれとメキシコ人とでは、大きく違っていた。

結果、大きな累積赤字を抱えてしまい、'02年に同地から撤退。加藤社長は経営者としての最大の挫折を味わうことになる。「メキシコではもう二度とやるまい」——そう誓ったという。

ところがそれから数年後のこと、時代はブラウン管テレビの時代からとって代わり、液晶やプラズマテレビの時代が到来していた。当時、カトーレックの主たる得意先だったパナソニック社からは、しきりにメキシコ進出を打診されるようになる。パナソニック社のプラズマテレビの工場はティファナにあった。加藤社長は同社からの要請を断り切れず、'06年にティファナに進出することを決断する。

とはいえ、家電は世代交代が激しく、プラズマテレビの需要も永遠に続くわけではない。もしプラズマ事業が下火になれば、加藤社長はティファナの工場をたたむつもりでいた。1回目の失敗を生かし、同工場では製造プロセスをシンプルにしたほか、現地スタッフの資質を考慮した運営方法を取り入れた。

ところが、プラズマ事業が縮小していくなか、今度は自動車部品事業が芽生えていた。「そのうちメキシコでの事業は、自動車部品の製造が主流になる」——そう考えて、プラズマテレビの生産が縮小しても、ティファナを閉鎖せずに稼働し続けた。そしてそれが、グアナファト工場の展開につながった。加藤社長は、風を読み、三たびメキシコの土を踏んだのだ。

54才からピアノを始めた加藤社長。開始翌年には『エリーゼのために』を発表会で演奏し、その上達ぶりは周りを驚かせた。「夜中に目が覚めると、ヘッドフォンをして、電子ピアノで練習することもあります」(加藤社長)。恐れ入りました！



東京本社建物内にある美術専用倉庫には、美術品を梱包する作業スペースが備えられている。美術品の輸送や展示だけでなく、温湿度の管理を徹底した専用倉庫で保管も行っている。



## 好奇心旺盛であり続けながら時代を読む

話を聞いて驚いたのは、'80年代のエレクトロニクスへの進出しかり、メキシコの再進出しかり、従来の稼業にとらわれず、時代に合わせて柔軟に会社の形を変えていくことだ。「頭が柔らかくてらっしゃるのですね」と述べると、笑いながらポケットから1枚のカードを出して見せてくれた。そこには「常に時代の変化に対応する」と、会社の理念が記されていた。

加藤社長は続ける。

「携帯電話が開発され、あっというまにスマートフォンの時代になったでしょう。そんな進化も変化も目まぐるしい時だからこそ、次を読む目は必要ですよ」

そんな加藤社長の次なる注目分野は、ずばりAI。人工知能が私たちの生活にどんな影響を与え、機械産業にどんな波をもたらすのか、興味津津だという。

ここから話は脱線し、世界チャンピオンで“囲碁界の魔王”と呼ばれる、イ・セドル九段と人工知能との対戦談議に。目をキラキラさせながら、人工知能の可能性について語ってくれた加藤社長。さらに話題はピアノや与謝蕪村の俳句へと、尽きることはない。そのあくなき好奇心は、次にどんな事業を立ち上げ、世間を驚かせてくれるのだろう。楽しみでならない。

## カトーレック

<http://www.katolec.com>

■グループ売上高：約900億円（物流事業200億円、EMS事業700億円） ■EMS事業：世界30位、日系企業としては4位（業界紙「MMI」による） ■グループ従業員数：約7,000名(2015年3月31日現在)

取材/国東美方子、吉村亜紀子、堀米紫 撮影・文/堀米紫

発足!

# 「香川県企業と 高高卒業生をつなぐ会」

これは見逃せない!  
総会当日 限定プログラム

私達のふるさと香川に拠点を置く魅力的な企業と、就職を控える若手玉翠会会員、そして再び香川県民となるべくUターンを願う希望者とを「つなぐ」場を提供いたします。この機会に、香川から世界に発信する企業の魅力を、再発見してみませんか？

## 参加企業 (50音順/敬称略)

- かがわ就職・移住サポートセンター  
サテライト東京オフィス
- 香川証券株式会社
- カトーレック株式会社
- 株式会社クリエアナブキ
- 四国化成工業株式会社
- 四国電力株式会社
- KSB瀬戸内海放送
- 株式会社大京穴吹建設
- 株式会社タダノ
- 一般財団法人 阪大微生物病研究会
- 株式会社百十四銀行

## ■東京玉翠会会員 参加資格

- Uターン就職を目指す就活中の学生
- 転職を考えている若手社会人
- 30、40代、あるいはそれ以上の世代

## ■開催場所・時間

### さくら(ホール前室)

(物産販売と託児スペースの間)

15時半～18時半

※各社がブースを設けていますので、個別にお話  
ができます。出入りは自由です。

## ■こんなことを話してみよう

総会当日は、各企業の担当者とフランクに会話。膝を突き合わせて、気になる業務内容や会社の雰囲気、もちろんお給料まで、気軽になんでも質問ができます。こんな説明会、ほかにはありません！

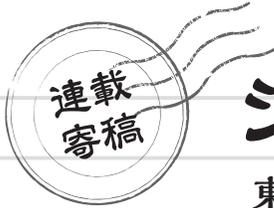


写真は第33回総会の業界  
交流会の様子。

企画趣旨の事前説明会と称して、若手会員との交流会を開催しました。お酒が入っているというのに、話を聞く目は真剣そのもの。香川愛がすごい！(平成28年5月14日『炭の屋 ですけど 新橋店』にて)



企画担当/木村瑞樹、藤澤匡章  
写真/山下貴子、北泉秀樹



# シンガポール便り

東京玉翠会シンガポール支部事務局

本田博之(昭和57年卒)

第34回東京玉翠会総会が、本年も例年どおり盛大に開催されますことを、昨年建国50周年を迎えたシンガポールからお祝い申し上げます。

## 一気に若返ったシンガポール支部

シンガポール支部は、何とこの1年の間に大いなる若返りをみせました。現在のメンバーは、最も若い人で平成21年卒から最も上の先輩で昭和45年卒と幅広い年代層にまたがっているだけでなく、人数も判明しているだけで10名まで増えました。メンバーも、元野球部のイケメンエースあり、元サッカー部の美人マネージャーあり、元硬式テニス部のヒロイン(…)あり、元陸上部の名(迷)スプリンターありなど、在学中に華々しい? 経歴を有するだけでなく、来星してからお遍路に目覚めて四国八十八ヶ所を巡ったあげく、何故かうどんの修行に励み始めて将来開業を目指している者など、非常に個性豊かな面々が揃いました。昨年10月に開催された飲み会、もとい支部会も大変盛況でした(写真1)。因みに、最古参メンバーの一人の小松慎一先輩は、シンガポール香川県人会(総勢50名超!)の会長もお務めになっています。やはり若い人が入ってくると、会は盛り上がりますね。

## 知らなかったシンガポール

ここで、皆さんがあまりご存知ないと思われるシンガポールをご紹介します。

### (1)フードコートに讃岐うどん?

写真2をご覧ください。えっ、ここは何処かって? もちろんシンガポールですよ。しかも、日本で大ヒットしたドラマ『セカンドバージン』が

撮影された、<sup>ラオパサ</sup>『Lau Pa Sat』というシンガポールで最も有名なフードコートにあって、普通に食べられます。肝心の味はというと…え〜い贅沢は申しますまい。シンガポールの超一等地に堂々と出店していることで、これからアジアでも讃岐うどんがメジャーになっていく訳ですから。

### (2)マレー鉄道の終着駅

写真3の威風堂々とした建物、これはかつてマレー鉄道の終着駅として栄えた、鉄道ファン必見の旧タンジョン・パガー駅です(2011年に廃止)。1996年に放映されたTVドラマ『深夜特急』で、主人公の大沢たかお扮する沢木耕太郎が、この駅で切符を買ってマレー半島を北上する列車に乗り込むシーンが撮影されたのをご記憶のかたも多いと思います。シンガポール領内にあるこの駅構内では、先にマレーシアへの入国審査が行われた後に、マレーシア国境付近で今度はシンガポールの出国審査が行われるという珍現象が起きていました。パスポートにマレーシアの入国印はあるのにシンガポールの出国印が無いといったトラブルも多かったそうです。また当時から今でも線路や駅構内はマレー鉄道の所有であることから、その名残で敷地内は英語ではなくマレー語の表記しかありません。現在ではシンガポールの祝日に開放されていて、自由に見学可能です。

### (3)シンガポールに温泉?

写真4は、センバーワンというマレーシアとの国境に近い地区にある、知る人ぞ知るシンガポール唯一の温泉です。ここは実は軍の基地の中にあり、写真5のとおり、一步金網の中に入れば迷彩服を着たお兄さんに銃で撃たれても文句は言えないといふかなり痺れる場所にあります。



from Singapore



ここで沸いて出てくる湯はメチャクチャ熱くて、何度もふたつのバケツに入れ替えながら冷まさない、とてもじゃないが浸かれたもんじゃありません。我々は足湯が精一杯でしたが、現地の人はドラム缶に汲んできて服を着たまま平気で浸かっていました(女性も)。ついでに言えば、地面やら金網やらそこかしこに洗濯した服や下着が干してあって、殆ど生活空間と化していました。恐るべし、シンガポール人…。

### (5) 全身血まみれ、痛そ～

『タイプーサム』という10月に行われるヒンドゥー教のお祭りが 있습니다。神に願いをかなえられた人が、自分の体を傷つける苦行を行いながら感謝の心と信仰心を示す行事です。体中に植物と牛の糞を混ぜた「聖なる灰」を塗り、カバディーと呼ばれる孔雀の羽で美しく飾られた大きな飾りを担いで(写真7)、全身に針を刺して(!)寺院まで行進します。ミルクが入った壺を頭にのせたり、針で体に台車を引っ掛けて引っ張ったり(!)する人もいます。全身血まみれになっている人もいて、見ているだけで痛くなりますが、血が好きな人はゾクゾクすること間違いなし(?)です。さすがに男性しかやりませんが、女性は周りで掛け声(多分頭張れと言っている)をかけて応援しながら一緒に行進します。

### (4) 天国か地獄か？

—シンガポールにタイガーバーム・ガーデン(別名Haw Par Villaとも呼ばれる庭園)があるのをご存知でしょうか？ 中国の儒教・道教・仏教や様々な伝説・説話等をモチーフとした多数の奇妙な像は、極彩色かつグロテスクな造形をしている上に、園内のジオラマは地獄や極楽の様子を表したものもあり、そのキッチュな景観に思わずうっとり…。写真6は三蔵法師がハニートラップを仕掛けられる場面ですが、私もここで『西遊記』のストーリーを学びました。シンガポール観光の一押し！ですね。人生勉強になること間違いありません。入場無料です。

狭いシンガポール、意外と見どころは沢山ありますが、是非一度お越し頂ければ、シンガポール支部のメンバーで皆様を温かくお迎えします。また、在星のOB・OGをご存知でしたら、是非メンバーに入って頂きたいと思っておりますので、ご連絡宜しくお願ひします。



東京玉翠会

# 同好会通信

総会は年に1度しかなくても、東京玉翠会には心通わせる交流の場があります。あなたも、さぬき弁で語り合える同好会に参加してみませんか？「むつごい」も「お腹がおさる」も通じます。

## 囲碁同好会

同窓の仲間と趣味を通じて語り合うひととき、あなたも参加してみませんか。新しい出会いの始まりです。

1995年（平成7年）に立ち上げたこの会も、既に21年の歴史を重ねました。昨年より年3回（従来は年2回）の開催となり、玉翠会の同窓仲間の親睦の場となっています。老若男女を問わず、いつの時代でも楽しめるスポーツです。

他の会に参加されている方も、是非玉翠会囲碁会に、同期の友人をお誘い合わせの上、ご参加下さいますよう一同お待ちしております。尚、ルールはハンデ戦、スイス方式による対戦成績で順位を決

めています。会の終了後は懇親会を開き、囲碁はもちろん、人生談義に話が弾みます。



優勝者のS32年卒・中村米男さん（写真右）



今年3月13日（日）に開催での皆さん

## トピックス



今AI囲碁が話題を集めていますね。それはAI囲碁が世界チャンピオンの李世乭（イ セドル・33才）九段に4勝1敗で勝ち越したニュースです。既にオセロは平成8年、チェスは平成9年、将棋では平成24年にあの有名な米長邦雄九段を破っていますが、当時AI囲碁が人類に勝利出来るには、10年以上先だと言われていました。脳研究者の池谷裕二氏が『エコノミスト』（4月12日号）で「今時のAIは、新聞記事はもちろん、詩や音楽や絵画さえ、並の人間にはかなわないレベルで創作する」と述べています。プロ棋士に取っては生死を決める重大な問題かも知れませんが、私たちアマには棋譜を見て楽しむばよいことではないでしょうか。

### 次回開催のご案内

- ◆日時 平成28年7月24日（日） 12：00～17：00
- ◆場所 「葵クラブ」  
港区赤坂1-1-16 細川ビル4階 会費2,000円  
（地下鉄・溜池山王、国会議事堂前より徒歩5分）  
参加ご希望の方は、世話人までご連絡ください。

### 世話人

- 代表 **井上 榮**（S33年卒）  
sakae-ino@sky.sannet.ne.jp
- 幹事 **柴野 孜**（S33年卒）  
t-sibano@gray.plala.or.jp
- 幹事 **横田義直**（S35年卒）  
yokota-ys@nifty.com

# 讚美会

人生に絵を添えれば、心は輝きはじめます。  
一つの絵から心に光りをあてましょう。

「讚美会」とは、何ですかと訊ねられる事がありますが、この会は「美」を「讚える」仲間の集いです。皆さん、心の温かい人達が46名います。年1回以上を目標に、各地の美術館を探訪します。貸切りバス専用（定員25名）で、日帰り又は1泊2日の小旅行を楽しんでおります。去年は「釈迦堂遺跡博物館」「山梨県立美術館」「山梨県立文学館」「フジッコワイナリー」を巡りました。以下、探訪記録です。

11月18日（水曜日）

## ミレーの美術館・秋の甲州路めぐり

新宿西口を8時10分に出発。いつもは混雑する道中ですが、今回はスムーズに走行、最初の休憩地「談合坂」を目指して発車オーライ。お天気の晴れの応援もあり気分爽快。予定時刻の9時には談合坂に到着し、15分間の休憩後釈迦堂に向かった。車窓からは紅葉が美しい。

### 1. 釈迦堂遺跡博物館

ここの遺跡は縄文土器、土偶が有名です。特に、国重要文化財の下記の3つは必見です。

- ① 水煙文土器（釈迦堂を代表する中期後半の土器）
- ② 釣手土器（縄文時代のランプと思われる）
- ③ 人体文土器（胴下半部に人の模様がある）

この遺跡の発掘には延べ2万人以上の人々が参加、調査の結果、旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の住居や墓があり、全国から注目を集めたと言われています。上記の国重要文化財が鑑賞できれば大満足でしたが、他の博物館へ貸し出し中とか。残念な結果でした。外で紅葉の風景を眺めて深呼吸、気分転換をしてバスに乗車です。

[テーマ] つなぐ、こえる、我が母校。

### 2. 山梨県立美術館

2度目の探訪ですが、今回はミレーのほか花の画家ルドゥーテのバラ展が本命でした。彼はベルギー出身でフランス王妃マリー・アントワネットとナポレオン皇妃ジョゼフィーヌに仕えた植物画家です。代表作は銅版画集「バラ図譜」に尽きます。170点の作品は精度の高い点刻彫版法の緻密で精彩な色彩表現は言葉では表現できません。

余談話です。ミレーの代表作「種をまく人」何の種を蒔いているのでしょうか？ 仏＝フランスだから小麦、否、ワインの国は葡萄。正解は「蕎麦」である事を確認しました。

### 3. 山梨県立文学館

俳句雑誌「雲母」の誕生から100年、主宰の飯田蛇笏・飯田龍太を中心に俳句の歩んだ歴史資料を見ることができました。特に、正岡子規、高浜虚子、河東碧梧桐、中村汀女、種田山頭火等の直筆の句を鑑賞しました。

また、常設館の展示室では村岡花子、太宰治、井伏鱒二、山本周五郎、深沢七郎、樋口一葉、芥川龍之介の原稿等を堪能しました。

### 4. フジッコワイナリー

2階のテイスティングルームで10種類以上のワインを自由に試飲後、お土産を購入です。



記念写真 山梨県立文学館 玄関前にて

#### 連絡先

長谷川 汎 [ひろし] (S29年卒)  
sky.h2.2008.ks@d7.dion.ne.jp

いつでも入会できます。お気軽に連絡ください。

# ゴルフ同好会

## 風との闘い 第43回大会

2015年10月25日（日）埼玉県吉見ゴルフ場において、39名が参加し、第43回大会が開催されました。

当日は雲一つない快晴でしたが、関東地方に風速15メートルの木枯らし1号が吹き荒れ、そのおかげで、スコアも吹き荒れた一日でした。

吉見ゴルフ場は荒川沿いのリバーフロンティアと呼ばれるコースで、風をさえぎるものが何もなく、ボールの行方は風次第。飛び行く？飛び去る？ボールをじっと見つめるだけ。バックスイングでクラブをあげたら体が風にあおられグラグラとよろめき、グリーンにボールを置いたらコロコロと転がりカップからどンドンドラコ遠ざかっていき、出るのはため息ばかり。

しかし、誰一人ギブアップすることなく「実力」を発揮し、ホールアウト。さすが高高魂！

総合優勝はS46年卒・河野順氏、女性優勝はS63年卒・乙川みち子さんでした。「悪天候ほど実力が物言う」との格言どおり、結局は実力者が優勝したということでしょうか。

優勝の弁で河野氏は「今度が3度目の出場ですが、優勝は2度目。これからは優勝の確率をもっと上げるように頑張ります。」と述べられました。



優勝の 河野氏 乙川さん

## 第44回大会 5大「びっくりぼん」

2016年5月22日（日）新武蔵丘ゴルフコースで、6名の初参加者を含む32人で第44回大会が行われました。

快晴に恵まれ、夏を感じさせる暑さの中、讚岐弁が飛び交い、和気あいあいとしたコンペになりました。（讚岐弁が飛び交うのはいつものことですが）

今大会の5大「びっくりぼん」を集めてみました。

① 選手宣誓で気合を入れ、ドラコン、ニアピンを確認し、皆の笑顔で気分が盛り上がり、「いざ出陣！」となるはずの開会式がなかったこと。

10組すべてアウトスタートのスループレー。スタート時間の差が1時間もあったためでした。

② 初参加者が6人。総会幹事学年（H4年卒）からは3人が初参加。

感想を聞くと、「年甲斐もなく緊張しまし





第44回大会懇親会 成績はいかに？



総合優勝の諏訪氏



女子優勝の小島さん

た」「しっかりこの日のために練習をしてきました」「十分すぎるほどの成果を出すことができました」などなど。

一番若い総会幹事学年3人からは、「盛り上げに参りました」と気合の入った弁。若さと総会への気迫を振りまき、総会への出席案内も怠りませんでした。ただ、ここにいるメンバーは総会には当然に出席なので、あまり効果はなかったかも？

- ③ 卒寿を迎えるS19年卒 藤本弘氏が、再度、玉翠会ゴルフ最年長参加記録更新を目指し、今回も参加されました。（おととしまで藤本氏が最年長参加記録を持っていましたが、昨年、S17年卒 横田信生氏が最年長参加記録を更新しました。お二人の熾烈な記録更新争いを期待しています。）

藤本氏は、しっかりしたショットで、ミド

ルホールでパー。若者、顔負けです。

- ④ 13番ホール パー4 375ヤードで、S63年卒 諏訪満士氏がイーグルをとるという快挙。ドライバーでピンまで90ヤードのくぼ地まで飛ばし、2打目は会心のショットでピンに向かってまっしぐら。ワンバウンドしてピンにガチャン、そしてカップイン！
- ⑤ 優勝はイーグルをとった諏訪満士氏でした。優勝の弁では、「2度目の優勝なので、3度目を目指して頑張ります」とのことでした。

次回第45回大会は2016年10月23日（日）か30日（日）に行う予定です。8月ごろ改めてご連絡しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

#### 連絡先

会長 **斎藤寿良**（S35年卒）hnaga.saito@aria.ocn.ne.jp  
 事務局 **和田邦子**（S50年卒）wadakuni@ae.auone-net.jp  
**神崎 俊**（S52年卒）t.kanzaki@pearlace.co.jp

2016.4.16  
第34回 オールスターゴルフコンペ  
at 東京よみうりCC



チーム戦 準優勝

人気実力 上昇中  
スター 最新版  
選手名鑑

インタビュアー  
冗談・スピース



- ① 今期の目標は？
- ② あなたのライバルは？
- ③ あなたの弱点は？
- ④ 憧れのプレイヤーは？

	<b>垣見昌美</b> (S33卒) 小技 ★★★☆☆ トーク ★★★★★ 早いプレー ★★★★★		<b>大西千枝子</b> 感謝状
	①元気で楽しいゴルフ ②小島豊子選手 ③おおぞっぱ。向上心がない ④かつての不動裕理。今は？		大西昭一郎先輩がお亡くなりになられて一年が経ちます。奥様の千枝子さまのご尽力をいただきまして今春もよみうりCCでコンペを開催することが叶いました。
	<b>小島豊子</b> (S43卒) トーク ★★★★★ スタミナ ★★★★★ 早いプレー ★★★★★		<b>中山易典</b> (S50卒) 飛ばし ★★★★★ トーク ★★★★★ 早いプレー ★★★★★
	①体で打つ。手を使わないようにスイング。ただ今成長中～。 ②垣見選手 ③いっぱい。特にメンタルかな？ ④松山英樹選手		①W選手 ③たまにビッグスコアがでる。精神的な問題 ④アーニー・エルス・岡本綾子

	<b>小沢規夫</b> (S37卒) 小技 ★★★☆☆ 慎重さ ★★★★★ パートナーを勝たせる ★★★★★
	①アイアンの飛距離を戻す ②見当たらん？

	<b>木村安男</b> (S43卒) 飛ばし ★★★★★ トーク ★★★★★ 慎重さ ★★★★★
	①寄せ芸人となり、銭を稼ぐ ②同期の北山選手です ③アプローチ ④藤田寛之

	<b>北山忠善</b> (S43卒) 飛ばし ★★★★★ トーク ★★★★★ パター ★★★★★
	①80台を20回出す ②恵比須選手 ③Puttingが入らない！ ④アーニー・エルス

チーム戦 優勝

	<b>恵比須忠</b> (S42卒) 小技 ★★★☆☆ トーク ★★★☆☆ 早いプレー ★★★☆☆		<b>岡崎功</b> (S50卒) 小技 ★★★☆☆ トーク ★★★★★ スタミナ ★★★☆☆
<b>ベストグロ賞</b> ①元気でゴルフをやれること ②う～ん。北山さんにしよう。 ③なぜか2オンを狙うこと ④ジョーダン・スピース		①自己を抑制する能力をみがく ②良いときの岡崎功 ③パターの大きき ④スピース	
	<b>植松健</b> (S52卒) 飛ばし ★★★★★ スタミナ ★★★★★ 早いプレー ★★★★★		<b>田辺浩子</b> (S54卒) 飛ばし ★★☆☆☆ スタミナ ★★★★★ 早いプレー ★★★★★
①平均スコア90 ②自分 ③Greenまわりのアプローチ ④藤田寛之	<b>ドラゴン賞</b>	①安定したスコア。東京玉翠会ゴルフにたくさん参加すること ③睡眠不足 ④特にいません～	<b>個人優勝</b>

	<b>松島孝信</b> (S43卒) 飛ばし ★★★☆☆ トーク ★★★★★ 早いプレー ★★★★★
①50ラウンド ②西村公佑選手 ③優しさ ④恵比須忠選手	<b>個人準優勝</b>
	<b>大西賢二</b> (S46卒) 小技 ★★★★★ 慎重さ ★★★★★ スタミナ ★★☆☆☆
①64歳にして飛距離(少し)アップ! ②自分に負けない ③体が硬い→腰が回らない→ドライバーの飛距離が足りない ④プロなど恐れ多くて…	<b>ドラタン賞</b>

	<b>和田邦子</b> (S50卒) 小技 ★★★★★ 人見知りしない ★★★★★ スタミナ ★★★★★
①エージシュート ②K姉 ③プレッシャーに弱い ④K姉	

	<b>林哲也</b> (S52卒) 飛ばし ★★★★★ 慎重さ ★★☆☆☆ 早いプレー ★★☆☆☆
①常に100切り。楽しんでゴルフをする。②横山一郎君には負けたくない③寄せ、パターが下手～ ④ジャンボ尾崎	

	<b>池内久徳</b> (S56卒) トーク ★★★★★ 左打ち ★★★★★ 早いプレー ★★☆☆☆
①80切り! ②同期の大西聡です ③プッシュアウト! 気分屋 ④フィル・ミケルソン(サウスポーだから)	

	<b>西口 敦</b> (S62卒) 慎重さ ★★☆☆☆ スタミナ ★★☆☆☆ 早いプレー ★★★★★
<b>ドラゴン賞</b> ①年10ラウンド以上 ②いやいやそんな…。おこがましいです。 ③弱点だらけ ④松島孝信選手	

	<b>諏訪満士</b> (S63卒) トーク ★★☆☆☆ スタミナ ★★★★★ 早いプレー ★★★★★
①目指せ70台 ②ライバルは…言えません! ③プレーが早すぎる ④ルーク・ドナルド	<b>ニアピン賞</b>

	<b>西村公佑</b> (S63卒) 飛ばし ★★☆☆☆ トーク ★★☆☆☆ 早いプレー ★★★★★
①90を切る ②松島選手 ③大きく乱れる ④松島選手	

毎月九日 お肉でも食しながら、俳句を二句ほどひねろうか

# 玉翠俳句王

## にくの会・誌上句会

先生の句

国の忌をいくつ増やして百日紅  
松葉菊手紙のこない家であり  
風鈴は海の中まで揺れている

●S47卒 対馬康子

我らが対馬先生が、永年の俳句活動・国内外の俳句振興への貢献により文部科学大臣表彰を受けられるという嬉しいニュースがありました\(^o^)/

夢さそう喜寿を迎えて初高座  
雛の町シャイな乙女の背は光  
那谷の里翁忌重ね落のとう

●井上榮々峰(S33卒)

雪柳枝垂れて白き滝となり  
光降るこぶし咲く丘淋しいな  
生垣は花と見紛ふ赤茅柏

●大西千女

白蝶の迷い込みしや屋島城<sup>やしまのき</sup>  
古き友賀状で交わす会話かな  
掃初や積ん読多き古紙を出し

●頼則紗頼(S34卒)

折りづるの直線伸びて去年今年  
桔梗の五裂の色の深さかな  
寒日和富士は翼を休めたり

●岡崎洋々(S37卒)

踊り果て鳴門の海に月さやか  
雪女郎自動改札とほりぬけ  
懐手一言居士を通しけり

●田阪千十(S38卒)

とんぼうに空がぐるぐる回りけり  
曲がりくねつたこの道に福寿草  
カオスとノモスの波が寄せくる春の海  
●佐々木松翠(S47卒)

秋深しとつくり寝てる旅の宿  
しやぼん玉麦わら帽子あとを追い  
遠き日に吹いても帰らずしやぼん玉  
●土居六条(S47卒)

普段着の父の手を引く初詣  
菜の花や女もてなすちらし寿司  
病室の窓のまぶしき鳥渡る  
●原久美子(S47卒)

乾坤<sup>あひ</sup>の間に寒蛸干されけり  
海境<sup>うななか</sup>に己が影落とし青鷹<sup>もろがへり</sup>  
母のまゆ授かりし見よ土筆萌ゆ  
●豊澤壊殻(S50卒)

冬怒涛茶筒の中に入りきらず  
大陸の動きしむかし粥柱  
菜の花やをとこばかりが蒸発し  
●坂田光義(S50卒)

月光はへいのうちそとかはりなく  
生き死にも緩慢なるやインド暑期  
ぼうたんや美少女もいる雑技団  
●和田芝女(S50卒)

澄みきつたアクアマリンや秋の空  
父の手に導かれつつ初稽古  
セーターの毛玉も愛し君が腕  
●白川夕帆(S52卒)

満州に降りたつおとこ冬帽子  
炎昼のバンコク空港あぶら汗  
小春日やあなたの夢をみたような  
●中山髭丸(S50卒)

秋場所や行司装束出雲の印  
冬董しゆはきませりと歌ひけり  
腕に鷹日の出待つ人ありにけり  
●松田欣女(S52卒)

雲の峰髪濡れしまま起立・礼  
墨の香の喜寿の手習ひ冬麗  
わが胸に人魂ひとつ春の夜  
●長尾らいむ(S53卒)

さるすべりゆれてみどりごねむる風  
夏座敷猫は乙女の夢を見る  
わかさぎも張りあいなかる温い冬  
●市川ねこむすめ(H06卒)

連絡先 岡崎洋 (S37卒) okazaki@tokeilaw.com 坂田晃一 (S50卒) midories@cocoa.plala.or.jp

松田欣末子 (S52卒) matsudakimiko@gmail.com 和田邦子 (S50卒) wadakuni@ae.auone-net.jp

[テーマ] つなぐ、こえる、我が母校。

くつろぎながら、のんびり楽しむ  
**漂流連歌会**

俳句を愉しむにくの会（「玉翠俳句王～にくの会・誌上句会」欄参照）のメンバーのうち、連歌の魅力に目覚めた者たちが平成25年秋に旗揚げした「漂流連歌会」。昨年の第33回東京玉翠会の同好会通信欄では、秋発句の

歌仙を巻くことと変幻自在の半歌仙を巻くことを目標として掲げていましたが、諸般の事情により後者の目標は未達成で、今後の宿題となりました。

昨年9月の第5回興行では、半日かけて歌仙（36句）を巻きました。今回の連歌で詠まれた場面・人物や時代の転変を拾ってみると、有名人では、藤原道長、西行法師や松尾芭蕉、果ては姐己（九尾の狐の化身）やらメルヘンの主人公まで登場し、時代は、現代から江戸時代、平安時代、さらに約三千年前の中国古代まで自在に往き来し、連歌の華ともいべき恋句では、淡い初恋から激しく燃える恋、しみじみとした恋、男色の恋まで様々な恋模様

第5回興行

**歌仙連歌 ガード下の巻**

平成27年9月20日（日）  
 於 響&點（イトシアプラザ）  
 アルバータ（有楽町電気ビル）

(初折の表)	発句	ガード下風流るるや秋彼岸	欣 女	秋
	脇句	サラリーマンの酌み交ふ新酒	峻 坊	秋
	第三	月光に甍の波の洗はれて	芝 女	秋
	四句	跡逐つてゆく猫の足音	壊 殻	雑
	五句	西行のたどる山道春の雪	光 義	春
	六句	千曲の土手にたんぽぽを摘む	六 条	春
(初折の裏)	折立	(初裏の裏移り)		
	初句	水温む河童哀しき夢を食み	らいむ	春
	二句	親指姫は知らんぷりする	欣 女	雑
	三句	壊殻に届いた手紙誘蛾灯	峻 坊	夏
	四句	いそいそと行く小唄の座敷	芝 女	雑
	五句	撥を持つ手に手を重ね冬の菊	壊 殻	冬
	六句	熱き吐息の耳にかかりて	光 義	雑
	七句	朝ぼらけ我が身の裡の望の月	六 条	秋
	八句	おはぎを伴に政治論ずる	らいむ	秋
	九句	知らぬ国ばかりのテレビ鰯雲	欣 女	秋
	十句	どこに勝てるかグループリーグ	峻 坊	雑
	十一句	大騒ぎ花のお江戸の競技場	芝 女	春
	十二句	脚高く上げ乙女舞ふ春	壊 殻	春

が出現しています。「歌仙は三十六歩なり。一步もあとに帰る心なし。」(松尾芭蕉)の境地にはまだまだ遠いですが、それなりにダイナミックな展開になっていると思いませんか。(←自画自賛, 失礼いたしました。m(\_ \_)m)

「漂流連歌会」では、独自の「膝送り・廻り宗匠+衆議判」システムに則り、参加者(連衆)の共同作業で会を運営しています。このシステムでは、連衆が順番に出句していきます(膝送り)が、特定の宗匠を決めず、出句の番になった人が宗匠役となり(廻り宗匠)、自分一人で作句するもよし、他の連衆のお知恵を拝借して作句するもよしとして、他の連衆もこれに対し自由にコメントしたり代案を

出したりしながら(衆議判)、進めていきます。自分の番が終わると、1時間くらいは、他の連衆の作句の苦労を肴にお酒でも吞んで寛ぎながら、あれこれツッコミを入れたりしてノンビリ楽しむことができます。

座の文芸、即興の文芸といわれる連歌の面白さは、連衆によるコラボレーションの場である連歌会を体験して初めて実感できるものです。とはいえ、なかなかハードルが高いというのが実際のところかもしれません。漂流連歌会では、上記のとおり和気藹々とした雰囲気の中で会を進めており、連歌は初めてでどうしたらいいのかわからないという方でも気軽に参加していただけます。

(名残の表) 折立

初句	山笑ふ頭のねじをゆるめては	光 義	春
二句	虹の根つこを追ひかけてゆく	六 条	夏
三句	子の刻に待ち合わせする理由 <sup>わけ</sup> のあり	らいむ	雑
四句	私はいつも大物狙い	欣 女	雑
五句	大変だあとひと月でクリスマス	峻 坊	冬
六句	寝言でねだるハートの指輪	芝 女	雑
七句	亡妻の箆 <sup>へら</sup> のこやし質 <sup>かんばんせ</sup> に入れ	壊 殻	雑
八句	今なほ著き君の顔	光 義	雑
九句	鶉鳴く里に幾度通ひけり	六 条	秋
十句	獲物なければ松茸 <sup>まつたけ</sup> を買ひ	らいむ	秋
十一句	ひさかたの酒池肉林の良夜かな	欣 女	秋
十二句	人をたばかる九尾の狐	峻 坊	冬

(名残の裏) 折立

	(名残の裏移り)		
初句	時雨るるや殺生石を訪ねたる	芝 女	冬
二句	翁に添ひて奥の細道	壊 殻	雑
三句	逃げ水を追うやう生きて若き日は	光 義	春
四句	燕来たりて初恋 <sup>うた</sup> の詩	六 条	春
五句	花吹雪息できぬほど抱かれて	らいむ	春
六句	共に生きなむ讃岐の春よ	欣 女	春

句上 欣女(6) 六条(5) 芝女(5) 光義(5)  
壊殻(5) 峻坊(5) らいむ(5)

# カラオケ倶楽部

< 発足の議 >

生命力、生きる喜び、祈り、慈悲、感謝の心、歌は、それらの全てを表現できる。

心と心をつなぐ力がある。(「名字の言」より引用)

2016年3月5日、平成4年卒幹事団による第1回学年幹事会がスタートした夜、「カラオケ同好会」が産声をあげました。満を持しての誕生、「何で今までなかったのか不思議なくらい」との声の元、若輩(言っているのか!?)ではございますが、私、昭和60年卒 佐藤美智子 部長として、東京玉翠会の皆様に歌で「つなぐ」お手伝いをさせていただき所存です。

のどに覚えのある方も、ない方も、皆様で楽しく歌う場としていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

部長	佐藤美智子 (昭和60年卒)
副部長	池田 仁司 (昭和61年卒)
副部長	三好 克浩 (平成 2年卒)
名誉顧問	淵崎 正弘 (昭和50年卒)
顧問	白川 真理 (昭和52年卒)

今後、不定期で開催予定です。  
新しい出会いの場になれば幸いです。  
どうぞよろしくお願いたします。

連絡先 部長 佐藤美智子 (S60卒) chimiy071371@gmail.com



ふくの会は河豚で福を呼ぶ会・・・  
美味しい河豚とヒレ酒で楽しく語らう会ですが  
去年のふくの会は、少し羽目を外して  
河豚ではなく、ちゃんこで「ふくの会」を  
やってしまった！  
玉翠の仲間が集まればいつだって何処でだって  
楽しい会になります。  
今年のいいふく(11・29)の日も、  
ご一緒に幸福を味わいましょう！

連絡先 ふく係 長尾みどり (S53卒)  
jade@zb3.so-net.ne.jp

## 下町探検部

好奇心旺盛なるわれらさぬき玉翠人。  
縁あって住むこの花のお江戸の奥深さを  
追求せずにはいられない！



### 【最近の主な活動】

- 月島探検・・・スペインバル・オイスターバー・らーめん・焼肉をハシゴ(^^)
- 築地探検・・・魚居酒屋・立ち食い鮎・路上居酒屋をハシゴ(^^)
- 銀座探検・・・ワイン酒屋で角打ち・立ち食いステーキ・その後の記憶なし(>\_<)

時折、というより往々にして、部員全員の記憶が失われるという事態に見舞われるも・・・  
大いに笑って笑って英気を養う活動継続中

連絡先 マネージャー 長尾みどり (S53卒) jade@zb3.so-net.ne.jp



# インターネット研究会

www.gyokusui.com

インターネット研究会では、東京玉翠会ホームページの管理をしています。また、東京玉翠会ブログで、最新の東京玉翠会の活動報告をしています。なお、インターネット研究会の会員は現在3名で、会員募集中です。

以下、東京玉翠会ホームページの内容をご紹介します。ホームページのコーナーの「高上の歴史あれこれ」から、「朝日輝く（校友会の歌）のメロディーは2つある？」を取り上げてみます。

上の楽譜は現在の東京玉翠会総会プログラムに掲載されている楽譜であり、下の楽譜は総会第5回から第7回プログラムに掲載されていたものです。

の ひ か り わ が ま な ひ や に み ち み ち て い  
そ し む け ん じ い っ せ ん よ せ  
わ が ま な ひ や に み ち み ち て い そ し む け ん じ  
い っ せ ん よ

細かい違いはいろいろあるのですが、はっきり違っているのは「みちみちて」と「いそしむ健児」のところですか。

上の楽譜では「みちみちて」の最初の「みち」がミレと下がっていくのに対し、下ではミファと上がっています。

また、「いそしむ健児」では、上は「いそしむ」となっているのに対し、下では「いそしむ」となっています。

演奏しないとわかりにくいかも知れませんが、東京玉翠会総会では、ブラバンは上の楽譜を演奏しています。しかし、かなりの人が下の楽譜の「いそしむ」と歌っているようです。また、私の高上時代（昭和47年頃）に演奏されていたのは下の楽譜だった記憶です。

では、どちらが本来の曲なのでしょう。東京玉翠会第12回総会プログラムで、菊村紀彦氏が「合唱曲を作る時、音楽の荒井三郎先生が、この音を変えようと言って伴奏など変えたりしたらしい。」と述べられていますから、歌いやすいように少し変えたのが下の楽譜なのかもしれません。

ただ、菊村氏によると「楽譜はおそらく焼けたでしょう。」とのことですので、どちらが原曲だったかは現時点では不明です。

## 連絡先

土居範行 (S47年卒) doi@ab.mbn.or.jp  
吉野ユリ子 (H3年卒) yurico\_y@gb3.so-net.ne.jp  
佐治珠実 (H3年卒) tama@falconblue.net

# 高高法曹会

高高法曹会は、昨年ご逝去された大西昭一郎先輩 (S33年卒) が、「玉翠会の中に職業別団体があればいいのではないか」という発案でつ

くられた会です。

毎年、親睦のために、年末に忘年会を開き、情報交換などを行っています。

ただ、去年は幹事の怠慢で開くことができませんでした。今年はきちんと開催しますので、よろしく願いいたします。

## 連絡先

幹事 土居範行 (S47年卒) doi@ab.mbn.or.jp

# 大江戸散歩隊

## 1 大江戸散歩隊

「大江戸散歩隊」は、同窓生やその家族と一緒に、江戸の町を讃岐弁でしゃべりながら、ぶらりと散歩しようという会です。

これまで、品川宿散歩・屋形船の花見、根津神社と谷中散歩、亀戸天神の藤見物、江戸城の花見、上野でビールを飲んだ後の浅草ほおずき市散歩、ホテルでの美術観賞後の愛宕山散歩などをしてきました。

## 2 今春の花見

今年も江戸城の花見散歩をしました。

平成28年4月3日（日）の昼下り、江戸城大手門に木村花見隊隊長以下15名の散歩隊員が登城して、同心番所、百人番所、更に今年は、大番所を抜けて、江戸城の見事な城壁に懸かる満開の桜を見て、本丸跡の大芝生に出て記念撮影（↓）。



満開の花と満面の笑みの隊員

二ノ丸庭園では、昨年満開であった枝垂れ桜は未だ2分咲き程でしたが、染井吉野の花は見事に満開でした。

天守台から、北桔梗門を出て、北の丸公園の

茶店で、ようやく全員3時間の散歩の後の休憩、さくら煎餅をボリボリと食べて一息つきました。

休憩後は、田安門から絶景の九段・千鳥ヶ淵の満開の花を堪能しました。

桜見物を終えて、神田神保町の「ろしあ亭」でロシア料理の大宴会となり、いつもの大江戸散歩隊となりました。

満開の花と盛大なる宴の春の花見散歩、今年も、木村隊長以下15名（宴会16名）で、このように盛大に行われました。

## 3 セレブ散歩（浜離宮・浅草灯籠流し）

井上先輩からホテルオークラ「美の宴」展の招待券を載いて美術鑑賞をし、その後、まるでセレブになった気分での散歩シリーズ、昨夏の8月15日（土）に、美術観賞後、「浜離宮散策」から、水上バスで隅田川遊覧、「浅草とうろう流し」のコースで実施しました。

夏の真っ盛り、暑さを覚悟しておりましたが、いい風も吹き、なかなかのお散歩になりました。



セレブ(?)の散歩隊員

浅草は、外人さんも多く、非常な賑わいでしたが、浅草名物の「入山せんべい」・亀十の「黒糖銘菓松風」なども買い込み、隅田川吾妻橋たもとのアサヒビール本社ビル21階日本料理店「もちづき」で、夕景を存分に楽しみ、夕闇迫

頃、眼下の「とうろう流し」を眺めることができました。初めて、とうろう流しを見ましたが、なかなかの風情で、来年は、もっと大勢でいけるといいですね。……（報告・土田）

#### 4 人形町散策

平成28年4月2日（土）、東京玉翠会の幹事会の後、神崎隊長以下13名の隊員で、両国タダノビルから、スカイツリーを見ながら出発し、両国の江戸東京博物館横の満開の桜通りを歩き、両国橋近くの回向院に。

鼠小僧次郎吉の墓石を削って財布に入れればお金が貯まるという伝承から、寺では石を設置しており、お金を貯めようと考えた隊員、必死に削りますが、石を石で削るので、いくら削っても粉しか取れず、やっぱり大金は、たまらんと諦めました。

両国橋詰の忠臣蔵の大高源吾の句碑を見て、両国橋を渡り隅田川沿いの桜を見つつ、浜町公園に。公園では、折しも満開の花に、花見客が宴たけなわでした。



浜町公園にて

浜町公園から、江戸時代は掘割の浜町川が流れていた元河岸を散歩。この浜町河岸は、明治一代女のかの「♪ 浮いた浮いたと♪浜町河岸に浮かれ柳の恥かしや♪」なんて唄の場所ですが、こんな唄は若い人には馴染みが、ないやらなあ……とぼやく隊員も。

その浜町河岸も、今では埋め立てられて細長

い公園（浜町緑道）になっており、その緑道には桜が満開でした。

緑道の外れ付近には、隊長の詳しい、怪しげな飲み屋の多い露地があり、都心にこんなところがあるんやなあと感心しながらの露地探検もして、人形町に向かいました。

人形町は、江戸時代に歌舞伎等の芝居小屋、人形浄瑠璃、見せ物小屋などで賑わい、人形作家や人形師なども多く住んでいたことから人形町と呼ばれたとか。

また、吉原が明暦の大火で浅草に移転するまでは遊廓（元吉原）があり、歌舞伎の切られのよさ（与三郎）の「しがねえ恋の情けの仇」「お富、ひさしぶりだなあー」でお馴染みの玄治店（げんやだな）もあつたりしたところで、そんな面影が残る料亭等もあり、芳町芸者の置屋、三味線屋、人形焼の店、とうふ屋さんなどをキョロキョロと冷やかしながらの人形町散歩でした。

人形町界隈を1時間程散歩した後は、人形町の露地にある芳味亭へ。ここは、横浜のホテルで洋食の修行をした先代が昭和8年に開業した老舗で、タンシチューなどを楽しみながらの会食でした。

食事中には、写真嫌いの神崎隊長が初の自撮りの挑戦をしたり、simフリーの会話に、えっ、下フリーって下半身が自由？ などの会話も飛び交い大笑いが絶えない宴でした。

#### 5 散歩隊参加希望の方へ

こんな散歩隊の活動状況ですが、皆さんも散歩隊のメイリングリストに登録して、ご一緒に、讃岐弁で大笑いしつつ、大江戸散歩を楽しみませんか。

##### 連絡先

長尾みどり（S53年卒） jade@zb3.so-net.ne.jp  
外丸香代（S56年卒） kayos@mud.biglobe.ne.jp  
池内久徳（S56年卒） kyu-kyu.ike@softbank.jp  
原木俊哉（S60年卒） toshiya.haraki@gmail.com  
岡崎 洋（S37年卒） okazaki@tokeilaw.com

# 高高神田会

<東京玉翠会幹事会ニュース>

「神田会はウソ（みたいに凄い）、アホ（のように素晴らしい）、バカ（に面白い）」と発言

総会幹事会場で神田会のことを「嘘みたいに凄い、アホのように素晴らしい、バカに面白い」などと公然と賞賛するという異例の出来事が起きた。W会長やM副会長からは「良識の範囲内」で発言するように再三にわたって注意を受けたが意に介さなかった。

「本題」の総会に関する発言はほとんど行わず、大半を神田会の賞賛に費やすという異常事態だ。この人物、過去自らを「ただのほっこまい」だと表現するほどで、まったく批判を意に介していない様子だ。

「アホはダメなんですか？ 常任理事会で検討を！」

発言の主は、昭和5×年卒のK幹事（57歳）。平成28年4月×日に行われた総会幹事会で、冒頭から自身がかかわる高高神田会について持ち上げた。

「だいたいね、高高神田会はアホみたい素晴らしいと思いますね、ほんとに。あのね、アホです、アホ。あのね、アホはダメ？……じゃあ、ウソのようにと言ったらいいんですか？」  
「ウソはいいんですか？ ウソは。アホはダメなんですか？ 会長、これ、常任理事会で検討してくださいよ」

W会長は苦々しい表情で、「学年の代表として幹事の名にふさわしい良識の範囲内で適切な表現に十分配慮してご発言いただきたい」

などと繰り返し注意したが、「火に油」状態だった。

「こんな会は、本当に東京玉翠会の誇りですよ」

勢いは止まらず、

「こんな会は本当にね、もう、玉翠会の、もう本当に何と言うのかな、もう、本当に誇りですよ。ウソみたい、アホのよう、バカ楽しい、もう、どうしようもない会です」。「東京玉翠会はムチャクチャに良くなりますよ、あえて言えば玉翠会員もムチャクチャ幸せになりますよ。実際にこの何年かでムチャクチャ良くなったでしょう？ 甲子園には出場できたし、1,200人を超えて総会も日本一になったし。それを私は皆さんに分かるように言ってるんです。それだけです」などと独自の主張を展開した。

「本題」の総会に関する質疑に移っても、引き続き「アホ」という単語が登場した。

「高高の子はね、こんなことやりたくてしょうがないですよ。風流で優雅で教養に満ち溢れて。ところが地元を離れての厳しい東京暮らしではなかなか自分自身ではできないんですよ。周りが東京もんやからね。讃岐弁を思い出す機会もない、しょうゆうどんを食べる場所も少ない、餡餅雑煮などは気色悪いといわれる。ほっこまいともいえないですよ！ ねえ、アホみたい、ほんまにアホみたいでしょ！」とまくし立てた。

---

以下真面目に今後の神田会の予定です。

東慶寺コンサートの日取りは決定！ 餡餅雑煮会の日取りは予定です。

2016年11月5日（土） 16時くらいから

東慶寺コンサート（JR北鎌倉駅そば）

ゲスト未定です。レギュラー：藤原清登さん（bs）と白川真理さん（fl）はいつもどおり  
特別ゲストは東慶寺の秋の虫たちと可憐な草花たち

2017年1月28日（土）？ 12時くらいから

この日が旧暦1月1日なので餡餅雑煮会

会場はせとうち旬彩館がいいな 実は日取り

も場所も予定だったりして…

2017年11月4日(土) 16時くらいから

東慶寺コンサート (JR北鎌倉駅そば)

ゲスト 蠣崎耕三さん (ob) なんと読売日本交響楽団のオーボエ首席!

レギュラー陣 (藤原清登さんと白川真理さん)

2018年2月17日(土)? 12時くらいから

旧暦1月2日につきおそらくこの日館餅雑煮会  
会場はせとうち旬彩館にしたいな… 再来年のことゆえ鬼が笑うけど

連絡先

岡崎 洋 (S37年卒) okazaki@tokeilaw.com

長尾みどり (S53年卒) jade@zb3.so-net.ne.jp

神崎 俊 (S52年卒) t-kanzaki@pearlace.co.jp



## アールコール・アンリミテッド

いちおう「合唱団」です

アールコールの団名に恥じぬよう、練習後は毎回「規則正しく」酒を飲んでいます。発足当時は高高合唱部のOB・OG中心の集まりでしたが、現在は新しいメンバーも加入しオープンに活動をしています。合宿と称して泊りがけで飲

[テーマ] つなく、こえる、我が母校。

みに行ったり、有志でゴルフをしたりと大いに楽しんでます。飲み会、もとい、練習は月1回。非常にユル〜い活動姿勢なのでどなたでも気軽にご参加いただけます。ぜひ、いっしょに飲みま…もとい、唄いましょう!

連絡先

指揮者 廣瀬壮一 [ベース] (S51年卒)  
shirose@ww.catv-yokohama.ne.jp

連絡窓口 坂本桂一 [テナー] (S56年卒)  
saka@gendaishorin.co.jp

# 東京TBB

(高高吹奏楽部OB会関東支部)

昨年(平成27年)の参加者(敬称略 代パート)

前列11名 佐々木05Fl、三好32Tp、下野MrsTp、白川19Fl、村上47Ob、村尾33Tp、頼則01Tp、内山33Tp、和田16Fl、上田23Cl、安部21Tp 後列17名 建本32Fl、井上31Pr、平井25Tb、高嶋31Eu、宇川44Pr、加藤47Tb、下野32Tb、中川12Tb、坂東19Tu、岡崎31Fl、長尾28Tb、佐藤37Tu、亀井35Tp、桂島26Hr、松原30Tb、香西55Pr、樋谷55Pr



昨年は我が東京玉翠会も遂に1,200名超えを達成でき、その場内発表(1,252名)時には、我々もファンファーレを高らかに奏でることができました。当初はトランペット等の数人で演奏する予定でしたが、いざ始まる頃にはすっかり盛り上がり全員が舞台にあがって演奏することになりました。お陰で迫力あるファンファーレだったと自賛していますし、皆で喜びを分かち合えたことを感謝しております。

今回の上田さんも当初からの常連ですが、仕事の合間、足利市民吹奏楽団にも参画して音楽活動を続けておられます。

## 高高吹奏楽部OB会と私

S56年卒 上田昌伸(23代Cl)

今年も東京TBBにとって一番大切な行事がやってきました。校歌応援歌の生演奏です。昨年は5代(S38年卒)から55代(H25年卒)の28名が演奏に参加しましたが、今年はこれを上回るメンバーで演奏を盛り上げたいと思います。

私が東京玉翠会に参加するようになったのは群馬県に転勤になった時に、「楽器を持って参加するように」というTBBのOB会からの連絡がきっかけでした。校歌・応援歌はあたり前のように覚えていて現役時代の希望に溢れていた

時代を思い出させてくれるので、一度参加すると癖になりやめられなくなってしまいます。その後、東京玉翠会では幹事学年を経験し、同期の交流も広がり、毎年参加しています。演奏を更に盛り上げるために、一緒に演奏していただける方を募集しています。

OB会では現役生の支援も行っていて、今年3月26日には現役生・OB会の共同主催で創部60周年第41回定期演奏会が香川県民ホール(アルファあなぶきホール)で行われました。OB会では運営のサポートと共に現役と一緒にステージに上がり演奏会を盛り上げました。今年は14代(S47年卒)から58代(H28年卒)までの42名が参加されました。私も現役生と一緒に演奏しました。演奏会後のOB総会では約50名の参加で楽しい時間を過ごすことができました。

次回の第42回定期演奏会は2017年3月25日(土)18時から香川県民ホール(レクザムホール:名称が変わります)で開催されます。演奏会後のOB総会と来年度は前夜祭の開催が予定されているようです。大勢の方のご来場をお待ちしております。

### 連絡先

会長 頼則 絢太 (S34年卒) call001@blue.ocn.ne.jp  
事務局 坂東 和美 (S52年卒) k.bando@net.email.ne.jp

# 菊池寛杯争奪 麻雀愛好会

菊池寛は、言わずと知れた母校の大先輩ですが、文豪として数々の名作を残すと共に、大正12年、文芸春秋社を創設、昭和10年には芥川賞・直木賞を設立するなど、多くの偉業を成し遂げる一方、競馬、麻雀等、大のギャンブル好きでもあったといえます。

大正時代、麻雀は大陸から持ち帰られて間もなく、黎明期でした。大正12年の震災後、牛込神楽坂に「カフェー・プランタン」が開店し、麻雀牌が持ち込まれて文化人たちが麻雀に興じるようになりました。菊池寛もここで麻雀を学び、大正14年には麻雀シーンを取り込んだ小説「第二の接吻」を朝日新聞に連載したそうです。



昭和に入って麻雀が普及し始める中、菊池寛は、昭和4年に設立された「日本麻雀連盟」の初代総裁に就任、さらに「麻雀春秋」という麻雀専門誌を文芸春秋社から発行するなど、昭和初期に興った麻雀ブームの推進者となりました。

「菊池寛杯争奪麻雀愛好会」は、このような母校の大先輩にあやかり、皆で、この知的ゲームを楽しみつつ、親睦を深めましょうとの思いから発足しました。毎年2回、原則、2月と8月の第一土曜日に開催していますが、早いもので、次回8月の大会で、第20回目となります。大会には、学生さんから大先輩まで、総勢30～40名の皆さまにお集まり頂き、懇親会も含めて楽しんでおります。初心者の方へには、いつも大会2週間前に練習会も開催して、必要に応じて基本ルールから紹介しています。

老若男女、初心者からベテラン勢まで、ハンデ無しでどなたにでも楽しんで頂けるのが麻雀の良さです。参加ご希望の方は、幹事までご連絡下さい。

## 連絡先

神崎 俊 (S52年卒)

土田 充 (S53年卒)

庄村敦子 (S54年卒)

鳥居研志 (S57年卒)

## 第20回菊池寛杯争奪麻雀大会

- ◆日時 2016年8月6日(土) 13:00-17:30 (現地集合:12:50、大会終了後懇親会)
- ◆場所 「麻雀クラブ 柳 銀座本店」(中央区銀座1-14-11 銀松ビル2F)  
最寄駅 有楽町線銀座一丁目駅10番出口 HP: <http://www.mj-yanagi.com/store.html>
- ◆参加費 4000円(半荘4回の場代、賞品代含む。飲食は自己負担。懇親会会費は別)
- ◆申込締切 2016年7月22日(金)

### 【練習会】

- ◆日時 2016年7月23日(土) 13:00- (未定) (適宜、ご来場下さい)
- ◆場所 「麻雀クラブ 柳 銀座三丁目店」(中央区銀座3-9-18 東銀座ビルB1F)  
最寄駅 銀座線銀座駅A13番出口
- ◆申込締切 無し(なるべく事前に幹事まで連絡をお願いします)

# 平成会

## 活動報告

### 「若手の会？平成会へのお誘い」

みなさん「平成会」をご存知ですか？

かつて「平成会」とは平成元年卒の齊藤先輩を中心に当時それなりに若かった平成以降卒業の学年幹事が、“数年後、自らが代表として迎える総会への不安をみんなに口にする”。そんな飲み会の俗称でした。

ですから、平成会バーベキューなど、会の名前から想像しがちな楽しい活動記録はありません。（探してませんが）

時は経ち、平成2年卒の私には総会への不安は過去のものとなり、当時の若手達も今やオジサン・お姉さまです。最近は平成会もすっかり雰囲気を変え、若い世代に総会をPRする飲み会の場としてしばしば「平成会」の名が登場しますが、あいかわらず「平成会」＝「若手の会」であることに変わりはありません。

いずれにしろ平成会の中心メンバーもどんどん若返り、この良き相談システムが続いていけば…。

と、いろいろ書きましたが、所詮ただの飲み会です。少し心を入れ替え、来年は平成会の紙面でまともな活動が報告できるよう、勝手ながら16年度の活動提案をしたいと思います。

### 「平成会プロジェクト」

#### 1) 目的

若い世代を中心にタカコウを卒業した人にしか味わえない、世代を超えた遊びの場を提供し、普段得ることのできない人脈・経験等を得ることを目的とする。

あわよくば、玉翠会活動に積極的に参加し

てくれそうな人を仲間に引き入れる。

#### 2) 活動内容

飲み会、BBQ、ゴルフ、旅行、芸術・スポーツ鑑賞等々、企画はいろいろ検討。

#### 3) 開催時期

不定期：思いついたときに学年幹事経由またはエントリー頂いた方にご案内いたします。

結局、飲み会をはじめとした遊びの会ですが、ゆる〜い感じでどなたでも参加頂ける遊びの場が提案出来たらいいな〜と思ってます。

興味のある方はエントリーお待ちしております。



第1回発起大会(若手交流会に便乗開催。) 5月14日、新橋ですけにて



楽しいバーベキュー (イメージ)

#### 連絡先

三好克浩 (H2年卒)

ka.miyoshi@hino.co.jp

## 玉翠会からの図書館への寄付金について

H27年度、東京玉翠会より寄付金150,000円をいただき、下記の図書を購入いたしました。

『人と思想』 未購入分42冊	42,000円
『ヴァレリー集成 全6巻』	42,800円

残金につきましては、次年度に繰越し、情報メディアに関連する資料等の購入を検討中です。

### 玉翠関係寄贈図書

宮武 正明氏 (昭38年卒)	『絆を伝えるソーシャルワーク入門 —社会福祉・児童家庭福祉・相談援助のサブテキスト』	1部
木谷 勤氏 (昭20年卒)	『讃岐の一豪農の三百年 —木谷家と村・藩・国の歴史—』	1部
下野 剛氏 (平2年卒)	『高校野球100年史』	1部
真部 満知子氏 (昭38年卒)	『詩集 水辺の寓話』	2部
多田 満氏 (昭53年卒)	『レイチェル・カーソンはこう考えた』	1部
丸山 茂樹氏 (昭41年卒)	『柳宗悦・河井寛次郎・濱田庄司の民芸なくらし』	1部
十河 博子氏 (昭29年卒)	『お城のおばあちゃん こころの絵手紙』	1部
田中 美智子氏 (昭33年卒)	『白峯 歌集』	1部
脇 明子氏 (昭41年卒)	『北風のうしろの国 上・下』	1部
村上 秀記氏 (昭58年卒)	『金融実務講座 マルチンゲールアプローチ入門 デリバティブ価格理論の基礎とその実際』	1部

ありがとうございました。

高松高校図書館



# 関西玉翠会

関西玉翠会会長  
**樋口 順一**  
(昭和34年卒)



東京玉翠会第34回総会の開催を心からお慶び申し上げます。

平素は、関西玉翠会の活動に対し何かと温かいご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年の関西玉翠会総会は10月22日（土）に「ホテルグランヴィア大阪」にて開催の予定です。総会担当は昭和60年卒の50歳になる同期生が年度幹事として総会を企画運営しています。

総会のテーマは、ふるさと香川そして母校への想いを込めて、「故郷（ふるさと）へ架ける橋 ～あのころにおいでまい～」を設定しています。

青春を過ごした母校でのこと、ふるさとのこと、同窓会で語られる思い出話は尽きません。思い出とは、単に記憶にあるのではなく心に残っているものです。心と身体を育ててくれた故郷への思いはまた特別です。関西玉翠会の集いの場が、関西とふるさとを結ぶ架け橋となることを願ってのテーマです。

総会は、母校をはじめ多くの方のご協力により運営されています。大阪香川県人会にもお世話になっています。同会は、明治30年創立の伝統を誇る県人会で、そこに関西香川県高等学校同窓会連絡協議会があります。

平成28年2月現在24校が入会しています。2016年、「第9号大阪香川県人会誌」の高校同窓会通信のページには、大手前高等学校とともに高松高等学校関西玉翠会の記事が掲載されています。

集いの場では、私たちは人と人のつながりの中で生きていることを教えてくれます。そのつながりは現在だけではなく、将来に向かって後の世代の人達に望みを託そうとする働きを持っていることにも気づきます。

高松の玉翠会本部を中心として、各地域の玉翠会の活動が毎年活発に行われていることは、母校の伝統とふるさと香川の風を未来に向かって送り続けていると言えます。関西玉翠会も皆様のお力添えをいただきながら、関西ならではの活動に努力してまいりたいと思っています。

終わりにになりましたが、東京玉翠会の益々のご隆盛と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



# 東海玉翠会

東海玉翠会会長  
入倉憲二  
(昭和44年卒)



東京玉翠会第34回総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

貴会のような「日本一の同窓会」を企画・運営される総会幹事を始め、関係者の皆様のご尽力に大変敬服しております。

東海玉翠会は、2016年5月21日（土）に名鉄グランドホテルにて第10回総会を開催しました。今回は会員の参加が31名と節目の回にしては少し残念な状況でしたが、初めての学生参加もあり、いつもの通り和気あいあいとした会になりました。

ご来賓として、溝渕校長、榎田玉翠会会長ならびに関西・徳島各玉翠会の役員にご出席いただき、母校や本部、各支部の近況について興味あるお話をいただきました。特に、玉翠会本部に関しては、各支部と同様に、高松でも定期的に同窓会を開催する計画を進めておられると伺い、機会があれば参加させていただきたいと思っております。

今回は節目の第10回ということで、全回参加された7名の会員に皆勤賞の表彰状をお渡しするというサプライズ企画もありました。また、初めて会報を制作し、初代会長の木下様からの会にまつわる思い出や、会員からの投稿を掲載しました。冊子が作れるだけの投稿が集まるかどうか幹事は心配していたようですが、頁数は少ないながらも体裁を整えて発行することができました。他支部のような立派な会報には及びませんが、会員にとっては良い記念になったと思います。

これからも、第20回の節目に向けて、地道に活動を進めていきたいと考えております。

東京玉翠会会員の皆様も、転勤等で東海三県へお住まいになる際には、当会事務局へご連絡いただき、是非とも東海玉翠会にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、東京玉翠会会員の皆様のますますのご活躍と東京玉翠会の更なるご発展を心から祈念申し上げます。



# 岡山玉翠会

岡山玉翠会会長  
**多田讓治**  
(昭和44年卒)



東京玉翠会第34回総会の開催にあたり、心よりお慶び申し上げます。

東京玉翠会総会に初めて出席させていただいたのは、私が岡山玉翠会事務局を担当させていただくようになった10年ほど前だったように思います。当時でさえ、出席者はすでに1,000人近いと伺っていましたが、昨年の貴玉翠会が「NIPPON-1.NET」で「団体としての高校同窓会参加人数日本一」に認定されたとお聞きし、玉翠会の一会員として大変誇りに思っております。

岡山玉翠会は300人以上の会員を擁していますが、若い方々の異動も多く、毎年の参加者は40～50名で、東京や関西玉翠会とは比べものになりません。ただ、少ないだけに和気あいあいと、一人ひとりの近況に耳を傾けることもできます。岡山市は高松からJRマリンライナーで約1時間という近い距離にありますので、香川からご出席いただいている方も少なくありません。昨年は、11月14日土曜日に総会を開催し、榎田實会長はじめ、協和子・牟禮明・間島賢治・佐藤哲也・常谷忠克の各副会長、市原伸作校長先生、大平徹教頭先生、入倉憲二東海玉翠会会長、田島朋子関西玉翠会副会長、岡澤恵美子徳島玉翠会会長代理、真鍋武紀前香川県知事にもご出席いただきました。3年前からは、会員の中から、それぞれの専門分野のお話や地元岡山とのかかわりなどを、噛み砕いた解りやすいミニ講演として拝聴しております。これまで大内淑代先生（昭和58年卒、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞組織学分野教授）や堀井茂男先生（昭和41年卒、慈圭病院院長）、昨年は中村良平先生（昭和46年卒、岡山大学大学院社会文化科学研究科および経済学部教授）に、それぞれの専門分野に関連したお話をさせていただきました。

今年の第38回総会は11月12日土曜日午後3時30分からアークホテル岡山にて開催予定です。今回の講演は山田了士先生（昭和50年卒、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教授）をお願いしております。今年は瀬戸内国際芸術祭2016の年でもあります。残念ながら総会開催日には秋会期もすでに終了しておりますが、香川への帰省も兼ねて、ぜひとも岡山玉翠会懇親会にお立ち寄りいただければ幸いです。

最後になりましたが、東京玉翠会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



# 徳島玉翠会

徳島玉翠会会長  
長尾哲見  
(昭和44年卒)



東京玉翠会第34回総会の開催誠におめでとうございます。

昨年の総会には徳島支部の会長として6回目の参加でしたが、毎回1,000人を超える規模に慣れてきたところに、会場正面のスクリーンに「第33回東京玉翠会総会最終参加人数1,252名」続いて「高校同窓会参加人数日本一新記録更新！」が表示されると大拍手が沸き、「東京玉翠会第33回総会・讃讃高高NIPPON-1」の垂れ幕を改めて実感させられました。

1,252名によるお祝いの万歳三唱も圧巻でした。毎回の事ですが、演奏や応援団は高松高校の歴史と伝統を感じると共に次回の運営の世代の方々を紹介されますが高松高校の規模の大きさも実感しています。

徳島県も含めた地方では過疎化・少子高齢化が進み、県立高校の合併・統合が行われ、親しまれた高校の名前が消えていく中であって、香川県においては「高松高校は永遠に不滅」と確信すると共に誇りに思います。

今回の総会のテーマは「つなぐ、こえる、我が母校。」との事で今年度の幹事学年は平成最初の高松高校入学生で、昭和の校舎と平成の校舎で学んだ世代で、様々な「つなぐ、こえる」体験を重ねてきたとご案内にありました。

東京支部総会参加の楽しみは今年はどんな催し物が披露されるのかとの期待感と総会後の同期生との二次会でのお互いの近況を語りながらの飲み会で気持ちが高校時代に帰れるひと時です。

最後になりますが東京玉翠会が「日本一」を達成した今、次は「世界一」を目指して益々ご発展されます事を期待しまして徳島からのご挨拶とさせていただきます。

# 東京玉翠会 会 則

## [第1章] 総 則

### (名称)

第1条 本会は東京玉翠会という。

### (目的)

第2条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期するを目的とする。

### (事業)

第3条 本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡と親睦を図るための会合その他の行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

### (事務局)

第4条 本会の事務局を東京都内に置く。

- 2 事務局には事務局長および会計担当の他、若干名の事務局員を配置する。
- 3 事務局員は事務局長の指示のもと各々局務を分担する。
- 4 事務局長および会計担当の選任は第10条第4項の定めによる。
- 5 事務局員は会員の中から事務局長が指名する。

### (会則改正)

第5条 本会則の改正は幹事会の決議による。

## [第2章] 会 員

### (会員)

第6条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校(以上の5校を「母校」という。)の卒業生(これに準ずる者を含む。以下「通常会員」という。)並びに母校の旧職員(以下「特別会員」という。)であって東京都及びその周辺に在住するものをもって組織する。

### (部会の設置)

第7条 本会には、第3条の事業を行うため、母校別の部会を置くことができる。

- 2 部会の運営は、その所属会員の協議による。

### (会費)

第8条 通常会員は年会費を納入しなければならない。

- 2 年会費の額は、常任幹事会の決議によりこれを定める。

## [第3章] 役 員

### (役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 幹事 その員数は次条第2項の定めによる
- (6) 監事 3名

### (役員を選出)

第10条 会長、副会長及び監事は総会において選出する。

- 2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により若干名を選出する。
- 3 常任幹事は会員の中から会長が指名する。
- 4 常任幹事のうち1名を事務局長、1名を会計担当として会長が指名する。

### (任期)

第11条 役員任期は2年とし、重任を妨げない。但し、補欠により就任した役員任期は前任者の任期の残存期間とする。

#### (役員の仕事)

- 第12条 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。
  - 3 常任幹事は常任幹事会を構成し、重要な事項の審議及び決定を行う。
  - 4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
  - 5 監事は本会の会計を監査する。

## [第4章] 会 議

#### (総会)

- 第13条 総会は会長の招集により毎年1回開催する。なお、必要ある場合は臨時総会を開催することができる。
- 2 総会においては次の行事を行う。
    - (1) 会務及び会計報告
    - (2) 本会則の規定による役員を選出
    - (3) 会員の親睦を図る行事
    - (4) その他会長が本会の運営に必要と認めて諮った事項の審議及び決定

#### (幹事会・常任幹事会)

- 第14条 幹事会及び常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

#### (議長)

- 第15条 総会、幹事会及び常任幹事会の議長は会長があたる。

#### (議決)

- 第16条 総会、幹事会及び常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

## [第5章] 会 計

#### (会計)

- 第17条 本会の会計は年会費、寄附金その他の収入による。

#### (会計年度)

- 第18条 本会の会計年度は毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

## [第6章] その他

#### (顧問)

- 第19条 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
- 2 顧問は会議に出席し、意見を述べることができる。理事会代議員会並びに総会においては会長がその議長となり、出席者の過半数の同意を得て議案を決定する。可否同数のときは、議長の採決による。

#### (委員会)

- 第20条 本会は、特定の事項に関する企画、研究、立案又は対策のため幹事会の議を経て委員会を置くことができる。
- 2 委員の選任は会長の指名による。本会の会計は、通常会員の入会金及び会費並びに寄附金による。

#### 附 則

- 第1条 本会則は昭和58年6月25日より施行する。

#### 附 則

- 第1条 本会則の改正規定は平成15年6月7日から施行する。

#### 附 則

- 第1条 本会則の改正規定は平成15年11月29日から施行する。

#### 附 則

- 第1条 本会則の改正規定は平成25年11月23日の常任幹事会で承認され、平成26年1月1日から施行する。

# 東京玉翠会 事務局体制

事務局

代表連絡先：tsuchida@muse.dti.ne.jp  
080-1042-6927(土田)

担当部門	担当ミッション	事務局員
事務局長	※事務局の統括	土田 充(S53) 神崎 俊(S52) (事務局長代行)
会計担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京玉翠会一般会計担当～予算、決算</li> <li>●総会会計監査担当</li> </ul>	奥本 和幸(S63)
総務パート	※事務局局務全般担当(総会幹事団サポートを行う) <ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年幹事相談窓口、幹事活動強化支援</li> <li>●常任幹事会、幹事慰労会、事務局会議の準備・運営</li> <li>●幹事会、総会、幹事引き継ぎ会の準備・運営支援、会場手配など</li> <li>●学年幹事名簿、メーリングリストの管理</li> <li>●一般会員への情報提供・啓蒙活動の企画、実施</li> </ul>	庄村 敦子(S54) 池内 久徳(S56) 池田 佳睦(S59) 河野 恵伸(S59) 池田 仁司(S61) 佃 英樹(S63) 三好 克浩(H2) 清水 知里(H2) 藤田 哲典(H3) 太田 秀幸(H7)
HPパート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「東京玉翠会ホームページ」の管理・維持対応及び新企画検討など</li> </ul>	土居 範行(S47) 吉野ユリ子(H3)
総会パート	※毎年7月に開催する <b>東京玉翠会総会の企画・運営を担う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●年次総会開催～式準備、動員依頼、集金、当日差配など</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <b>卒業25年目 学年幹事</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;"> <b>受付 卒業23年目 学年幹事</b> </div>
高高玉翠会パート	※高高、玉翠会本部・他支部との連携を強化し、 <b>東京玉翠会の対外発信力、在京学生の支援を行う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高高との窓口。総会における高高関係者対応や東京地区への進学者の最初の組織対応など</li> <li>●玉翠会本部ならびに4支部との連絡窓口。総会における玉翠会関係者対応など</li> </ul>	小見山紀絵(S56) 佐藤美智子(S60) 斉藤 利幸(H1)
高中会 晩翠会パート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高中会窓口。総会における高中関係者対応など</li> <li>●晩翠会窓口。総会における晩翠関係者対応など</li> </ul>	岩崎 昭宏(S49) 外丸 香代(S56) 藤原 泰輔(S62)
同好会パート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各同好会の活動、活性化を支援するとともに、新サークル結成も支援</li> <li>●総会における各種同好会紹介など</li> </ul>	白川 真理(S52) 長尾みどり(S53) 森 英二(S58) 多田 寿徳(S62) 乙川みち子(S63)

# 東京玉翠会総会チーム 平成4年卒(卒業25年目学年幹事)体制

担当チーム	担当ミッション	常任メンバー
 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>全体工程管理</b> </div>	<b>H4 幹事団の統括(全体指針・目標管理)</b> ●全体意思決定と全体予算案作成・資源管理 ●東京玉翠会本部(事務局・学年幹事)との調整	リーダー 河西 寿幸 サブ 野口(山添)佳恵
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>総務</b> </div>	<b>H4 幹事団との連携・調整担当</b> ●幹事団の組織とチーム間調整 ●同期動員の窓口	リーダー 中原 健一 サブ 諏訪 幹夫
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>企画・進行</b> </div>	<b>総会の企画・進行準備・運営担当</b> ●総会コンセプト・企画案の作成 ●総会までの進行全般準備、当日運営	リーダー 野口(山添)佳恵 サブ 北川(高木)友子 サブ 二神 雅史
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>来賓</b> </div>	<b>来賓者へのご案内・窓口担当</b> ●来賓把握、招待者への連絡・対応 ●高高(植松先生)との窓口、寄贈図書調整	リーダー 藤田 晋 サブ 山下 貴子
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>動員</b> </div>	<b>総会来場者への動員担当</b> ●学年幹事等への動員依頼・連絡調整・対応 ●学年幹事会の会場準備、案内窓口	リーダー 木村 瑞樹 サブ 北泉 秀樹
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>会計</b> </div>	<b>総会収支管理担当</b> ●各チームの収支管理・調整 ●収支報告書作成	リーダー 宮内理都子 サブ 大和 昌英
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>広告</b> </div>	<b>広告依頼・窓口担当</b> ●レギュラー＆新規広告主への依頼・対応 ●高松広告チームとの連携、デザイン調整	リーダー 吉村亜紀子 サブ 国東(持田)美方子
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>プログラム</b> </div>	<b>プログラム冊子作成担当</b> ●冊子掲載記事作成、広告デザイン作成 ●印刷依頼までの準備	リーダー 本澤 永人 サブ 堀米(高桑)紫 サブ 松田(田崎)京子

※各チームのメンバー及びメッセージは、92ページからの「幹事団メンバー紹介」をご覧ください。

※ ( ) 内は戸籍姓です。

# 高松中學校校歌

(大正4年9月制定)

作詞 藤井静夫

作曲 安田俊高

Moderato



1. あさひ かがやく やしまやま さざなみ よする



たまもうら へーいわ みなぎる そのひびき



せーいき あふるる そのひかり わがまな



びやにーみちみちて いそしむけんじ



いっせんよ せひる がへせー

一、朝日輝く屋島山

小波寄する玉藻浦

平和漲る其の響

生氣溢るる其の光

我が學舎に充ち満ちて

勤しむ健兒一千餘

二、御陵威と共にいや高く

朝夕仰ぐ碑は

日嗣の皇子の行 啓の

千代に朽ちせぬ記念なる

奮闘努力の健男兒

ゆめな忘れそそのかみを

三、嚴冬霜雪色變へぬ

紫雲の松を名に負へる

我が中學の健兒らよ

堅忍不撓功遂げて

屋島山頭いや高く

名譽の旗を翻せ… 翻せ



# 高松高等女學校校歌

(大正3年9月14日制定)

作詞 小原虎一

作曲 内藤 蝶

Andante

*mp*



1. み れ ども あ か ー ぬ た ま も の う ら ー ち



ひ ろ の そ こ ー に し づ ー く な る ー そ



の し ら た ま ー の う る ー は し き ー き



よ ー き こ こ ろ を み が か む み が か む を



と ー め わ れ ー 2. あ と ー め わ れ ー

一、見れども飽かぬ玉藻の浦

ちひろ  
千尋の底にしづくなる

その白珠の麗はしき

清き心を磨かむ

磨かむ…、をとめわれ

二、朝夕仰ぐ屋島の山

おへ  
峰の上はるかに並び立つ

その山松の色變へぬ

高き操を守らむ

守らむ…、をとめわれ

三、開くる御代の幸多き

ひら  
身にはつとめもさはなれば

うら若き日をたゆみなく

をみな業を習はむ

習はむ…、をとめわれ

四、いや榮ゆく皇國の

さかえ  
生ける効ある御民ぞと

仁慈あまねき大君の

みこと畏み盡さむ

かしくつく  
盡さむ…、をとめわれ

# 高松高等学校校歌

(昭和26年12月17日制定)

作詞 河西新太郎

作曲 芥川也才志

con brio (♩=108)

*mf*



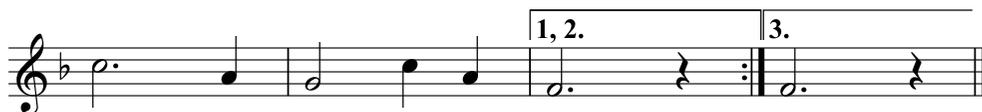
1. せいきーあらたなひにはえて あさぐもにおう



やしまやま おゝまゆきよき わこうーどが



こうがくのねん ゆるぎなくはつら つこそ



る い き を み よ よ

一、世紀新たな陽に映えて

朝雲匂う屋島山

おゝ眉清き若人が

向学の念揺るぎなく

澁刺拳る意気を見よ

二、平和輝く波よせて

鏡と澄める玉藻浦

おゝ純潔の若人が

真理の道を究めゆく

独立自主の熱意見よ

三、仰ぐ紫雲の松風に

雪持笹のさみどり

おゝ希望湧く若人が

自由と愛の血に燃ゆる

わが高松高校の自治を見よ

# 朝日輝く

(校友会の歌)

作詞 藤井静夫

作曲 大中寅二

Moderato



1. あ さ ひ か が や く や し ま や ま さ



ぎ な み よ す る た ま も う ら へ い わ み な



ぎ る そ の ひ び き せ い き あ ふ る る そ



の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い



そ し む け ん じ い っ せ ん よ せ

一、朝日輝く屋島山

さざ波寄する玉藻浦

平和みなぎる其の響

生気あふるる其の光

我が学舎に満ち満ちて

いそしむ健児一千余

二、厳冬霜雪色変えぬ

紫雲の松を名に負える

我が高所の健児らよ

堅忍不撓功遂げて

屋島山頭いや高く

名誉の旗をひるがえせ

# 高高 高高

一、高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校

二、高中 高中 高中 栄えあるその名  
高中 高中 高中 我等が母校

三、高女 高女 高女 栄えあるその名  
高女 高女 高女 我等が母校

四、高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校

## 天に二つの

一、天に二つの 日あるなし  
ナインの王<sup>おう</sup>は 我が高々  
意気と力の 溢るるところ  
勝利は常に 我等<sup>かむ</sup>が冠り  
奮え、奮え、奮え、高々

二、我等が打つは 球ならず  
我等が打つは 血と肉ぞ  
鍛えし腕<sup>かいな</sup>は 炎となりて  
勝利は常に 見よ近づけり  
奮え、奮え、奮え、高々



# 第34回総会 平成4年卒「へ～よん」幹事団紹介



東京—高松の535kmもの距離を超え、ともに総会を成功させるべく、手を取り合った  
私たち「チームへ～よん」。最強メンバーと自負する幹事団をご紹介します！

## 全体工程管理チーム



◎河西寿幸

先輩から「大丈夫大丈夫」と言われ続けて15年。今年は皆に言い続けた。大丈夫やったわ。

○野口(山添)佳恵

いざという時には本領発揮する個性派揃いのH4キャラを再認識(^^)

## 総務チーム



◎中原健一

ある時は全体管理補佐、ある時は広告T助っ人、飲み会幹事etc.それが総務。

○諏訪幹夫

途中で大分県に転勤しちゃたけど、高高のみんなと一つのことに向かって取り組めたのは財産！

## 企画進行チーム



◎野口(山添)佳恵

イベント成功を願い、帰宅して夜な夜な作業。不思議ですな頑張る力。きっと高高愛。

○北川(高木)友子

高校時代の文化祭より頑張ったし楽しかった( ^▽^ )/ みんな本当にありがとう！

○二神雅史

自分は何も出来なくても、メンバーと先輩方に助けてもらえる、高高の凄さを実感。

鎌田高明<sup>[高松]</sup>

旧校舎ジオラマをじっくり眺めると懐かしの日々とワックスの匂いがよみがえりました。

小島道継

自慢の(?)所蔵写真を披露させてくださり、感謝！仕事でも学校撮ってます。

多田(大森)絵美<sup>[高松]</sup>

7/9出席できずすみません。米国高校生と高高生との交流行事に尽力します。

伊達学之

みんな歳とっても昔と変わっとらんのが嬉しかった。これからもよろしく！！

林(中村)千香子

本来、いるはずのないような場所にまぎれこんでしまっているのも…縁の力ですね。

## 来賓チーム



◎藤田晋

鴨川の太平洋を見ながら参加しました。今回、高高的のすばらしさを再認識しました。

○山下貴子

総会当日、たくさんの笑顔が会場に溢れますように。そんな想いが形になるのが楽しみです。

佐藤(吉田)良子

私はお手伝いのお手伝いでしたが…皆さんのさすのスキルに感激です！

田中(谷口)京

高校時代から全く変わらない藤田リーダーの綿密な仕事ぶり、ブラボーです！

古川(大谷)彩映

何年たってもみんな面白くてパワフルで刺激的！楽しかったね。

## 動員チーム



◎木村瑞樹

原動力は高高LOVE、感謝するのは卒業生の皆さんとの出会い、財産はへ～よん会の仲間たち。

○北泉秀樹

奥深き玉翠の門をようやくくぐり、改めて、空の高さを知りました。玉翠に携わる全ての人に感謝。

池田周平

なかなか参加できず役に立てなかったけど、仲間の変わらない懐かしさと逞しくなった頼もしさに触れられた。

兼近(山本)由賀里 [高松] 高松からの参加で一す！記念すべき幹事年度の年に、みんなと素敵な時間を共有できて幸せです！

多田淳一

高高的妻さを改めて実感。そして、その仲間は一生もの。

田中(谷口)京

高校時代は何気なく過ごしていた日々が素敵な思い出に変わりました。歳はとっっても心はあの頃のまま…。

藤澤匡章

高高を再び身近に、そして改めてその妻さを感じられた時間。この縁に感謝。

堀江(松本)悟朗 転勤で何もできずじまいな元堀江です。へ～よん会の皆様お疲れ様でした。またいつか。

山下貴子

再会した仲間と共に過ごした時間は大切な宝物となりました。みんな、ありがとう！

山地裕司

なかなか参加できなかつたけど、友達のありがたさを再認識。皆様に感謝。

## 広告チーム



◎吉村亜紀子

25年後にこんな楽しいことがあるとは18の時は思ってもみなかった！ みんなありがとう！

○国東(持田)美方子 学年幹事の皆様、H3広告チームの皆様、そして高松チーム！心より御礼申し上げます。

稲毛(恒石)抄恵 [高松]

久々の一致団結、時を経て尚、こんなにも強い絆がある事に感動。ピバH4☆高高最高！！

上田(渡邊)智子 [高松]

気付くと仲間入りしていましたが、時間と場所を超えて集結できる高高的妻さを実感！

大橋(伊藤)祐子 [高松]

東京の本気は高松を動かしたよ！心洗われ刺激をもらったオトナの文化祭。この再会は宝物！

片松保佳 [高松]

「高高で良かった」と改めて感じました。今の自分があるのは皆さんのお陰です。

神内克知 [高松]

たくさんの企業協賛ありがとうございました。今回関わったみんな、へ～よんくん。は永久に不滅です！

谷本美香 [高松]

仲間との再会、新たな出会い。皆さんから頂いた高高パワーに心から感謝です！

中原(香西)育代 [高松]

オーケストラ同好会の資料を実家で発掘。宝石のような高高時代がよみがえりました。

中原健一

高松のメンバーも加わりラグビーのスクラムみたいにドットと進みました。楽しかった！

西口潤 [高松]

普段は意識することのない、高高的血を感じました。皆さま、お疲れ様でした。

桧垣幸弘

バイタリティに円熟味を加えた高高OBOGは無敵やね。卒業25年目が幹事をやるこの制度、深いわ～。

松岡健司 [高松]

東京を離れて17年になりますが、今回お手伝いできて良かったと思っています。

◎リーダー ○サブ  
( )内は戸籍姓。役職以外、  
チーム内五十音順  
へ～よんくん。イラスト/山下貴子

## 会計チーム



○大和昌英

宮内センパイ！「へ～よんくん。」のぬいぐるみを作ろうってアイデアが出てます。予算にどういれましょう？

◎宮内理都子

大和くんっ、予算は優先順位が大事って、L.A.で勉強したでしょ！（留学先で出会った先輩・後輩会計チームの会話…）

## プログラムチーム



◎本澤永人

（1973- ）本名同じ。香川県立高松高校卒。父は同校元教員。代表作に「昭和校舎最後の日」。

○堀米（高桑）紫

校了までの2か月は睡眠時間2時間。本業は某誌副編集長、玉翠会では鬼編集長、おっと子育ても鬼!?

○松田（田崎）京子

「つなく、こえる、わが母校。」へ～よん世代を超えてつながれたことに感謝!!

河西寿幸

高校の時、将来の夢のひとつが「物書き」でした。今ちょっとだけ物書きになった気分。

高桑英児

堀米編集長の夫です。強くなったのは、子供たちとの結束と高高への愛着と妻への尊敬の念。

林（中村）千香子

デキる同級生の仕事ぶりと器の大きさを目の当たりにしました。刺激的でした。

## Special Thanks!



植松紀子先生（昭和54年卒、高松高校家庭科）

ちもとを日本中に世界中に誇れる「伊吹のいりこ」「粒あん」で調理実習してます！

## 編集後記

半ば嫌々この騒動に巻き込まれた。だから2年前の編集後記で、「気がつけば校歌を口ずさんでいる自分がいた」的な先輩のフレーズを目にした時、嘘だと思った。嘘じゃなかった。口もきいたことなかった同期の仲間と、ノせて・ノセられての関係を繰り返すうち、この騒動のド真ん中に僕はいた。そして今日も僕の鼻からふいにこぼれ落ちるは、我が母校の校歌♪[本]

“紫（ゆかり）”という名前には、人との縁を大切にすることであるという祖父の願いが込められている。それをまっとうできたのではないか、そう思える数か月だった。当初、プログラムチームは予算不足にあえいだ。それを救おうと、ある人はカンパを、ある人はボランティアを申し出てくれた。涙が出た。“筆舌に尽くしがたい”という言葉の意味を実感した42の夏。[紫]

## 東京玉翠会第34回総会プログラム つなく、こえる、我が母校。

発行日 2016年7月9日  
発行元 東京玉翠会  
印刷 株式会社美巧社

編集長 堀米紫  
編集 河西寿幸 高桑英児 林千香子  
松田京子 本澤永人  
校正 稲毛抄恵 大谷彩映 鎌田高明  
北泉秀樹 北川友子 木村瑞樹  
国東美方子 多田淳一 谷本美香  
中原健一 藤澤匡章 藤田晋  
桧垣幸弘 宮内理都子 山下貴子  
吉村亜紀子

デザイン 本澤裕美（表紙、第34回総会コンセプトビジュアル） 鎌田清貴（本文） 株式会社美巧社  
広告デスク 吉村亜紀子 国東美方子  
楽譜浄書 下野恵美子  
表紙写真 伊藤裕（平成2年卒）  
写真提供 第33回幹事団（平成3年卒）

協力 香川県立高松高等学校  
玉翠会本部 関西玉翠会 東海玉翠会  
岡山玉翠会 徳島玉翠会  
下野剛（平成2年卒）

カトーレック株式会社 株式会社タダノ

総合アートディレクション 本澤永人

日本筆跡診断士協会(会長 森岡恒寿 高高27年卒)

顧問・認定筆跡診断士

久保 醇治 (高高27年卒)

〒195-0061 東京都町田市越川4-28-16  
TEL&FAX042-735-3646

本部 〒113-0034 文京区湯島3-8-9 松本ビル  
TEL:03-3837-7531 FAX:03-3837-7621

祝

第34回東京玉翠会総会開催

昭和33年卒 東京さんさん会

- 1月14日(木)の東京さんさん会新年会には、34名の仲間が集いました。
- 年に一度発行の会報(B5判/16頁)は今年31号を迎えます。

祝

東京玉翠会第34回総会開催  
昭和35年卒業生一同

東啓綜合法律事務所

弁護士 岡崎 洋 (37年卒)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-2 淡路町サニービル4F  
TEL 03-5296-7676 FAX 03-5296-7678

音響設備、パソコン設備 (IPカメラ、各種サーバ関連) のご提案

**HACL**

平川音響株式会社

取締役総務部長 平川 峰子 (旧姓 武上・高高42年卒)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-12-12 TEL 03-3232-3001 FAX 03-3232-8110

下水道設計・水道設計・土木設計・測量調査

**日新技術株式会社**



代表取締役

恵比須 忠

(S42年卒)

所沢事業所 〒359-1126

埼玉県所沢市西住吉10-13 カワモト所沢ビル  
TEL 042-929-4681 FAX 042-922-6165

本社 〒338-0832

埼玉県さいたま市桜区西堀2-21-3田中ビル  
TEL 048-836-1055 FAX 048-836-1177

E-mail: tyuu.ebisu@nissin1982.co.jp

営業所 東京・戸田・狭山・日高・鴻巣・川越・熊谷・本庄

クレジットカード決済・端末機導入ならお任せ!



## 株式会社 シー・ピー・エージェント

顧問 田阪 武夫 (昭和38年卒)

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷3-19-8 NCビル4F  
Tel. 03-5725-9099 <http://www.cpagent.co.jp/>

京王線笹塚駅歩いて1分

## 産婦人科 東クリニック

ホームページ [a-azuma.com](http://a-azuma.com) をご覧ください。

Tel. 03-3481-0380

Fax. 03-3481-6776

## ひびき法律事務所

弁護士 小倉 良弘

(高高39年卒)

〒160-0004 新宿区四谷1-8 四谷一丁目ビル8階

TEL 03-3355-2268

FAX 03-3355-2308

東慶寺の体験教室

自分さがしと自分みがきに

早朝座禅会

写経会

茶道体験

香道体験

挿し花体験



## 東慶寺

詳しくはホームページをご覧ください

[www.tokeiji.com](http://www.tokeiji.com)

お問合せ、申込みは東慶寺まで

0467-22-1663

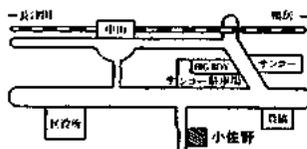
## 小佐野歯科医院

小佐野 千重子 (45年卒)

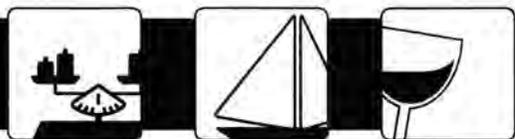
(旧姓 林)

〒226-0011 横浜市緑区中山町68-1

TEL (045) 934-3003



代表取締役 植松由量 (昭和45年卒)



精密機器移転・販売専門

## 株式会社 ナイカイ

<http://kk-naikai.co.jp/>

〒552-0012 大阪市港区市岡3-14-11  
TEL (06) 6572-7100 FAX (06) 6572-7111

●自己実現へのロマン——いま、手軽なものに。

## 自分史出版のご案内

専門家や、技術スタッフ陣が  
あなたの本づくりをゆたかに演出します。

代表取締役社長 池上晴英 (S45卒)

株式  
会社 **美巧社** 総合印刷・出版

東京支社●東京都墨田区駒込1-35-4 グローリア駒込2F  
☎(03)6912-2255(代表) FAX(03)6912-1215

## 祝

東京玉翠会第34回総会開催

東京 高高昭和48年卒業生一同

## 眞鍋社会保険労務士事務所

社会保険労務士 眞鍋賀孝

(昭和48年卒)

〒350-1105 埼玉県川越市今成1-13-9  
TEL・FAX 049-237-6137

## MEBUKI

Intellectual Property Services

## めぶき特許事務所

代表パートナー

弁理士 松尾 誠剛 (昭和49年卒業)

〒399-0214 長野県諏訪郡富士見町落合 9862 番地 60

Tel 0266-62-5741 Fax 0266-62-8020

- 小淵沢オフィス -

〒408-0044 山梨県北杜市小淵沢町 1037 番地 5

Tel 0551-36-8288 Fax 0551-36-8289

## 梶谷綜合法律事務所

弁護士 岡 正晶

(高高49年卒)

〒100-0004

東京都千代田区大手町1丁目7番2号

東京サンケイビル 18階

電話 (03)5542-1453(代表)

FAX (03)5542-1454

E-mai : m-oka@kajitani.gr.jp

<http://www14.plala.or.jp/masaaki-OKA>

相続・事業承継・不動産コンサルティング



## あおぞら資産相談室

AOZORA ASSET CONSULTING

池田達彦税理士事務所 (昭和50年卒)

☎087-823-7755 無料相談実施中!

FAX:087-823-7756 <http://www.aozora-ac.jp>

〒760-0029 香川県高松市丸亀町13-3 丸亀町参番街東館6階

## 祝

東京玉翠会第34回総会開催

東京 高高昭和50年卒業生一同

# 一滴八銭屋

創作うどん

串天ぷら 段々屋

新宿区西新宿1-14-2  
TEL 03-6423-8889

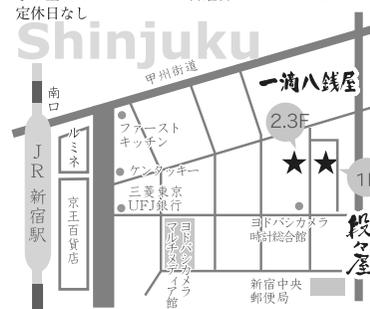
営業時間  
ランチ 平日 11:30~14:30  
ディナー  
月火土 17:30~23:00  
水木金 17:30~24:00  
日 17:30~22:00  
定休日 無休



新宿本店

一滴八銭屋 新宿本店  
東京都新宿区西新宿1-15-9 石井ビル2・3F  
TEL 03-3342-8889

営業時間  
ランチ 11:00~14:30 ディナー 17:30~23:00  
水~金 17:30~24:00 日曜日 17:30~22:00  
定休日 日なし



http://www.itteki.com

# 滴屋

おまかせ料理

東京都港区芝5-12-12  
TEL 03-5418-4038

営業時間 ランチ 11:30~14:00  
ディナー 17:00~23:00  
定休日 土日祝日



Tamachi



Toki

粗挽き蕎麦 トキ

東京都渋谷区代々木2-14-3 北斗第一ビル中2階  
TEL 03-6304-2566

営業時間 ランチ 11:00~15:00  
ディナー 17:30~22:00  
定休日 日曜日





## 本場さぬきうどん 親父の製麺所

武蔵小杉店 044-722-6026  
〒118-0001 川崎市中原区小杉町1-92 武蔵小杉駅前

大崎店 03-3779-4186  
〒114-0001 品川区大崎1-1 大崎駅前

田端店 03-3827-8260  
〒114-0001 品川区田端1-1-1 田端駅前

上野店 03-3845-5030  
〒110-0001 台東区上野1-1 上野駅前

秋葉原店 03-3251-5892  
〒100-0001 千代田区外神田1-1-6 秋葉原駅前

浜松町店 03-3459-4022  
〒100-0001 港区海岸1-1 浜松町駅前



武蔵小杉店 大崎店 浜松町店



# GSK 後藤設備工業株式会社

取締役会長 後藤 伸雄 (昭和37年卒)

本社 香川県高松市香西東町645-1 TEL: 087-881-3116 FAX: 087-881-0673  
松山支店 愛媛県松山市土居町802-1 TEL: 089-905-1150 FAX: 089-905-1160

年中無休  
いつでも  
どこでも  
安心の24時間サービス





# 香川銀行



## トモニホールディングス

# 東京支店

〒101-0036  
千代田区神田北乗物町 1-1  
電話 (03) 3258-7121

**さぬき麺 山下本気うどん** 最寄り駅  
目黒駅

高松市出身のお笑い芸人・オモロー山下こと、山下しげのりさんが営む人気店。フォロワー約2万人の「うどん通イッター(@yamashitadontu)」も要チェック!



**SHOP DATA**

●住所：東京都品川区上大崎3-9-14 TOビルB1 ●電話：03-3449-9234  
●営業時間：火～金11:30～14:30/17:30～24:00 土曜11:30～24:00 日祝11:30～23:00 (L.O.閉店の30分前) 月曜休

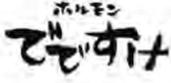
## 小早川法律事務所

弁護士 小早川 輝雄 (昭和29年卒)  
弁護士 小早川 龍司 (昭和56年卒)

高松市錦町2丁目3番16号  
TEL.(087)851-3367(代) FAX(087)851-3368



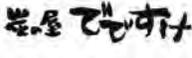
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-8-14  
大黒ビル2F  
TEL. 03-3444-5511



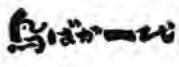
〒104-0061 東京都中央区銀座3-3-9  
TEL. 03-5250-7767



〒105-0004 東京都港区新橋3-16-4  
西原ビルB1  
TEL.03-5777-1477



〒105-0004 東京都港区新橋3-16-4  
西原ビル  
TEL.03-3431-3442



〒104-0061 東京都中央区銀座3-3-8  
TEL. 03-5524-3240



〒105-0004 東京都港区新橋1-17-8  
TKK新橋ビル  
TEL. 03-3593-2100



〒105-8333 東京都港区東新橋1-6-3  
ロイヤルパーク汐留タワー24F  
TEL. 03-5568-6100



〒210-0023 神奈川県川崎市川崎区  
小川町2-1 美須ビル1F・2F  
TEL. 044-244-5552

POWER  
HOUSE

システムインテグレーションの

## パワーハウス

System integration

- 1 安定した就業環境
- 2 意欲を重視した社風
- 3 将来を見据えたサポート

**プログラマ・システムエンジニア**  
**【30名】積極採用中!!**  
 新卒採用 (東京支社) 中途採用 (大阪本社・東京支社)

**株式会社パワーハウス**  
<http://www.power-h.co.jp/>

◆大阪本社  
〒541-0052  
大阪市中央区安土町3-2-14  
サンキュウビルディング5F  
(TEL:06-6265-3232)

◆東京支社  
〒101-0044  
東京都千代田区鍛冶町2-5-5  
パワーハウスビル東京  
(TEL:03-5289-9516)

代表取締役社長 **かめたに ひろみ** **亀谷 広美** (昭和55年卒)

# JPF

## 日本写真判定株式会社

# Japan Photo Finish

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-11  
TEL 03-3265-4851 FAX 03-3239-4685  
執行役員 吉井 敏浩 (昭和57年卒)

あらゆる競技の  
着順判定から  
イベントの  
ゴール記念写真まで  
お任せください

# 祝

## 東京玉翠会 第34回 総会開催

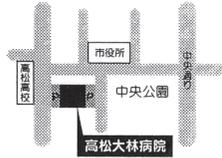
平成元年卒業生一同

医療法人社団 康生会

循環器内科・内科・消化器内科

# 高松大林病院

高松市番町1丁目10-3  
(市役所前)  
☎(087)862-1231



グループホーム  
デザイナーズ  
住宅支援事業所

# 暖暖



高松市室新町1-8  
(栗林公園より南へ500m  
ゆめタウンより北へ600m)  
☎(087)815-1231



フルートリサイタル

## 白川真理

S52年卒

2016年9月25日(日)午後2:00開演 [全席自由] 3500円  
鶴見区民文化センター・サルビアH.3F.音楽ホール

ピアノ: 奈良康佑

《曲目》フルートソナタ ロ短調 BWV1030 J.S.バッハ 他

お問い合わせ(白川): 080-3151-7065 / karadatoongaku@gmail.com



池崎秀和 (52年卒)

味が見えます。あの子の気持ちは  
見えませんが、好みは見えます  
(株)インテリジェントセンサーテクノロジー



味覚センサー

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7 福岡ビル9階

## 阿部・井窪・片山法律事務所

Tel 03-3273-2600 Fax 03-3273-2033

URL <http://www.aiklaw.co.jp/> E-mail [hisashi.ito@aiklaw.co.jp](mailto:hisashi.ito@aiklaw.co.jp)

弁護士 伊藤 尚  
(昭和52年卒)



北條ひとみ  
(昭和52年卒)

高松市磨屋町1-7 森ビル2階  
営業: 17:00~22:00 (L.O)  
休み: 土、日祝  
電話: 087-822-9068  
携帯: 090-1329-1159

## 【物語】と【交流】の Labo Party

今年、50周年記念  
イベントを全国で!

ユニークな「英語教室」のラボ・チューター(指導者)の仲間募集中♪

0歳から大学生までの「ラボっ子」と英語の歌や物語(はらぺこあおむしからシェイクスピアまで)を  
楽しみ、英語劇活動。海外ホームステイの引率も!「ラボ・パーティ」で検索!

ラボ・チューター: 平松(若山)彰見 (S52年卒)

着脱簡単!ダイヤル式で  
ジャストフィットの履き心地

品番 1901 Boa® ウォーク



ルームシューズとスリッパの  
2wayの室内履き

品番 8204 結 (ゆい)



あゆみ®

あゆみシューズ

検索



商品企画・製造

徳武産業株式会社

本社

〒761-0901 香川県さぬき市大川町富田西3007  
[TEL]0879-43-2167 [FAX]0879-43-5618

東京営業所

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1丁目1番8号FP浅草橋ビル5階  
[TEL]03-5835-5516 [FAX]03-5835-5517

**MCA Japan**

**財団法人 メンタルケア協会**

<http://www.mental-care.jp/>

メンタルケア・スペシャリスト  
食育指導士 生活支援員

佐藤美智子 (昭和60年卒)

**アローズ法律事務所**

弁護士 藤本 邦人 (昭和53年卒)

弁護士 関谷 利裕 (昭和54年卒)

弁護士 田村 祐一 (平成15年卒)

〒760-0023 高松市寿町2-2-10 高松寿町プライムビル5F  
☎ 087-826-3880

**祝**

**東京玉翠会第34回総会**

**昭和57年卒 有志一同**

医療法人社団 玉翠会

**喜平橋耳鼻咽喉科**

耳鼻咽喉科 気管食道科 アレルギー科

理事長 村川 哲也(昭和63年卒)

専門医 日本耳鼻咽喉科学会/日本気管食道科学会/日本レーザー医学会

〒187-0044 東京都小平市喜平町1-7-26

電話 042-332-3387 HP : <http://www.kiheij.jp/>

花粉症・アレルギー性鼻炎に対するレーザー手術を行っています。



**嶋 靖博 税理士事務所**

〒760-0025 香川県高松市古新町10番地3

税理士 嶋 靖博 (昭和47年卒)

税理士 嶋 弘輝 (平成6年卒)

**BIKEN**

いのち  
生命を守るワクチンを



一般財団法人 阪大微生物病研究会  
香川県観音寺市瀬戸町四丁目1番70号  
<http://www.biken.or.jp/>

MIKI certified public tax accountant Office

税理士・FP

三木真由美

平成3年卒

三木真由美税理士事務所

〒760-0075 香川県高松市楠上町1-10-10

tel:087-813-0036 fax:087-813-0037

応募1 就活のことなら

内定塾  
NAITEI-JYUKU  
高松校

応募2 採用のことなら

仕事  
ズ鑑

株式会社 キャリアライティング 一般社団法人 仕事図鑑  
香川県高松市桜町2丁目14-14 代表取締役 代表理事 入門美穂(旧姓川西)H3卒

高松店  
〒760-0080 香川県高松市木太町5区2702-1  
TEL:087-837-4666  
フリーダイヤル:0120-30-8688

志度店  
〒769-2101 香川県さぬき市志度1421-100  
TEL:087-894-4411  
フリーダイヤル:0120-30-6656  
<http://www.sanda-swimming.com/>

代表取締役 小倉 英幹(平成3年卒)

Lilium Lifestyle Journalist, Editor,  
Writer, Casting Coordinator

吉野 ユリ子 (H3年卒)

Tel 090-3319-7935 yurico\_y@gb3.so-net.ne.jp  
<http://ameblo.jp/yurico-y/>

## 弁護士法人 淀屋橋・山上合同

Yodoyabashi & Yamagami Legal Professional Corporation

パートナー弁護士  
渡邊 徹  
(平成3年卒)

mail: t-watanabe@yglpc.com

URL: <http://www.yglpc.com/>

### 東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号

郵船ビルディング4階

TEL(代)03-6267-1200

FAX(代)03-6267-1210

### 大阪事務所

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目6番13号

日土地淀屋橋ビル6階・7階

TEL(直)06-6202-4460

FAX(代)06-6202-3375



医療法人社団 明恵会

# 古市歯科医院

SINCE 1970  
Furuchi Dental Clinic

〒760-0063 香川県高松市多賀町2丁目5-6

[40年卒] 古市(岩野) 恵子 [H7年卒] 古市貴暢



指定自立支援医療機関(育成医療・更生医療)

医療法人 祐歯会

# とがし歯科第2医院

矯正歯科

佐賀県鹿島市大字高津原3715-17

院長 平成4年卒 富樫 久美子(旧姓 古市)

# MORI MARI

モリマリ  
CAFE

モリマリカフェ

〒761-0101 高松市春日町1525-4 2F Tel: 087(841)4045

定休日: 水曜日 ※水曜が祝祭日の場合は木曜が定休となります

<http://www.strikingly.com/morimaricafe>



大人のリアルクローズを提案する  
セレクトショップ



〒760-0052 高松市瓦町1-6-4 セイコービル2F (居酒屋「実と菜」の上)

TEL/FAX 087・802・3902

<http://www.azu-clothes.com/>

恒石(旧姓: 稲毛) 紗恵 (H4卒)

# 青木動物病院

休診日 木曜午後・日曜・祝日

院長 青木英晃(昭和53年卒)



〒761-0312 香川県高松市東山崎町447-7  
087-847-8899

御社の経営改善を支援します

## T K C コンピュータ会計 山口拓税理士事務所

所長 山口拓(昭和62年卒)

大阪市中央区大手通1-2-8-302 TEL 06-6945-1047

E-mail [yamaguchi-taku@tkcnf.or.jp](mailto:yamaguchi-taku@tkcnf.or.jp)

URL <http://www.yamaguchitaku-office.com>



# どんぐりクリニック



南浦和の小児科クリニックです

院長 大谷 純一

〒336-0017 さいたま市南区南浦和3-18-15

TEL 048-883-3666



フォーミング&カッティングの未来を創造する

# 株式会社 トーコー

代表取締役社長 東 昌志 (平成4年卒)

本社・工場 〒769-2693 香川県東かがわ市横内689-1 TEL 0879-25-4125  
東京支社 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27 前川ビル708 TEL 03-3444-1321  
URL <http://www.k-toko.com>



## マシマ歯科クリニック

歯科・歯科口腔外科・小児歯科 院長 間島 徹(平成4年卒)

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	×	○	△ -17:00

休診日: 日曜・祝日・木曜午後 ※土曜は17:00まで

〒761-0450 香川県高松市三谷町384-1

TEL:087-814-6600

FAX:087-814-6610

<http://www.mashima-dc.com>

## 祝 第34回 東京玉翠会 開催



蒲生武志公認会計士・税理士事務所

公認会計士 蒲生 武志  
税理士

Takeshi Gamo  
(平成4年卒)



〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-1-2

御堂筋ダイヤビル7階

TEL:06-6210-1718 FAX:06-6210-1719

E-mail: [takeshi.gamo@gto-kaikei.com](mailto:takeshi.gamo@gto-kaikei.com)

高松市中央卸売市場青果部423番

# 有限会社 丸二青果

樽谷 美香 (昭和58年卒)

〒760-0012 香川県高松市瀬戸内町40番12号

TEL: 087-861-7834 FAX: 087-861-7838

情報セキュリティ対策・OA 機器・金庫設備一式

## 赤松事務機株式会社

本社: 高松市塩上町1-7-13 TEL 087-833-3434 岡山: 岡山市中区中納言町7-34 TEL 086-271-1206

代表取締役 片松 保佳(平成4年卒)

赤松事務機  <http://www.akamatsu-jimuki.co.jp>

設立から66年。金庫設備から情報セキュリティ対策まで  
私たちはお客様のビジネス(業務)における「安心・安全」を提供し続ける会社です。

## 株式会社 アムロン

[www.amron.co.jp](http://www.amron.co.jp)

鉄鋼製品 鉄鋼加工 土木・建築資材

鋼構造物工事他各種工事

重金属汚染土壌・排水対策資材

濾過用セラミック・Eセラ 水処理濾過材 産業機器

製造設備企画 業務用洗浄機 重防錆塗料

本社: 高松市末広町7-21 TEL 087-851-1551

支店: 徳島 松山 高知

工場: テクノ高松 テクノ多度津 テクノ香川

### AMRON GROUP

株式会社セキゼン 高松市香西本町742-7 TEL087-881-1161

株式会社イノベイト 高松市末広町7-2 TEL087-851-5255

人の恋愛には  
アドバイスできるのに、  
自分のこととなると  
上手くいかないものだ。

今という時代とともに、人と人とを結ぶ、  
セーラー広告です。



石井達也(平成7年卒) 真鍋文貴(平成4年卒)

セーラー広告株式会社 高松本社 760-8502 香川県高松市順町2丁目7番20号  
TEL.087-823-1155 FAX.087-825-1151 <http://www.saylor.co.jp>  
ネットワーク 高松・松山・岡山・徳島・広島・倉敷・丸亀・新居浜・宇和島・東京

高松の奥庭 料亭  
岩崎荘

香川県高松市香川町川東上594-11  
TEL: 087(879)2025 E-mail: rfam-iwasakiso@ma.pikara.ne.jp  
若女将 長谷友加里(旧姓 續) 平成4年卒

岩野 司法書士・土地家屋調査士 事務所

司法書士 岩野 哲  
土地家屋調査士  
(平成4年卒)

〒761-8078 高松市仏生山町甲345番地6  
TEL: 087-864-8501 FAX: 087-864-8502

王子山 北勝院 専妙寺

〒761-1401 香川県高松市香南町岡248番地  
087-879-2248  
住職 土居武志(平成4年卒)

あなたの街の電器屋さん  
有限会社 ヤシマ電器

代表取締役 松岡 健司 (平成4年卒)

〒761-0104 高松市高松町7-18 TEL(087)843-3854

大企業から中堅・ベンチャー企業まで、戦略策定をはじめとする幅広い  
テーマでご支援いたします。

#### 戦略コンサルティング

理念やビジョン、ミッション、行動指針  
の策定支援  
中期経営計画などの策定支援  
B2B 営業支援  
役員合宿の企画・運営・進行 など

#### 経営幹部育成

戦略、マーケティング、プレゼンテーション、  
ファシリテーション、自社の課題解決を扱う  
アクションラーニング など

#### その他 講演など

テーマ例: イノベーション、リーダーシップ、  
企業の変革 など

#### 株式会社 西口敦事務所

代表取締役社長 西口 敦 (高高 S62 卒)

グロービス経営大学院准教授

外資戦略コンサルティング (BCG, A.T. カーニー), 金融 (長銀, アメックス, UBS)などを  
経て独立

東京大学法学部卒業, ノースウエスタン大学ケロッグ・スクール・オブ・ビジネスEDP 修了

<http://a-nishi.com/a/>



株式会社ダブリュニイチ

熊 善一郎 (昭和29年卒)

〒760-0028  
香川県高松市鍛冶屋町1番地7



Little Nature

株式会社リトルネイチャー

熊 紀三夫 (平成6年卒)

〒760-0028  
香川県高松市鍛冶屋町1番地7

医療法人社団 新樹会

# 豊嶋歯科医院

歯科・歯科口腔外科・インプラント・小児歯科・矯正歯科

〒760-0025 香川県高松市古新町 5-1  
087-822-6575  
<http://www.toyoshima-dc.or.jp>

診療時間

平日 AM 9:00 ~ PM 1:00  
PM 2:00 ~ PM 6:00  
土曜日 AM 9:00 ~ PM 1:00  
日・祝日 休診

神奈川歯科大学大学院 客員教授  
香川大学医学部口腔外科 非常勤講師  
豊嶋 健史 (平成6年卒業)



焼き豚P

香川県綾歌郡綾川町羽床下307-1

安藤武司 (昭和41年卒業) 安藤 (矢島) エミ子 (昭和43年卒業)

[www.yakibuta-p.com](http://www.yakibuta-p.com)

耐震設計・耐震診断・耐震リノベーション

Structural Product, and Design.

一級建築士事務所

**STRUCT DESIGN (ストラクトデザイン)**

代表 中原 健太郎 (平成9年卒)

〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-18-3-1F  
TEL:050-3701-0656  
E-Mail:k.nakahara@struct-design.com



# 激安!! オリジナルウェア グッズを作りませんか?

## 高高OB・OG限定

# プリント代無料!!

「玉翠会」とお伝えください。

### 全国15店舗展開中



# 0120-703-577

# みずしま動物病院

〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲2668-3

TEL 087-875-2120

院長 水嶋誠人(平成4年卒)



## 株式会社ヤマウチ

YAMAUCHI

<http://www.y-grp.com>

碓井(井手) 哲平 平成4年卒

# 四国新聞社

<http://www.shikoku-np.co.jp>

本社 高松市中野町15番1号 Tel.087-833-1111

■東京支社 東京都中央区銀座7丁目14番13号  
日土地銀座ビル5F Tel.03-6738-1377

夫婦落語

金<sup>きん</sup>

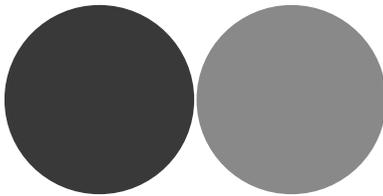
万<sup>まん</sup>

亭<sup>てい</sup>

出<sup>で</sup>  
お稽古<sup>けいこ</sup> 臆<sup>おそ</sup>



〒七六一〇一三〇  
香川県高松市庵治町一六五六一三  
TEL(〇八七)八七一〇二二二  
木村 齊 (S35卒)(S39〜58勤務・生物科)



泌尿器科／西口 潤  
(平成4年卒)

産婦人科／西口 園恵  
(旧姓 朝日：平成5年卒)

医療法人社団 愛和会

## あさひクリニック

泌尿器科 産婦人科 内科 訪問診療  
〒760-0076 香川県高松市観光町538-2  
TEL 087-831-0280  
URL <http://www.asahi-cl.jp/>





人に・街に・優しいバスへ

**OKAWABUS GROUP**

大川バス 琴琴バス 屋島観光バス

大川自動車株式会社	本社 / さぬき市長尾西 1061
琴参バス株式会社	本社 / 丸亀市土器町北 2-77
屋島観光バス株式会社	本社 / 高松市春日町 1690-2

国内・海外旅行のご用命承ります。



**ワープ 高松支店**

TEL: 087-851-1326

FAX: 087-821-7734

<http://www.jr-shikoku.co.jp/>

**SALAT 株式会社 サラト**

[www.salat.co.jp](http://www.salat.co.jp)

- 本社 兵庫県姫路市北条宮の町172  
TEL 079-284-1380(代表)  
FAX 079-284-0904
- 東京支社 東京都台東区台東4-18-7 シモジンビル5F  
TEL 03-3832-6381(代表)  
FAX 03-3832-6389

玉翠会名簿  
制作会社



高松と東京の  
空をつなぐANA



[www.ana.co.jp](http://www.ana.co.jp)



CAFE' **カサブランカ**

高松市香川町大野916-1 ウイングポート2F

TEL: 087-885-8930

高高 Facebook Page



母校の情報、懇親会等

[www.facebook.com/takako.kagawa](http://www.facebook.com/takako.kagawa)



あなたに安心を、ご家族に笑顔を。  
**HOKEN SALON**

**保険サロン株式会社 0120-939-856**

〒448-0037 愛知県刈谷市高倉町2-601 エルシティ・イトーヨーカドー刈谷店1F  
Mail: kariya@hokensalon.com HP: <http://www.hokensalon.com/>

原田 洋人 / 原田 智子 (平成8年卒・旧姓:大橋)



多くの皆様にご協賛頂き、心より御礼申し上げます。

## 碧海総合法律事務所

AOMI INTERNATIONAL LAW OFFICES

弁護士 徳田 陽一 (平成8年卒)

弁護士 八木 俊則 (平成12年卒)

〒760-0026

高松市磨屋町3番地1 マニュアルプレイス高松4階  
TEL:087-802-1506/E-mail:office@aomi-law.com

ブライダル手袋生産日本一

# オオジー

〒769-2907 香川県東かがわ市吉田489

Tel:0879-33-2515 Fax:0879-33-2516

http://www.ohji-glove.com/

## 四国特機株式会社

システム機器/オフィススチール製品/什器/  
ITソリューション/ネットワーク接続サービス

〒761-8057 香川県高松市田村町866-1  
Tel (087)869-9800 Fax(087)869-2469

## 食材センター高松

高松市成合町1572-2

## RNC 西日本放送

東京支社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-13 日土地銀座ビル5F  
電話 03-3542-3900

# RNC service

## 西日本放送サービス株式会社

広告事業部 AVC事業部 アスкул事業部

香川県高松市西春日町1737番地1 TEL.087-867-6677(代) FAX.087-867-1147

## 女子学生会館 *LADY'S HEIGHTS AKANE*

第1レディスハイツ茜



第2レディスハイツ茜



東京でのお嬢様の、安全で快適な学生生活をサポート致します。

AKANE-ONE 43rooms

東京都世田谷区上北沢4-17-8

京王線上北沢駅より徒歩1分

AKANE-TWO 21rooms

東京都世田谷区松原6-16-8

井の頭線東松原駅より徒歩5分

## 讚機建物株式会社

香川県高松市番町二丁目17-15

e-mail: info@sankitatemono.co.jp

TEL 087-823-3300

FAX 087-823-5629

(担当 西山・辻)

前谷亮三 (昭和30年)

松澤尚子 (昭和36年)

前谷 毅 (昭和39年)

## 乗務員募集中

- 安全、快適にお客様の足となります。
- 確実、迅速にドアトゥドアで目的地に参ります。
- 親切、丁寧な乗務員で対応いたします。

ハヨイコ ニッシン  
日新タクシー 0120-8415-24  
配車センター

 **日新タクシー株式会社**  
香川県高松市香西本町36-1

パーソナルトレーニングスタジオ ポニーズ

**boneedz**   
Personal Training Studio

体幹トレーニング・TRX・ヨガ・ピラティス  
リンパ整体・酸素カプセル・ジュニア育成・筋トレ

 **087-851-2345**  
<http://boneedz.com/>  
香川県高松市内町1-13 日新内町ビル3F

総合広告代理店  
**株式会社オリコ**

代表取締役社長 間島 賢治(昭和47年卒)  
〒760-0066 香川県高松市福岡町4丁目1-4  
TEL 087-851-4151(代) FAX 087-851-4157  
<http://www.orico-jp.com>

## 和泉宏治税理士事務所

〒761-8071 高松市伏石町2028-15  
TEL(087) 869-7873 FAX(087) 869-7874

税理士 **和泉 宏治** (昭和62年卒)

営業品目/グラビア製版・デジタル印刷  
フレキソ印刷・フレキソ製版

 **ナベプロセス株式会社**

代表取締役社長 鍋坂信也

本社/〒760-0080 香川県高松市木太町2477-1  
TEL(087)833-7171 FAX(087)862-3331  
大阪支社/東京支社/岡山営業所/静岡営業所/サテライトビル

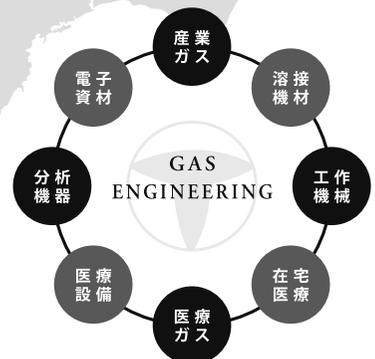
## WE ARE GAS ENGINEERING EXPERTS

# ガス・エンジニアリングで 四国の産業・医療をささえる 高松帝酸

製造業や医療機関で幅広く利用されている高圧ガス。

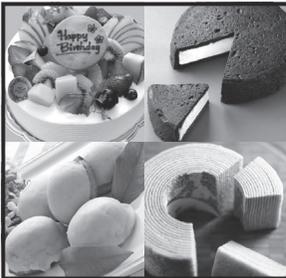
高松帝酸は、高圧ガスの製造販売を軸に、ガス設備の設計施工や  
ガス利用技術の提案など、高度なガス・エンジニアリングを提供。

また、産業用の機器・資材の供給や、在宅医療サービスを通じて  
産業と医療の両面から四国の皆さまの暮らしをささえています。



 **高松帝酸株式会社**

本社 〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目14番1号 TEL.087-822-5222(代)  
事業所 高松・多度津・新居浜 営業所 松山・高知・徳島  
WEB [www.takatei.co.jp](http://www.takatei.co.jp)



*La Famille* フランス菓子工房  
ラ・ファミーユ

お取り寄せ  
サイト

<http://www.la-famille.co.jp/>

通販専用  
ダイヤル

087-813-2600

(受付: 10:00~17:00/日・祝祭定休)

【高松本店】高松国際ホテル前  
高松市木太町2192

【太田サンフラワー通り店】  
高松市太田下町3029-1

【国分寺店】  
高松市国分寺町福家828-3

【高松三越店】  
高松市内町7-1高松三越B1F

【ランジェリーラ・ファミーユ】高松本店西隣  
高松市木太町2193-7

平成2年卒 千切谷 耕一郎

昔ながらの手作り和三盆糖  
三谷製糖羽根さぬき本舗



東かがわ市馬宿156-8

TEL (0879) 33-2224

FAX (0879) 33-5578



久枝 了

〒761-8031 香川県高松市郷東町 796-53

TEL : 087-810-3847

携帯 : 090-8970-2416

e-mail : ryo.hisaeda@gmail.com

地域に貢献する 花樹海グループ



四国・高松 専代美山荘 存徳依原の里 はなじりのみや

花樹海

〒760-0004 香川県高松市西宝町3丁目5-10  
TEL.087-861-5580 FAX.087-834-9912  
<http://www.hanajukai.co.jp>



Tokyo Sanuki Club

東京とんぼ倶楽部

〒108-0073 東京都港区三田1-11-9  
TEL.03-3455-5551 FAX.03-3451-4060  
<http://www.sanuki-club.com>



〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡 972-30  
TEL.087-898-8881 FAX.087-898-8830  
<http://www.tresta.jp>

讃岐伝統の味  
**石丸** 製麺株式会社

〒761-1401 香川県高松市香南町岡701

TEL: ☎ 0120-459140

〔受付時間〕 8:30~17:00  
(土日祝日除く)

HP: <http://www.isimaru.co.jp>

『石丸うどん』で検索!

松田胃腸科外科医院

〒761-0104 香川県高松市高松町3004-2

087-843-3377

[昭和40年卒] 松田滋明 [平成4年卒] 田崎京子(旧姓 松田) [平成5年卒] 山崎英子(旧姓 松田)

讃岐の名菓

# 名物かまど



本社 〒762-0052 香川県坂出市沖の浜 30 番 62  
TEL 0877-46-1215 FAX 0877-46-5840  
ホームページ <http://www.kamado.co.jp>  
ネットショップ <http://www.kamado.jp>  
昭和62年卒 荒木 隆



讃岐乃地酒



KAWATSURU  
SINCE 1891

川鶴酒造株式会社

〒768-0022 香川県観音寺市本大町836番地  
TEL 0875-25-0001 / FAX 0875-25-2487  
E-mail [kura@kawatsuru.com](mailto:kura@kawatsuru.com)

川人香織(平成2年卒 旧姓:新藤)

## ご寄付の御礼

中村 剛 様  
(平成4年卒)

ご寄付を賜り、  
誠にありがとうございました。

自然界では希少ですが、  
食卓では定番になるかも知れません。



希少糖を、  
もっと  
身近に。

希少糖。  
それは、天然素材の糖なのに、  
健康に役立つ夢の甘味料です。

希少糖とは、自然界にわずかに存在する糖の総称です。中でも健康に役立つD-ブシコースは、  
いま夢の糖として注目を浴びています。私たちは、香川大学との共同研究開発によってその  
希少な糖を大量生産することに成功しました。  
あなたの食卓の、新しい定番に。希少糖をぜひご体感ください。

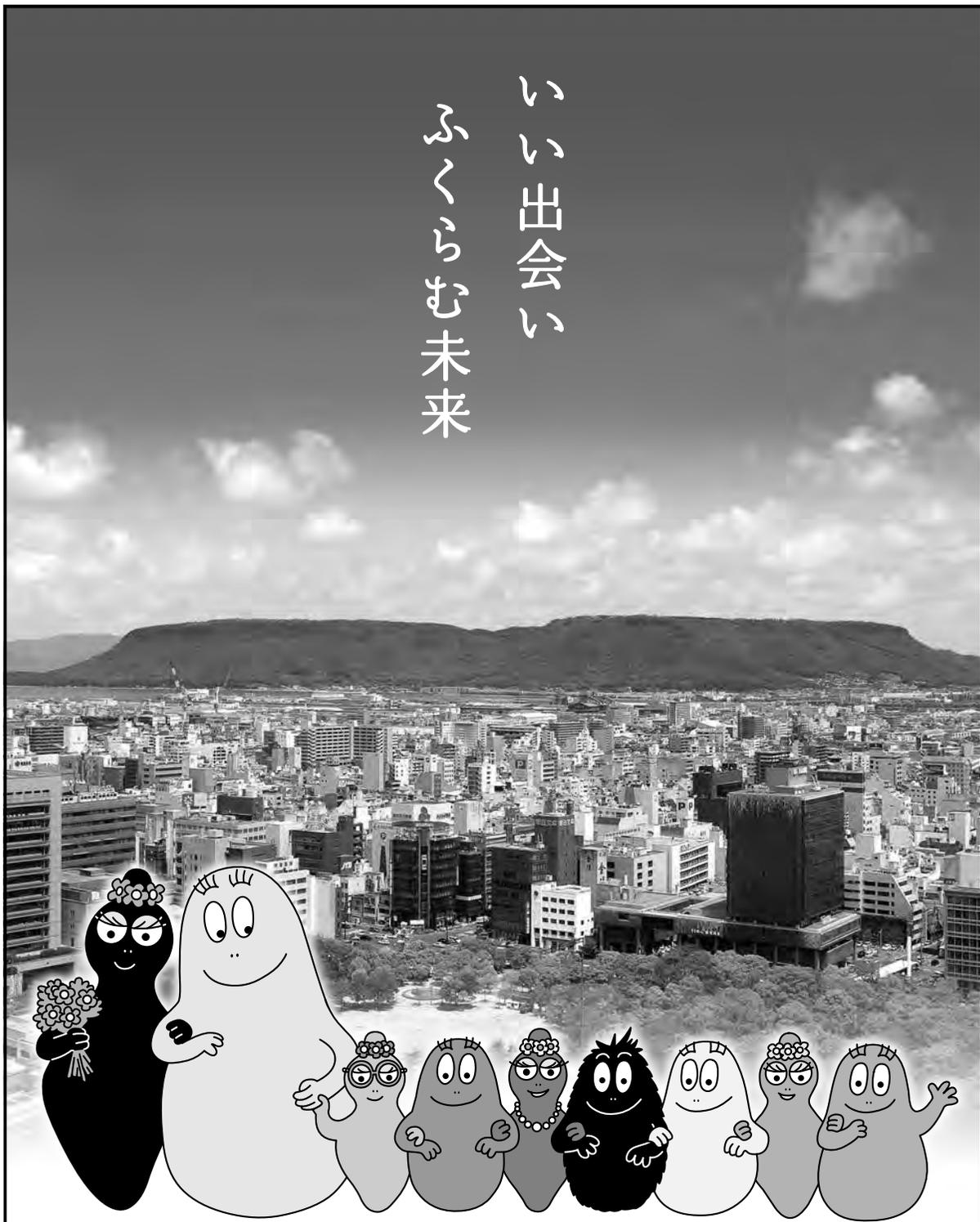
 レアシュガースウィート

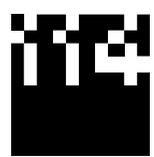
レアシュガースウィートは、ぶどう糖・果糖を主成分とし、希少糖を含有したシロップです。  
カロリー控えめで爽やかな甘みを持つ、新しい甘味料。ダイエットや健康が気になる方におススメです。

でんぷん総合メーカー  
松谷化学工業株式会社  
MITSUJIMA

株式会社レアシュガースウィート

いい出会い  
ふくらむ未来



 百十四銀行

BARBAPAPA ©2016 Alice Taylor & Thomas Taylor All rights reserved.



1 2  
3 4



1 道後温泉（愛媛県） 2 栗林公園（香川県） 3 坂本龍馬像（高知県） 4 吉野川（徳島県）

四国電力は、本年4月から首都圏でも  
電気の販売を行っています。  
ぜひ、郷土の電力会社の電気を  
ご検討ください。



詳しくはこちらをご覧ください。  
インターネットで簡単にお申し込みいただけます。

<http://www.yonden.co.jp/kouri/extra/>

TEL.03-3201-4591（東京支社）

しあわせのチカラになりたい。



鎌長製衡は、明治13年創業以来、  
産業用はかり、計量システム、計測制御の専門メーカーとして歩んでまいりました。  
これからも伝統に裏打された技術力でお客様のニーズにお応えしてまいります。



# 計量技術で世界に突き抜ける 香川の老舗

計量、そして、リサイクル



自動包装システム



分銅



トラックスケール



石膏ボード分別機

はかりは香川県の地場産品です



023701 JQA-EM5270 JQA-2393



当社は、認定基準として JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社質量標準センターは、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0212 は当校正室の認定番号です。

営業品目

- 産業用はかり  
トラックスケール、ホッパースケール、パッカースケール、ユニオートフィーダ
- 計量システム  
微量配合計量システム、自動包装システム、各種データ処理システム
- リサイクル用処理機器及びプラント  
各種圧縮減容機、破砕機、切断機、選別機、石膏ボード分別機

## KAMACHO 鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

本社・工場 香川県高松市牟礼町牟礼2246番地  
TEL(087)845-1111(代) FAX(087)845-7442

東京支店 TEL(03)3243-2080(代) FAX(03)3243-2081  
大阪支店 TEL(06)6339-0131(代) FAX(06)6339-0139  
名古屋支店 TEL(052)586-1451(代) FAX(052)586-1467  
九州支店 TEL(092)281-5328(代) FAX(092)281-3822  
中国四国支店 TEL(087)845-1140(代) FAX(087)845-7442

代表取締役社長 鎌田長明(平成10年卒)

おかげさまで **40周年**

お越しいただきました多くのお客様と  
お世話になった全ての皆様により感謝申し上げます。



かずら橋



風鈴飾り  
(夏休み期間中)

古民家を訪ね、  
自然の音に耳を澄ませば、  
あの夏の日にまた会える。



砂糖メ小屋

Find us on Facebook



## 四国村の夏を歩こう

香川県高松市屋島中町 91

TEL : 087-843-3111

四国村

検索



ぎのとうどん 本舗  
**わら湯**  
四国村入口▶



ふうか



# ARTS for HOPE

アーツ・フォー・ホープ

## アートを明日の希望に

ARTS for HOPE は「アートの力」で  
被災地の“心の復興”を応援しています。

サポーター  
募集中!

[www.artsforhope.info](http://www.artsforhope.info)

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-16-5-501  
TEL : 03-6240-1525 FAX : 03-6240-1528  
EMAIL : artsforhope@gmail.com





明日の暮らしをサポートする——。

# 久米加株式会社

JX日鉱日石エネルギー(株)特約店

<http://www.kumeka.jp>

相談役 久米 房之助 (昭和23年高中卒)



サービスステーション



車検



車の健康ランド



新鮮市場直送中古車



ノーブラシ洗車場



太陽光発電  
Drおうちのエネルギー



プロパンガス  
リフォーム



The power to amaze yourself.<sup>®</sup>  
女性だけの30分体操教室



コインパーキング



格安レンタカー



クメカ保険サービス  
生命保険・損害保険

本社 香川県高松市北浜町6-10 TEL(087)851-0521 FAX(087)851-0721



## 東京銀座シタニ歯科口腔外科クリニック 東京銀座シタニインプラント外科

虫歯・親知らず・顎関節・歯ぎしり  
審美歯科・矯正治療・歯と口の病気  
インプラント治療

NHKためしてガッテン出演他、新聞、雑誌、著書多数  
ハーバード大学留学経験ある世界的に著名な教授の診療

やんちゃだった私が  
どうにかなっているのは  
高松高校のおかげです。  
感謝!



しんたに さとる  
**新谷 悟**

高松高校55年卒

島根大学医学部歯科口腔外科学講座 臨床教授  
富山大学医学部歯科口腔外科学講座 臨床教授  
山口大学医学部歯科口腔外科学講座 臨床教授  
前昭和大学歯学部主任教授・口腔がんセンター長  
中国/井岡山大学医学部客教授

〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-14 銀座大新ビル5F  
有楽町線「銀座一丁目」駅(9番出口)から徒歩1分  
地下鉄各線「銀座」駅(A13番出口)から徒歩3分

診療時間: 10:00~13:00/ 14:30~19:00

休診日: 日曜・祝祭日

各種健康保険取扱/ デンタルローン・クレジット利用可

**Tel: 03-3538-8148**

[www.ginza-somfs.com](http://www.ginza-somfs.com)

健康を創る



新しい街づくり

# 「総合医療シティ」誕生

県立中央病院の目の前に誕生した「総合医療シティ」に

画像診断

内科

脳外科

整形外科

がオープン!



香川県の医療の拠点で夢の開業を!!

総合医療シティの医療モールで

## 開業する医師を募集!

泌尿器科

皮膚科

耳鼻咽喉科

眼科

心療内科

小児科

 日本メディカルシステムパートナーズ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-5-1  
丸の内二丁目ビル 6F

TEL: 03-5659-1053

 [www.nihonmedical.net](http://www.nihonmedical.net)

 E-mail: [kaihatsu@nihonmedical.net](mailto:kaihatsu@nihonmedical.net)



# 「地元で働く」



四国で働きたい方の転職支援を続けて30年。  
人が「活かされ」「生きる」地域の雇用を創出します。



あなぶきグループ  
クリエアナブキ  
中国・四国UIターンセンター

クリエ転職ネット

検索



<http://www.ten-shoku.net/uiturn/>

**Tel: 03-6451-1507** Mail: [cc@crie.co.jp](mailto:cc@crie.co.jp)  
東京都渋谷区渋谷三丁目6番1号イースト渋谷ビル8階

東京でのU・Iターン相談会実施中

7月末までのお問合せ先: 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館15階 Tel: 03-6212-1500



MSS

Medical Supplements and Services  
the Leading Company since 2003

<http://mssco.jp/>

## 全国約1,200の医療機関で使用される、 信頼の医療機関専用サプリメント

全65種類の  
ラインナップ



**Metagenics**<sup>™</sup>

Genetic Potential Through Nutrition

from MSS

香川県では以下のクリニックでお求めいただけます  
(ドクターは皆様、高松高校卒業生です)

そがわ医院 様  
(三豊市豊中町)



院長 榎塚 登美男 先生  
(昭和53年卒)

桑島内科医院 様  
(東かがわ市三本松)



副院長 桑島 靖子 先生  
(昭和63年卒)

真弓愛メディカル  
美容皮膚科センター 様  
(高松市塩上町)



院長 真弓 愛 先生  
(平成10年卒)



株式会社MSS

代表取締役社長 久米 毅  
平成3年卒 高松市北浜町出身

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-11-6 エクレ新宿401  
Tel. 03-5366-0208 Fax. 03-5366-0209

# 腸から変わる! 女性の健康

～ダイエット、アンチエイジング、心の安定・・・腸から女性は変わっていく～

講演テーマ **世界最先端! 今日からできる  
「グルテンフリー (小麦抜き) ダイエット」**



新宿溝口クリニック 院長  
**溝口 徹** 先生



栄養療法の  
パイオニア医師

講演テーマ **食べ方だけで不調をなくす!  
栄養と食事法のおはなし**



**大柳 珠美** 先生



糖質制限のパイオニア  
管理栄養士

講演テーマ **ト・キ・メ・くための  
腸の健康のおはなし**



桑島内科医院 副院長  
新宿溝口クリニック 栄養療法医師

**桑島 靖子**



女性の体調の最後の決め手は腸と栄養です。今までの栄養の常識をくつがえす眼からウロコのお話の数々。香川でがんばるすべての女性に是非聴いていただきたい

講演テーマ **女性なら誰もが知りたい  
栄養のヒミツ**



新宿溝口クリニック チーフ栄養  
カウンセラー  
**定 真理子**



著書多数! 溝口先生の右腕  
凄腕カウンセラー

2016年 **8月11日 (木・祝)**

山の日

**サンポートホール高松** 3F大ホール

開場12:30、講演13:00～16:00

定員 1000名  
入場無料

主催: 桑島内科医院 (東かがわ市三本松751)  
後援: 株式会社オーソモレキュラー.jp  
お問い合わせ先: 0879-25-0771 (桑島内科医院)



いまや全国約1,200の医療機関で導入され、あらゆる診療科で目覚ましい治療成果を出している栄養を使う治療法=栄養療法(オーソモレキュラー)。

その第一人者、溝口徹先生と、溝口先生の片腕のベストセラー著者達が今年も高松にやってきます!

Dr. Author  
**LOWE**

菓子工房 **ルーヴ** が誇る、大好評の糖質制限スイーツのプレゼント抽選会あり!

なんでもご相談ください。  
あなたの素敵な笑顔のために。



個室の診療室もございます

- ・インプラント
- ・矯正歯科
- ・審美歯科
- ・一般歯科



医療法人社団 東京弘生会

## かめだ歯科クリニック

理事長 亀田 充生 (平成4年卒)

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目2-11 フォーシーズン恵比寿ビル6F

<http://www.kameda-shika.net/>

**TEL 03-3792-0418**

平日 10:00~13:00 15:00~20:00  
土曜日 10:00~13:00 14:30~19:00  
日祝日 休診

# 夢を叶える場でありたい。

2016年度 大学入試合格実績

国立大(医-医)  
**118名合格**

防衛医科大学校・自治医科大学

国公立大 **601名**  
旧7帝大・東工  
一橋・神戸大 **60名**

早慶・上智・東京理科 **61名**  
MARCH **90名** 関関同立 **543名**

合格者数は1校のみ

発表する数値は、本校1校のみのものです。各校舎の合格者数を合算して発表することはありません。また、数値は、すべて本校在籍生(既卒)のものであり、現役生及び模試・講習会等の参加者は一切含まれていません。

高予備生  
今年も大健闘!



## 夢を叶えよう! 高予備の直営寮で!!

自宅より優れた学習環境

19:00~22:15は自習室で全員参加の必須自習

受験生に大切な規則正しい生活

7:00起床,23:30消灯の生活リズムが身につく

社会性が身につく集団生活

良き仲間・ライバル達と切磋琢磨し、人間的にも成長できる

全国  
**39**都道府県  
から集う

2016年度生  
**1,121名**中  
**739名**が寮生!  
地元香川県内の生徒が  
**104名**も  
(2016年4月15日現在)



寮生必須自習風景



生徒の健康面を安心サポート  
予備校では日本初となる付属診療所「なりあい医院」を開設し、健康面からもバックアップ!

第一志望合格に自信あり  
**高松高等予備校**

高予備 検索

本校 香川県高松市観光町547-1 tel.087-834-1015  
亀井町教室 香川県高松市亀井町8-10 tel.087-835-1015

# GODAは、 地球環境【貢献】企業へ。

「企業として」「人として」の原点から一。

空間を機能として捉える建築から、空間を文化として育む建築へ。

私達「合田工務店」は、建築を通じて、人と社会のより良い関係を創造しています。

大切にしているのは、「企業として」そして「人として」の原点に立つこと。

今、私達は改めて原点に立ち、美しい地球環境のために宣言いたします。

環境を守り、自然を育み、人と地球の健やかさに貢献する――。

企業として、人として、新たな気持ちで取り組んでまいります。



 **株式会社 合田工務店**  
GODA  
人・土・樹の未来を創る

本社／高松市天神前9-5 TEL.087-861-9155(代) FAX.087-837-2604  
東京本店／大阪営業所／千葉営業所／丸亀営業所／観音寺営業所  
<http://www.goda.co.jp>

祝  
第34回  
東京玉翠会

# 地上では無名ですが、 海上では有名な会社、 マキタです。

世界の物流の97%を支える海運輸送。  
一般の方々にはなじみが薄いかもかもしれませんが、  
船の心臓である“船舶用ディーゼルエンジン”を造るマキタは  
海上の世界ではちょっとばかり有名な会社です。

創業は1910（明治43）年。  
日本における海運事業の黎明期に、マキタのエンジン開発は始まりました。  
以来、1世紀にわたって、最先端の船舶用エンジンを創り続けています。

環境対策や電子制御化など、刻々と変化する時代に対応しながらも  
変わらず脈々と受け継がれる「モノづくりの魂」は、  
いま世界中で航行する船の推進力を生み出しています。

造っているのは「船の心臓」  
船舶用ディーゼルエンジン



無名無冠の  
No.1  
マキタ



1万~1.5万クラス  
船舶用ディーゼルエンジン  
世界シェア  
約30%



3階建てマンションと  
同じ大きさの船舶エンジン  
※重さ約180t



6,000種、  
30,000パーツもの部品で造る  
それを支えるエンジニア約300人

# 「暮らしたい香川で 思い切り働く。」

私たちは聞きました。

香川に想いはあれど「なかなかいい仕事がないでしょう」と淋しそうに苦笑いする人たちの声を。

「やっぱり香川では都会のように、人が集まらないのか…」と嘆く気鋭の経営者たちの声を。

「故郷に帰ってのんびりする」…そんな言葉がいつの間にか当たり前になり過ぎたと思うのです。

本当は「ビジネスの第一線」といえる仕事もたくさんあり、さらなる挑戦のために、

優れた人材との出会いに焦がれている経営者がいかにたくさんいることか。

ただそこには、接点がなかった。だったら、私たちが繋ぐ存在になろう。

そうして立ち上がったのが、私たちリージェント（リージョナルキャリア香川）です。



<http://rs-kagawa.net/>

リージョナルキャリア香川

**Regent**  
Regional Reliance Agent

株式会社リージェント

香川県高松市寿町一丁目4番3号 高松中央通りビル 2F

TEL: 087-873-2528

終ついでの住す処みかは

ふるさとで

Eagle House



eagle-house.net



家づくり・リノベーション・  
店舗・オフィスの設計など、  
設計・施工のご相談は

代表取締役

取締役

松岡 敬三 (H10 卒)

松岡 俊郎 (H07 卒)

株式会社イーグルハウス興業

☎ 087-843-4445

# 香川から世界へ

タダノには、世界に挑めるフィールドがある


**TADANO Global Network**

**Uターナブースに出展中**

玉翠会会員による求人のご案内を行っております。ご自身をはじめ、ご家族、ご友人にもお伝えできる情報をお渡ししておりますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

タダノの採用に関する情報は採用情報サイトでもご覧頂けます。

タダノ 採用



## 株式会社 タダノ



# みどり合同税理士法人グループ

## ビジョン・経営理念

### 私たちの使命

お客様の利益と、お客様企業の存続と発展に貢献し、全社員の物心両面の幸せをもたらすことを、「三方よし」の精神をもって日々、考え、提案し、実行します。

### 私たちの目標

お客様企業の「黒字化と節税」を目標とし、「顧客黒字化率80%」、「節税対策・品揃え日本一」を目指します。

### 私たちの価値

多様性に価値を置き、相違点に価値を認め、相互貢献を旨とします。

## グループ概要図

### みどり合同税理士法人グループ

#### みどり合同税理士法人

- アップル会計(株)
- (株)MCアカウンティング
- (株)みどりクラウド会計

税務・会計のプロフェッショナル集団

(株)みどり未来パートナーズ 東京・高松

M&A仲介実績数中四国トップクラス

みどり増販情報センター

高松

増販増客コンサルティング

(株)みどり医療経営研究所

高松

医療・介護事業経営サポーター

### (株)みどり合同ホールディングス

公認会計士三好貴志男事務所

国・地方公共団体の各種委員

(株)みどり合同経営

東京・高松

事業・金融・会計を融合した  
中小企業への経営コンサルティング

(株)みどり財産コンサルタンツ

高松・東京

相続・事業承継対策実績西日本トップクラス

(株)タイガコンサルティング

東京

資金繰り、調達、融資等で多数実績有



公認会計士・税理士  
税理士・FP1級  
顧問  
中小企業診断士  
中小企業診断士  
税理士  
顧問

三好貴志男 (昭和43年卒)  
竹本 正憲 (昭和40年卒)  
明石 省吾 (昭和43年卒)  
藤井 一郎 (昭和58年卒)  
澤田兼一郎 (平成4年卒)  
青山 知恵 (昭和63年卒)  
三好 拓朗 (平成8年卒)

宅地建物取引士  
顧問  
税理士  
税理士  
財務アドバイザー  
財務アドバイザー

三好三香穂 (昭和43年卒)  
三栖 祥晃 (昭和34年卒)  
林 美千代 (昭和52年卒)  
北野 里見 (昭和58年卒)  
菅原 琴英 (平成5年卒)  
濱内 朱美 (平成3年卒)

## 人財募集中!!

高松高校出身者、香川にご縁のある人、いい仕事をしてお客様に喜ばれたい人、地域貢献したい人、オンリーワン・ナンバーワンのノウハウを身につけたい人、ご応募ください。

みどり合同税理士 採用 で 検索

〒760-0062 香川県高松市塩上町3丁目1-1 みどり合同経営ビル TEL.087-834-0081 FAX.087-834-0080  
 〒160-0008 東京都新宿区三栄町19番地 大河ビル4階 TEL.03-3225-6570 FAX.03-3225-6571  
 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-1 神田Y5ビル2階 TEL.03-3258-5271 FAX.03-3258-5279

